

總會議事速記錄

交通事業調整委員會

国立公文書館

分類

⑤

排架番号

2 A

36

⑤1222

1/13

交通事業調整委員會第一回總會議事速記錄

(昭和十三年九月十五日)

交通事業調整委員會第一回總會議事速記録

昭和十三年九月十五日午前十時十四分開會

○議長(末次副會長) 本日總理ハ已ムヲ得ザル事情ニ依リマシテ御缺席ニナリマシタ、私ガ代リマシテ總理ノ挨拶ヲ申シマス。

茲ニ交通事業調整委員會第一回總會ヲ開催スルニ當リマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、我國ノ陸上交通事業ハ軌近著シキ發達ヲ遂ゲ、國民幸福ニ貢獻スル所至大ナルモノアルハ言フ俟タザル所デアリマスガ、其ノ半面ニ於テ動モスレバ併立競争ノ弊ニ陥リ、爲ニ利用大衆ノ便利ニモ背反シ、事業ノ健全ナル發達ヲモ阻害シ、延イテハ國家的不經濟ヲスラ敢テ生ズル事態ガ多々存スルノデアリマス、此ノ點ニ鑑ミマシテ陸上交通事業ノ調整ヲ行ヒ、國家的無駄ヲ排除シ、公益ノ増進ヲ圖リ、併セテ事業ノ健全ナル發達ニ資スルコトハ目下ノ急務デアルト痛感スル次第デアリマス、今回陸上交通事業調整法ノ實施ニ依リ、茲ニ我國交通事業多年ノ懸案ニ對シ、根本的解決ノ第一歩ヲ踏出サレルニ至リマシタコトハ、邦家ノ爲寔ニ欣快ニ堪ヘナイ次第デアリマス、併シナガラ陸上交通事業ノ調整ハ一般民衆ノ利便竝ニ國家公共ノ利益ニ重大ナル影響ヲ及ボスノミナラス、複雑ナル事情ノ下ニ色々困難ナル問題ヲ處理スルコトヲ要スルモノデアリマスカラ、之ガ實行上慎重ナル考慮ヲ要スルト共ニ、一般ノ十分ナル理解ト協力ヲ得ルノ要切ナル

二
モノガアルノデアリマス、仍テ調整ノ區域並ニ具體的方策ノ決定ニ當リマシテハ、本委員會ト主務省トハ
常ニ協力一致シテ之ニ當ルベキモノト考ヘマスカラ、委員各位ニ於カレマシテモ其ノ心組ヲ以テ調査審議
ニ當タラレ、以テ國利民福ノ増進ト交通事業ノ健全ナル發達トニ貢獻セラレシコトヲ希望シテ止マナイ次
第デアリマス。

〔末次副會長議長席ヲ退キ中島副會長議長席ニ著ク〕

○議長(中島副會長) 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日內閣總理大臣ガ已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ缺席サレマシ
タノデ、會長ノ指名ニ依リマシテ私ガ會長ノ職務ヲ代理致シマスカラ、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス。
是カラ議事ニ入りマス、皆様ノ議長席ハ大體イロハ順ニ依リマシテ便宜定メテ置キマシタカラ左様御諒承
ヲ御願ヒ致シマス、先ヅ本委員會ノ議事規則ヲ決メテ置キタイト存ジマスガ、コチラデ用意シタ案ヲ御手
許ニ差上ゲテ置キマシタカラ、ソレニ依リマシテ御審議願ヒタイト存ジマス、議事規則ハ會議ヲ懇談的ニ
致シタイト考ヘマシテ、煩瑣ナ規定ナドヲ避ケテ極メテ簡單ニ致シテ置キマシタ、ドウカ其ノ御積リデ御
審議ヲ御願ヒ致シマス、一應之ヲ朗讀致サセマス。

〔澁江幹事朗讀〕

交通事業調整委員會議事規則案

第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第二條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名シタル副會長議長ノ職務ヲ代理ス

第三條 會議ハ委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ

第四條 會議ハ之ヲ公開セズ但シ差支ナシト認ムル事項ニ付テハ會長之ヲ公表セシムルコトアルベシ

第五條 發言セシトスル者ハ議長ノ許可ヲ受クベシ

第六條 議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第七條 委員及臨時委員ハ二名以上ノ同意ヲ以テ建議案ヲ提出スルコトヲ得

第八條 會長ニ於テ必要アリト認ムルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ關係官吏其ノ他ノ者ヲシテ

會議ニ出席セシメ意見ヲ述ベ又ハ説明ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 會長ニ於テ必要アリト認ムルトキ又ハ會議ニ於テ議決シタルトキハ特別委員ヲ設クルコトヲ得

特別委員ハ會議ノ決スル所ニ依リ會長ヲ指名又ハ委員及臨時委員ノ互選ヲ以テ之ヲ定ム

特別委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク

特別委員長ハ審議ノ經過及結果ヲ本會ニ報告スベシ

特別委員會ニハ本會ニ關スル規定ヲ準用ス

第十條 議事録ハ幹事之ヲ作成ス

第十一條 本則ニ明文ナキ事項ハ總會長之ヲ定ム

○議長(中島副會長) 御質疑ガアリマシタラドウゾ——別ニ御質疑モアリマセヌヤウデスカラ此ノ通り決定シテ宜シウゴザイマスカ。

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(中島副會長) ソレデハ議事規則ハ此ノ通り決定致シマス。

引續イテ差當リ交通事業ノ調整ヲ要スルト考ヘラレル地方ニ付テハ協議ニ移リタイト思ヒマス、主務省トシテハ先ヅドノ地方ノ調整ヲシタラ宜イカト云フコトニ付本委員會ノ御意嚮ヲ承リタイト考ヘマシテ、本日其ノ御協議ヲ御願ヒスルコトト致シタ次第デアリマス、陸上交通事業ノ調整ヲ行フベキ地方ハ全國的ニ多數アルデアラウト思ハレマスケレドモ、全國一齊ニ調整ニ著手スルト云フコトハ種々ノ事情カラ頗ル困難ナコトト考ヘマス、從ツテ目下ノ情勢カラ見テ最モ適當ト認ムルモノカラ順次之ニ著手シテ行キタイト思ヒマスノデ、本日ハ差當リ如何ナル地方ノ調整ヲ爲スベキカニ付テ御協議ヲ御願ヒ致シタイノデアリマス。

コチラデ調べマシタモノヲ御參考マデニ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ地方ニ付、先ヅ御説明ヲ致サセマセウカ。

〔「ドウゾ願ヒマス」ト呼ブ者アリ〕

○鈴木幹事 差當リ交通事業ノ調整ヲ要スル地方ニ付テ御協議ヲ御願ヒ致シマスノニモ御協議ノ材料ガ無クテハドウカト思ヒマシテ、御參考マデニ五ツノ地方ノ事業者名並ニ其ノ現況ヲ差上ゲテ置キマシタガ、更ニ此ノ五地方ノ交通狀況ノ概略ニ付テ御説明ヲ申上ゲタ方ガ、御協議下サル上ニ於テ御便宜カト存ジマスルノデ、左様サセテ頂キマス。

先ヅ最初ニ東京市及其ノ附近デゴザイマスガ、御手許ニ地圖ヲ差上ゲテ置キマシタガ、東京市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ現況ヲ見マスト、昭和十一年度末ニ於キマシテ地方鐵道、軌道事業ガ十六、「バス」二十九、其ノ總行程ガ二千五百八十六軒ニ及ンデ居リマス、其ノ投資額ハ五億一千六百萬圓ヲ超エテ居ルノデアリマスガ、是等交通機關ノ輸送數量ハ昭和十一年度ニ於キマシテ九億四千五十三萬餘人ニ及ンデ居リマス。

一體大都市ノ交通機關ハ市民ノ足デアル譯デゴザイマスカラシテ、市民ハ之ヲ思フ儘ニ便利ニ利用シ得ルコトガ望マシイノデアリマスガ、東京市ノ現況ハ舊市内ノミニ付テ見マシテモ、地圖デ御覽ノ通り市電、地下鐵、市「バス」、青「バス」其ノ他東横ノ天現寺線(澁谷カラ出テ居ルモノ)、王子電軌(早稻田大學ノ前マデ行ツテ居ルモノ)、舊城東電軌(城東方面ノモノ)、東京環狀乘合(新橋カラ目白ニ向ツテ居ルモノ)、京王「バス」(新宿ノ近クニアルモノ)、東横「バス」(澁谷附近ヨリ其ノ南ノ環狀線内ヲ走ツテ居ルモノ)等ノ民營ノ電車、「バス」等ガアリマシテ、是等各、獨自ノ立場カラ事業ノ計畫ヲ定メテ居リマスノデ、旅

客ノ流レトカ旅客ノ需メニ應ジタヤウナ運轉系統ナリ運轉回數ガ定ツテ居ラナイノデアリマス、又是等各
種ノ交通機關ヲ自由ニ乗換シ得ルヤウナ制度モ全般的ニハ設ケラレテ居ナイノデアリマス。

次ニ近年非常ニ人口ノ増加ヲ致シマシタ新市域ハ其ノ人口ノ増加ニ伴ヒマシテ、各種交通機關モ相當ニ
發達シタノデアリマスルガ、是等新市域ノ交通機關ト舊市域ノ交通機關トノ連絡ハ極メテ不完全デアリマ
スルカラ、徒ラニ乗換ガ多カウタリ、切符ノ買換ヲ餘儀ナクサレマシテ、新舊兩市域ニ互ツテ來往スル利
用者ニ取リマシテハ頗ル不便ノ點ガ多イノデアリマス。

他方事業經營者ノ立場カラ見マスルト、是等各種交通機關ノ中ニハ對立關係ニ陷ツテ、相當無駄ノ經費
ヲ費シテ居ルモノガ多イノデアリマス、殊ニ市電、市「バス」、地下鐵、青「バス」等ノ如キハ並行致シテ居
ル區間ガ非常ニ多ク、市「バス」、青「バス」ノ並行區間ノミヲ見マシテモ三十軒餘ニ及ビマシテ、青「バス」
ノ總軒程ノ約半分ニ當ツテ居ルノデアリマス、從ツテ燃料費、宣傳費其ノ他ノ營業費ヲ浪費シテ居リ、合
理的經營ガ行ハレテ居ナイノデアリマシテ、是ハ延イテハ國家的ニ見マシテモ非常ナ無駄ヲ敢テシテ居ル
ト云フコトガ出來ルノデアリマス。

更ニ將來ノ理想的交通網ヲ考ヘテ見マスルト、將來ノ道路網ノ整備ヤ都市計畫ノ實行ト相俟チマシテ、
高速度交通機關ニ依ル交通網ヲ整備シタリ、在來ノ古イ交通機關ヲ適當ニ整理スルト云フヤウナコトモ併
セ考ヘラレルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ當リマシテ今日ノヤウナ各種交通機關ガ各、自己本位ヲ主

トシテ運營ヲ致シテ居ツデハ、到底サウ云フ大キナ事業ハ成シ遂ゲラレナイノデハナイカト考ヘテ居ルノ
デアリマス、以上申上ゲマシタ通り現在色々ナ缺陷ガゴザイマスノデ、是等交通機關ヲ調整シテ其ノ缺陷
ヲ除去スル必要ガアルノダラウト考ヘルノデアリマス。

次ハ大阪デゴザイマスルガ、大阪市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ現況ヲ見マス、昭和十一年度末ニ於
キマシテ地方鐵道、軌道事業ガ十一、「バス」事業ガ九、其ノ總軒程ガ一千六百七十一軒ニ及ンデ居リマ
ス、其ノ投資額ハ四億五千七百七十六萬圓ヲ超エテ居ルノデアリマスガ、是等交通機關ノ輸送數量ハ同年
ニ於キマシテ八億九千六百九十一萬人ニ及ンデ居リマス。

大阪市ニ於キマスル交通機關ノ現狀ハ市電、地下鐵、市「バス」、青「バス」其ノ他阪神ノ北大阪線（梅田
驛ノ北ノ方ヲ走ツテ居ルモノ）、阪急ノ北野線（梅田驛カラ北野ノ方ヘ走ツテ居ル線）、阪神國道「バス」（阪
神國道ヲ走ツテ居ルモノ）、阪神合同「バス」、ソレカラ南海ノ平野線（天王寺カラ平野ノ方ヘ行ツテ居ル
モノ）等ノ民營ノ電車、「バス」等ガアリマシテ、是等ハ運轉系統、運轉回數、相互自由乗換ノ制度ト云フ
モノニ於テ決シテ満足スル域ニ達シテ居ラナイノデアリマス。

大阪市ニ隣接セル所ノ區域ハ近年著シイ發展ヲ遂ゲタノデアリマスルガ、是等ノ區域ト市内トヲ結ブ交
通機關ノ中ニハ是レ亦連絡ノ途ガ不完全ナルモノガ多クアルノデアリマス、他方事業經營者ノ立場カラ見
マスレバ、是等各種交通機關ノ中ニハ對立競爭關係ニ陷リマシテ、相當無駄ノ經費ヲ費シテ、國家的ニ見

マシテ不經濟ヲ爲シテ居ルト思ハレル點ガ多イノデアリマス、殊ニ市電、市「バス」、地下鐵、青「バス」ノヤウナモノハ並行シテ運轉シテ居リマスル場合ガ多クテ、市「バス」、青「バス」ノ並行區間ノミヲ見マシテモ四十三軒餘デアリマシテ、青「バス」ノ總軒程ノ約半分ニ當ツテ居ルノデアリマス。

次ニ大阪ヲ基點ト致シマシテ附近ノ都市、即チ京都、神戸、奈良、和歌山等ニ向ツテ居リマスル交通機關ヲ見マスルト、是ガ並行シテ運轉サレテ居リマシテ、例ヘテ申シマスレバ阪神間ニハ阪急ガアリ、阪神ガアリ、阪神國道「バス」、阪神乗合ノ四線ガ並行シテ居ル、又大阪、和歌山間ヲ取リマスレバ、南海、阪和ノ二線ガ並行シテ居ルト云フヤウナ狀態デ、御互ニ對立競爭ヲシテ相當無駄ナ營業費ヲ費シテ居ルノデアリマス、是ハ延イテハ國家的ニ見マシテ非常ナル無駄ヲ敢テシテ居ルト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、又是等交通機關デ大阪市内ノ交通機關トシテノ使命ヲ有シテ居リマスル部分ト市内固有ノ交通機關トノ間ニ於キマスル所ノ連絡協調モ十分ニ取レテ居ラナイト云フヤウナ狀態デアリマシテ、利用者ニ對シマシテモ相當不便ヲ來シテ居ルノデアリス。

以上申上ゲマシタ通り、現在色々ナ缺陷ガアリマスルノデ、是等交通機關ヲ調整シテ、其ノ缺陷ヲ除去スル必要ガアラウト存ズルノデアリマス。

次ハ富山デアリマスガ、富山縣下ノ交通事業ノ現況ハ昭和十一年度末ニ於キマシテ、地方鐵道、軌道事業ガ八、「バス」事業ガ五十三、其ノ總軒程ガ一千三十五軒ニ及ンデ居リマス、其ノ投資額ハ一千四百四十

四萬圓ヲ超エテ居ルノデアリマス、是等交通機關ノ輸送數量ハ同年ニ於キマシテ一千七百五十七萬人ニ及ンデ居リマス。

富山縣ノ地勢ヲ見マスルト三方山ヲ繞ラシテ居リマシテ、一面ガ日本海ニ面シテ居リ、サウシテ一ツノ特別ナル地域ヲ玆ニ形成シテ居ルノデアリマス、而シテ富山市ハ大體ニ於テ行政及産業ノ中心地トナツテ居リマスルカラ、客貨ノ流レモ大體ニ於テ富山市ニ向ツテ集中シテ居ルト云ツテ宜カラウト思ヒマス、サウデアリマスルノニ、縣下ニハ縣營鐵道、市營電車、民營ノ地方鐵道、「バス」等ガ澤山ゴザイマシテ、是等ガ運轉系統ヤ運轉回數ニ於テ旅客ノ需メニ應ジテ居ラナイノハ勿論、是等各各種ノ交通機關ノ連絡ガ極メテ不十分ナモノモアリマス、例ヘテ申上ゲマスレバ富山電鐵ト黒部鐵道、即チ富山縣ノ北ノ方デアリマシテ、三日市ノ所デ連絡シテ居リマスガ、此ノ連絡デアルトカ、或ハ富山電鐵ト縣營鐵道、是ハ南ノ方デアリマスガ、其ノ連絡トカ、是等ノ交通機關ノ連絡ガ非常ニ不十分ニナツテ居リマシテ、利用者ニ對シテ頗ル不便ヲ來シテ居ルノデアリマス、殊ニ富山市ニ集中致シマスル鐵道、「バス」ト富山市内ノ市電、市「バス」トノ連絡ノ如キハ其ノ最タルモノデアルト云ヘルト思ヒマス。

他方事業經營者カラ見マスレバ、是等各各種交通機關ノ中ニハ對立競爭關係ニ陷ツテ相當無駄ノ經營費ヲ費シテ居ルモノモアリマスシ、又小業者ガ分立シテ居テ物資ノ融通ヲシテ居ラヌノデ、不經濟ノ運轉ヲ敢テ爲シテ居ルモノガアリマス、從ツテ是ガ合理的ニ經營サレルトスレバ國家的ニ見テモ事業者カラ見テモ

非常ニ無駄ガ省カレルモノダト考ヘルノデアリマス。

以上申上ゲタ通り現在色々ノ缺陷ガアリマスノデ、是等交通機關ヲ調整シマシテ、其ノ缺陷ヲ除去スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、他而當地方ニ於キマシテハ夙ニ自治的調整ノ氣運ガ相當醸成セラレテ居ルヤウニ看ラレルノデアリマスガ、唯多種多樣ノ經營主體ガアリマスノデ、自治的調整ノミニ任セテ置イテハ其ノ實現ハ遅々トシテ進マナイノデハナイカト考ヘテ居リマス。

次ハ香川ニ付テ申上ゲマス、香川縣下ノ陸上交通事業ノ現況ヲ見マサルニ、昭和十一年度末ニ於キマシテ地方鐵道、軌道事業ガ十、「バス」事業ガ四十五、其ノ總経程ガ二千二十三軒ニ及ンデ居リマス、其ノ投資額ハ一千二百十二萬圓ヲ超エテ居リマシテ、輸送數量ハ一千三百五十八萬人ニ及ンデ居ルノデアリマス、是等ノ交通機關ハ大體ニ於キマシテ高松ヲ中心トシテ集中シテ居リマスルモノト琴平ヲ中心トシテ集中シテ居リマスモノトニ大別セラレルノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り香川縣ハ觀光地デゴザイマシテ、屋島、栗林公園、金刀比羅宮、善通寺等ノ名勝舊蹟ヲ巡遊スル旅客ハ縣外カラ年間約二百萬人ヲ下ラナイト云ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ地方ノ交通機關ニハ四國水力電氣（高松市附近ヨリ屋島ニ向ツテ走ルモノ）、琴平電鐵（高松市ヨリ琴平ニ向ツテ走ルモノ）、琴平急行（坂出ヨリ琴平ニ向ツテ走ルモノ）、琴平參宮（多度津ヨリ琴平ニ向ツテ走ルモノ）其ノ他多數ノ地方鐵道、軌道、「バス」等ガアリマシテ、相互ノ連絡ガ不十分デアツテ、運營上ニモ連絡協調ヲ缺キ、旅客爭奪ノ爲ニ激烈ナル競争ヲ行ヒ、設備モ改善セラ

レズ、爲ニ觀光旅客ハ自由ニ其ノ經路ヲ選擇スルコトモ出來ズ、又十分ナル「サービス」モ受ケ得ラレズ、有效ナル廻遊ヲ爲スコトニ付テ色々ナル不便ヲ蒙ツテ居ルノデアリマス、事業經營者ト致シマシテモ事業經營上大ナル無駄ヲ敢テシテ居ルト云フ狀態ニナツテキルノデアリマス、以上申上ゲマシタ通りデアリマシテ、色々ナ缺陷ガアリマスノデ、交通事業ヲ調整シテ其ノ缺陷ヲ除去スルノ必要ガアルト考ヘルノデアリマス。

次ハ福岡縣デアリマスガ、福岡縣下ノ陸上交通事業ノ現況ヲ見マサルト、昭和十一年度末ニ於キマシテ地方鐵道、軌道事業十九、「バス」事業ガ百五十九、其ノ總経程ガ四千百十五軒ニ及ンデ居リマス、其ノ投資額ハ六千四百十二萬圓ヲ超エテ居リマス、輸送數量ハ昭和十一年度ニ於テ一億六千四百六十四萬人デアリマス。

是等ノ交通機關ハ大體ニ於キマシテ小倉、戸畑、八幡ヲ中心トスルモノト、直方、飯塚ヲ中心トスルモノト、福岡ヲ中心トスルモノト、久留米、大牟田ヲ中心トスルモノトノ四ツニ大別スルコトガ出來マス、而シテ是等各地域内ニ於キマスル所ノ各交通機關相互間ノ連絡ガ十分ニトレナイバカリデナク、是等各地域相互間ニ於キマシテモ連絡ガ十分ニハトレテ居ラナイデアリマス、就中直方、飯塚地方ノ約七百平方軒ノ地域ハ、人口約五十萬ヲ擁シテ居リマシテ、交通上カラ見テ一大區劃ヲ成シテ居ルノデアリマスガ、其ノ地域内ニハ四十有餘ノ「バス」事業者ガ併立シマシテ、路線ノ重複セル區間ガ二百軒ニ及ンデ居ルト云フ狀態デアリマシテ、是等ハ各、獨自ノ立場カラ事業ノ計畫ヲ定メテ居リマスノデ、旅客ノ流れニ應ジタ運轉系

統や運轉回數が決メラレテ居ラナイノデアリマスシ、又は等交通機關ヲ自由ニ乗換ヘル制度モ設ケラレテ居ラナイノデアリマス、從ツテ利用者ニ取ツテ頗ル不便ヲ來シテ居ルノデアリマス。

他方事業經營上ノ立場カラ見マシテモ、是等「バス」事業者ガ對立競争シ、相當無駄ノ經費ヲ費シテ合理的經營ガ行ハレテ居ラナイノデアリマスカラ、延イテハ國家的ニ見マシテモ非常ナ無駄ヲ敢テシテ居ルト云フコトガ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス。

以上申上ゲマシタ通り現在色々缺陷ガアリマスノデ、是等交通機關ヲ調整シテ其ノ缺陷ヲ除去スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス。

猶テ以上ヲ以チマシテ大體五地方ノ交通機關ノ現狀竝ニ其ノ調整ヲ必要トシマスル理由ヲ申上ゲタノデアリマスガ、東京及大阪ノヤウナ大都市ノ交通調整ト云フモノハ極メテ複雑ナル事情ヲ包藏シテ居リマスノデ、之ガ調整ノ決定實行ニ付テハ相當ノ日時ヲ要スルノデハナイカト考ヘテ居リマス、從ツテ是等ノ地域ノ調整ト併行致シマシテ、富山、香川、福岡ノヤウナ地方ノ調査ヲ爲シテ行ツタラドウカト考ヘマスノデ、茲ニ此ノ地方ヲ取上ゲテ御説明申上ゲタ次第デアリマス。

○議長(中島副會長) 何カ御意見ガアリマシタラ……

○六番(堀内委員) 只今御説明ヲ拜聴致シマシテ、此ノ交通調整法ヲ實行致ス上ニ對シマシテ、原則的ニ少シク考ヘテ見タイコトガアルノデアリマスガ、二三點簡單ニ御質問申上ゲマスルカラ、監督官廳トシテノ

御趣旨ノアル所ヲ拜聴致シタイト思ヒマス。

第一點ハ調整法ノ規定ニ依リマス、合併、設立ハ勸告ト云フコトニナツテ居ル、其ノ他ノ共同經營、委任經營ト云フヤウナコトハ命令デ出來ルノデアリマスガ、合併ト設立ハ勸告、設立ハ會社ノ新規設立デアリマスルカラ、是ハ無論勸告デ行クヨリ外ハナイノデアリマセウガ、抑、此ノ本案ノ性質カラ考ヘテ見マスルト云フト、ドウシテモ結論ハ合併ニ行カナケレバナラヌノデハナイカト思フ、全市ノ交通機關ヲ打ツテ一丸トシテ一ツノ形態ヲ成シテ取扱ヒマスルト云フコトガ一番理想的ノヤウデアリマスルガ、假ニ東京市ニ於キマシテ此ノ各種ノ澤山ノ交通機關ヲ合併スルト云フヤウナコトニ付キマシテ、中々勸告ト云フヤウナコトデハ、到底實行出來ナイダラウ、併シ此ノ時勢ノ進歩ト大眾本位ノ考カラ致シマシテ、ソレト、自覺スル所ガアツテ、其ノ業者ガ合併スルト云フコトニナルノカモ知レマセヌガ、多數ノ中ニハ隨分自分ノ主張バカリ致シテ、公利公益ヲ害スヤウナモノモナイトモ言ヘナイ、ドウシテモ合併ト云フコトモ、命令マデ押進メナケレバイカナイモノト私共ハ考ヘテ居ル、併シ今最初カラ合併ト云フコトニスルコトガ餘リ壓迫的ノヤウデ、宜シクナイト云フヤウナ議論モアルカノヤウニモ聞イテ居リマスガ、愈、此ノ計畫ヲ進行シテ參リマシテ、ドウシテモ合併デナケレバ理想的統制ガ付カナイト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、政府ハ命令ト云フ風ニ此ノ法律ヲ修正サレテモ此ノ目的ヲ達スルダケノ自信ヲ御持チニナツテ居リマスカドウカ、又此ノ合併ト云フコトハ、何カ他ニ支障ガアツテ、サウ云フコトハ出來ナイノデアリマセウカ、其ノ

點ヲ第一點トシテ伺ツテ置キタイ。

一四

第二ハ、是モ法律ニ關聯シタコトデアリマスルガ、從來東京市ニ於ケル例ヲ見マスルト、各種各様ニ交通機關ガ分レテ居ルカラデモアリマセウガ、一面東京市ノ電氣局ノ如キハ、年中行事ノヤウニ「ストライキ」ヲヤツテ居ル、併シ各種ノ交通機關ガ御覽ノ通り亂雜ニナツテ居リマスルガ、又一方ニハ同盟罷業的ノコトハ他ト連絡ノ取レナイ事情ガ多イノデアリマシテ、此ノ狀態デ居リマスレバ、先ヅ東京市ノ交通罷業ト云フヤウナコトハ大シタコトハナイト思フ、現ニ皆サン御承知ノ通りデアル、併シ是ガ交通機關ヲ打ツテ一丸トシテ統制ノ取レルヤウニ一方ナリマシタナラバ、ヤハリ此ノ從業員ノ方ノ統制モ取レテ來ルコトニナリ、例ヘバ勞働組合的ノモノモ一緒ニナル、サウ云フコトニナリマス、結局交通機關ノ統制、交通上ノサウ云フヤウナ便利ヲ得ルト同時ニ、同盟罷業ト云フヤウナコトガ行ハレマシタトキニ、是モ深刻ニ行ハレテ、殆ド阻止スベカラザルヤウナ勢ヲ以テヤラレルノデハナイカト思フノデアリマス、現ニ「アメリカ」ニ於キマシテハ、交通事業罷業禁止ノ法律ガアルサウデアリマスガ、恐ラクサウ云フ意味カラ出タノカドウカ存ジマセスガ、兎ニ角此ノ法ヲ實行致シマシテ、打ツテ一丸トスル所ノ統制ヲ理想的ニ結末ヲ付ケルト云フコトニナリマスレバ、一方ニ於テ罷業禁止ノ法律ヲ拵ヘテ、サウシテ「ストライキ」ノ起ルヤウナ場合ヲ防止シ、左様ナコトノ爲ニ市民ガ迫害ヲ受ケナイヤウナコトヲ考ヘナケレバイカスト思フノデアリマス、此ノ點ハサウ云フ場合ヲ豫想シテ、豫メ交通事業罷業禁止法ト云フヤウナモノヲ政府當局ニ於テハ御發布ニナル意

思ガアルカドウカ、是ガ第二點デアリマス。

第三點ハ、從來東京市ガ非常ニ交通ガ亂雜ニナツテ居リマスコトハ、只今御説明ノ通り、又皆サン御承知ノ通りデアリマスルガ、併シ此ノ亂雜ニナツテ居ルト云フコトガ、強チ害ガカリテ利益ガナイト云フ譯デハナイノデアリマス、一般交通機關ヲ利用スル方ノ側カラ考ヘテ見マスルト、此ノ亂雜ノ狀態ガ競争致シマシテ、其ノ競争ノ結果賃率ガ非常ニ低下シテ居ルト云フ結果ニナツテ居ル、若シ是ガ統一サレテ競争ガナクナルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、或ハ乗車賃率ヲ引上ト云フコトガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマス、從來色々統制ニ依リマシテ統制スレバ物ガ下ルト考ヘテ居リマシタ者ハ、皆其ノ理想ヲ裏切ラレテ、全部總テノ物價ハ高クナツタ、總テノ統制事業ニ於キマシテハ皆高クナツタ、サウ云フヤウナコトガ若シアリマスレバ、非常ニ調整法ノ前途ニ暗影ヲ認メルノデアリマス、殊ニ乗換ノ不便ヲ省キ、色々不快ノ念ヲ除クト云フコトハ、一般大衆ニ取ツテハ非常ニ必要ナコトデアリマスルケレドモ、最後ハ賃銀ノ賃率ノ點デアラウト思ヒマス、洵ニ他ノモノト違ヒマシテ、交通機關ノ賃銀ト云フモノハ、生活狀態ニ非常ニ影響ヲ及ボスモノデアリマシテ、是ハ私ガ申上ゲル迄モナイノデアリマスルガ、假ニ片道一錢値上ニナルモノトスレバ、往復二錢一月デハ六十錢ノ負擔ヲスルコトニナル、何時モ東京ハ段々場末ノ方ニ比較的家賃ノ安イ所ヲ求メテ、勞働者ナドガ其ノ方ヘ移ツテ參ル、併シ今日デハ勞働者ト申シ下層階級ト申シマシテモ、相當子供ヲ持ツテ居リマスルシ、親爺ガ職工ニ出テ子供等ハ給仕ニ出ルト云フヤウナコトデハ三

一五

人四人ノ人ガ交通機關ヲ利用シテ中心ニ出テ來ル者ガ澤山アル、若シ一人前六十錢ノ賃銀ガ高クナリマス
ト、四人デハ二圓四十錢ト云フヤウナ一箇月ノ負擔ニナルノデアリマシテ、洵ニ此ノ賃銀ノ引上ト云フコ
トハ、生活問題ニ非常ニ響イテ來ル、先般電力事業法案等ニ付キマシテハ、假ニ一割ノ値下ヲスルト云フ
ヤウナ押ヘ所ガアツテ御提案ニナツタヤウニ考ヘテ居リマスガ、本法ニ付キマシテハ、交通調整法ガ實行
サレテモ、種々ノ不便ヲ省キ便利ヲ與ヘルト云フコトニ致シテ、賃率ハ絶對ニ是ヨリ高クハサセナイ、セ
ナイ、或ハ之ヲ一割低減スルトカ、サウ云ツタヤウナ何カ目標ガアリマシテ、其ノ目標ニ依ツテ調整法ヲ
實行スルノデアアル、何カコンナ御方針ノ上ニ於テサウ云フコトガアルノデアリマセウカ、ソレ等ハ調整委
員會ニ於テ色々御相談モスル譯デアリマセウカ、先ヅ政府ノ御提案ト致シテ、賃率ノ上ニ於テノ御考ハド
ウ云フコトデアルカ、現在ノ運輸料金ヨリ引上グナクテ他ノ方法ヲ以テ便利ヲ圖リ調整ヲ圖ルト云フヤウ
ナコトデアレバ一般大衆モ非常ニ喜ブデアリマセウ、尙ホ一歩進ンデ假令一割デモ低減ヲスルト云フコト
デアレバ、尙更ラ結構ナコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイ、是ガ第三
點デアリマス。

第四點ハ、今回本法ヲ實行スル上ニ於キマシテ、合併シマスルノニモ、共同經營ヲ致シマスルノニモ、委
任經營ヲ致シマスルノニモ、ドウシテモ決定致サナケレバナラスモノハ評價デアリマス、評價ヲ先ヅ決定
致シマセスケレバ、總體ノ價格ガ分ツテ來ナイノデアリマスルカラ、利益配當ヲ致スニシテモドウスルニ

致シマシテモ、此ノ評價ヲ決定スル必要ガアル、此ノ評價ヲ決定シマス上ニ付キマシテ考ヘテ見マスルト、
假ニ軌道、電車軌道ト云フヤウナモノ、地下鐵道デアルト云フヤウナモノニハ評價ガ出來マス、是ハ鐵道
買収法等ノ規定ニ準ジマシテモ、評價ハ直チニ得ラレルノデアリマスガ、一番茲ニ困難トシマスルノハ「バ
ス」事業デアリマス、殊ニ東京市ニ於ケル「バス」事業デアアル、「バス」事業ハ申上ゲルマデモナク、天下ノ
道路ヲ勝手ニ使ヒマシテ、御認可ヲ得テ此ノ上ニ營業ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、營業者ノ方ハ車ダケ
持ツテ營業スレバ宜イヤウナコトデアリマス、投資金額ト云フモノハ、洵ニ僅カデ足リル、併シ近來是ガ
長イ間ノ經歷ヲ經マシテ、一種ノ營業權ト云フモノニナツテ、サウシテ隨分高イ値段ヲ以テ賣買サレテ居
ル、甚シキニ至ツテハ、一哩二哩ノ所デ百萬圓近クノ價格ヲ以テ賣買サレタト云フ例モアルノデアリマス、
ドウ云フ譯デサウ高ク賣買サレルカト云ヒマス、是ハソレダケノ利益ガアル、收入カラ經費ヲ差引イテ殘
ツタ利益ガアルノデアリマスルカラ、其ノ利益ヲ元本ニ還元スルト、是ハ幾ラマデ買ツテモ何ボノ利益ヲ
保留サレル、斯ウ云フヤウナ計算カラ賣買ガ行ハレテ居ルヤウデアリマスルガ、モウ一ツハ此ノ道路ノ御
蔭ガ十分アル、併シサウ云フコトガアルニ致シマシテモ、兎ニ角ソレダケノ賣買ガ實行サレテ居ルノデア
リマス、ソコデ私ノ伺ツテ見タイと思ヒマスル點ハ、此ノ頃省營「バス」ガ民營「バス」ニ對シテ補償スル所
ノ補償法ガ改正ニナツテ、前ノ補償法ハソレ程ニハナリマセヌガ、今度ノ御改正ノ補償法デ見マスルト、
民營「バス」ガ廢業致シタトキニハ相當ナ補償ヲスルノデアリマスガ、其ノ補償ハ民營「バス」ノ利益ノ七箇

年分以内ト云フコトニナツテ居ル、收支差引イテ残ツタ所ノ利益ノ七箇年分以内ノ金ヲヤツテ、ソレデ補償ヲシテ民營「バス」ハ廢メサセルト云フコトニナルデアリマスガ、又一面其ノ補償法ノ中ニ、但シ他カラ買ツタモノハ買收價格ヲ認メルト、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、デアリマスルカラ自分ガ假ニ初メカラ許可ヲ取ツテ營業シテ居ツタ所ノ業者ト云フモノハ、僅ニ利益七箇年分以内ノ金ヲ以テ、是ハ補償法ノ規定デ壓迫的ニ取上ゲルコトガ出來ル、併シ其ノ同ジ法律ノ中ニ買ツタモノハ認メルト云フコトニナリマス、若シ其ノ業者ガ只今申上ゲタヤウナ高イ値段ヲ以テ買收シタ路線ハ買收シタ金ダケ拂ハナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ハ實際ニ於テ、其ノ比較ヲ取ツテ見マス、非常チ違ヒガ出テ來ル、随分何倍、數倍以上ノモノガ出テ來ル、茲ニ於テ問題トナリマスコトハ、最初カラ自分ガ買入モセズニ、自分ガ仕事ヲシテ許可ヲ取ツテヤツテ居ツタ場合ハ、満足ニ十分賣ツテ利益ノ七倍、所ガ買收シテヤツタト云フモノニナルト、只今申上ゲタ一哩五十萬圓デモ、二哩百萬圓デモ、之ヲ認メル結果ニナル、茲ニ同ジ「バス」業者ニ於テモ、物ノ評價ノ上カラシテ非常ニ相違ガ出テ來ル、若シ此ノ補償法ヲソレニハ應用シナイ、他ノコトデ行クト云フコトデアレバ別デアリマスルケレドモ、併シ一面省營「バス」ガ民營「バス」ヲ廢メサシタ場合ニ、ソレダケノ補償ヲスルト云フコトデアレバ、ソレダケノ値打ガアルノデハナイカト云フコトヲ「バス」業者ハ主張スルコトガ當然デアラウト思フ、若シ主張スルト云フコトニナリマシタナラバ、同ジ「バス」業者ノ中ニ於キマシテモ二様ニ分レテ非常チ不公平ナ結果ヲ生ムノデハナイカト思フ

ノデアリマス、ソレカラ尙ホ此ノ調整法ガ愈、東京市其ノ他ニ於テ實行サレルト云フコトニナリマスレバ、或ハ其ノ時ノ評價ヲ高クシテ貰フヤウナ爲ニ、是カラモ賣買ガ行ハレルカモ知レヌ、或ハ實際賣買ノ必要ナキモノデモ賣買ガ行ハレル例モナキニシモ非スト思フデアリマスガ、此ノ「バス」業者ノ「バス」ニ對スル所ノ評價ト云フモノハ、今度御改正ニナリマシタ省營「バス」ヲ補償規定ヲ之ニ應用ナサル御積リデアリマスガ、又ハ是ハ自然別箇ノモノニシテ、ソレニ何等ノ關係ナク委員會ニ於テ決定シテモ差支ナイ、併シソレハ一方ノ法律ガアツテ出テ居ルノデアリマスカラ、ドウモソレニ依ルト云フコトノ問題モ出テ來ル、デ何カ關係ヲ持ツノデハナイカト思フヤウナ感ジガ致スノデアリマス、此ノ點ヲ一應御解釋ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス。餘リ長クナリマスガ、モウ一點簡單ニ序ニ伺ツテ置キマスガ、ソレハ國有鐵道ト地方鐵道ノ關係デアリマス、國有鐵道ト地方鐵道ニ於キマシテハ、御承知ノ通り貨物輸送ニ於キマシテ連絡輸送ヲ致シテ居リマシテ、車ハ一緒ニ中へ入ルノデアリマスガ、運賃ガ打切計算ニナツテ居ルノデアリマスルカラ、短距離ノ運賃ハ鐵道省運賃ト雖モ高イノデアリマス、殊ニ私設鐵道ハ短距離ノ運賃ガ高イノデアリマススケレドモ、鐵道省ノ國有鐵道ハ遠距離遞減法ノ運賃ガアリマシテ、遠距離ニナル程賃銀ガ安クナル、此ノ私設鐵道ニハ遠距離遞減法ノ運賃ガナイノデアリマスルカラ、ヤハリ高イ、現ニ今度御借上ニナルヤウデアリマスガ、富士身延鐵道ノ如キモノハ東海道ト中央線ノ間ニ介在シテ居ル鐵道デ距離ハ五十五哩アリマスルガ、是ガ今ノヤウナ運賃ガ通算サレナイ爲ニ、静岡以西カラ甲府以西ニ達スル貨物ト云フモノハ、富士身延鐵道ガ國

有鐵道ト同ジ賃銀ニシテモ、ソレヨリ寧ロ東海道カラ東京ノ方ニ廻ツテ百五十哩ト云フヤウナ三倍モアル遠距離ヲ廻ツテ輸送シテ行ツタ方ガ賃銀ガ安クナルノデアリマシテ、其ノ結果皆荷主ハ賃銀ノ安イコトヲ望ムノデアリマスカラ、サウ云フコトヲ現ニ各地トモ致シテ居ル、其ノ爲ニ私設鐵道ガ相當壓迫ヲ蒙ツテ居ルト云フヤウナ例モアルノデアリマス、是等ノ如キハ交通機關ノ本體ニ鑑ミマシテ、短距離ノ所ヲ輸送スルト云フコトガ、總テノ鐵道ノ維持其ノ他ニ付テモ原理デナケレバナラヌノデアリマスルガ、現在ノ規則ハサウ云フヤウナコトニナツテ、非常ニ不合理ノ點ガ多イヤウニ私共考ヘテ居ル、斯様ナモノモ此ノ調整法ノ實行ヲ機ト致シマシテ、總テ都市ノ調整ノミナラズ、地方鐵道、國有鐵道トノ連絡等ノ點ニ於キマシテモ、斯ウ云フヤウナモノハ一切此ノ調整法ノ規定ニ依ツテ調整ナサル方ガ宜カラウト思フノデアリマスガ、其處マデ御延長ニナリマスカドウカ、只今ノ御説明デハ數箇ノ都市ニ限り此ノ調整ヲヤラウト云フ思召ノヤウデアリマスルガ、尙更ニ進ンデ、私設鐵道、國有鐵道等ノ間ニ於キマシテモ、マダ他ニモ色々サウ云フコトヲ考ヘタラアラウカト思フノデアリマスガ、サウ云フコトマデモ進ンデ全體ノ調整ヲ圖ルト云フヤウナ御考デアルカドウカ、此ノ五點ヲ伺ヒマシテ、多少此ノ前途ノ調整法實行ノ上ニ、私ノミナラズ皆様ノ御參考ニモナルヤウナコトデハナイカ、私ハ原則的ニ斯様ナコトヲ考ヘテ、サウシテ案ヲ立テルト云フ必要モアラウカト考ヘマス、甚ダ長々相濟ミマセヌガ、是等ノ點ヲ御説明ヲ願ヒマス。

○鈴木幹事 只今御質問相成リマシタ點ニ付テソレ、御答辯申上ゲマス、第一ハ合併ヲ勸告トシテ居ル

ガ爲ニ、今後調整ノ必要上合併ヲサセナケレバナラヌトキニ、勸告デハ物足ラナイデハナイカト云フ御話ト、物足ラナケレバ、現在ノ交通調整法ヲ改正スルノ意思ナキヤト云フ御問ダト思ヒマスルガ、設立及ビ合併ヲ命令事項ニ致シマシタ立法例ガゴザイマセヌト、又御承知ノ如ク、合併ハ會社ノ株主ガ其儘他ノ合併セラレル所ノ會社ノ中ニ入リマスノデ、事業經營ノ危險ヲ負擔スルコトナル斯様ナモノヲ命令スルコトハドウカト思ヒマシタノト、彼此立法上難點ガゴザイマシタノデ、是ハ勸告ニ止メテ居ツタノデアリマス、併シナガラ私達ハ此ノ交通調整委員會ガ公正妥當ナル意見ヲ以テ合併スベキモノダト云フコトニ決議セラレ、主務大臣ガソレヲ決定セラレテ勸告セラレタナラバ、社會的ノ一種ノ道義ガ有效ニ働キマスノデ、私達ハ合併ハ勸告デヤツテ行ケルモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ合併セシムベキ必要ガ非常ニアルノニ、サウ云フコトデハ實行出來ナイト云フ事態ニナリマシタナラバ、其ノ際ニ於キマシテ考慮スベキモノデアラウト考ヘルノデアリマスルガ、只今ノ所其ノ立法ヲ改正シナクトモ宜イデハナイカ、モウ少シ事態ヲ見テカラデモ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、又此ノ法律ヲ改正シナイデモ、他ノ特殊會社法ノ方法モアリ得ルノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレマスノデ、ソレハモウ少シ事態ヲ見テカラデモ宜イノデハナイカト思フノデアリマス。

次ニ御質問ニゴザイマシタノハ「ストライキ」ノ問題デアルト思ヒマス、詰リ統制セラレテ一ツノ包括會社ガ出來マシタトキニ於テ、其ノ市内ハ單一主體ノ交通機關ニナツテシマフ、ソレガ「ストライキ」ヲサレ

タ場合ニ於テハ、多數主體ノ交通機關ガアツタ時ヨリモ一層市民ニトツテ不便ナル事態ガ生ズルノデアアルカラ、其ノ「ストライキ」ヲ禁止スベキモノデハナイカト云フ御質問ダト思ヒマスガ、吾々ハ包括會社ガ出來マシタナラバ、其ノ會社ノ經營ハ現在分立セル時ヨリモ經營狀態ガ良好ノモノニナルノデアリマスルカラ、「ストライキ」ノ問題ノ原因ガ少クナツテ行クノデハナイカ、又包括會社ニナリマスレバ、其ノ公共性ト云フモノガ一段ト認識サレテ行クノト、資本家側モ從業員側モ其ノ公共性ノ認識ガ強イカラ、「ストライキ」ニ訴ヘルコトハ中々ナイノデハナイカ、不幸ニシテ尙モ「ストライキ」ヲ起スヤウナ場合ニ於キマシテハ、現在ニ於キマシテハ勞働爭議調停法ガアルノデアリマスルカラ、其ノ運用ニ俟ツテ、主管官廳ト協力シテ市民ニ對スル不便ヲ出來ルダケ除キタイト考ヘテ居リマス、尙包括會社ニナレバ監督官廳ノ責任モ非常ニ重イノデ、吾々モ其ノ經濟狀態竝ニ勞働條件ト云フモノニ對シテハ、絶エズ監督ヲシテ行キタイト思ツテ居リマス。

次ニ乗車賃値上ノ問題デアリマスガ、即チ此ノ交通調整ヲ爲ス場合ニ於テ乗車賃ヲ値上シナイト云フ一貫セル方針ノ下ニ調整スル積リカト云フ御質問ダト思ヒマスガ、今一概ニ乗車賃ヲ値上スル、シナイト云フコトハ申サレナイト思フノデアリマスガ、要スルニ只今申シマシタ如ク、調整セラレテ會社ガ統一サルレバ經濟狀態ハ良クナルノデアリマスルカラ、他ノ條件サヘナケレバ、運賃値上ノ機會ト云フモノガ少クナツテ行クノデハナイカト吾々ハ考ヘテ居リマス、況シテ運輸系統其ノ他ノ整備ニ依ツテ、今迄市民ノ乗換其ノ他

ニ於テ支拂ツテ居ツタ運賃ガ輕減セラレル場合ガ多イノデ、實質的運賃ハ低下シテ行クノデハナイカト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ハ各都市其ノ他ニ依ツテ事情ガ非常ニ異ナルト思ヒマスカラ、具體的調整ノ場合ニ於テ、委員ノ御方ノ御意見ヲ承リマシテ慎重ニ此ノ運賃問題ニ對處シタイト考ヘテ居リマス。

次ニ申サレマシタノハ、「バス」ノ評價ノ問題ダト存ジマスルガ、御案内ノ如ク「バス」ノ評價ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、現在行ハレテ居リマスモノモ彼此多様アリマス、只今申サレマシタ如ク、年間ノ利益金ニ七年乃至十年ヲ掛ケタモノヲ以テ無形の資産トナシ、更ニ有形の資産ヲ足シタモノト、或ハ一定ノ率ヲ以テ還元スル方法ヲ用ヒテ居ルモノト彼此アリマスガ、吾々交通調整ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、調整法ノ立法趣旨カラ酌ミマシテ、成ルベク自治的調整、自治的協調ニ委シタイト思ヒマスノデ、其ノ評價モ成ルベク協議ニ委シテ置キタイノデアリマス、萬一裁定ヲ委員會ニ於テ爲サナケレバナラヌ場合ニ於キマシテハ、其ノ具體的ノ事情及其ノ地方ニ行ハレテ居ル慣例其ノ他彼此考ヘマシテ、「バス」ノ評價ヲ其ノ際ニ定メタイ、一概ニ「バス」ノ評價基準ト云フモノヲ定メルコトハ困難デモアリマスシ、又弊害ヲ生ジ易イノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマス。

次ニ御尋ネニナリマシタコトハ、貨物運賃通算ノ問題デアリマスガ、是ハ私ヨリ御答致スノガ宜イカ山田幹事カラ御答スルノガ宜イカ分リマセスガ、此ノ貨物運賃ノ通算問題ハ、通算ニ依ル遠距離運賃遞減ト云フ

モノノ爲ニ運賃ノ減收ト云フモノガ省線並ニ私設鐵道ニ於キマシテ相當ナ額ダト思フノデアリマス、又實收運賃ヲ如何ニ割賦スルカト云フ割賦ノ率ト云フモノモ、中々難カシイ問題ト考ヘラレマスノデ、理論トシテハ一應ノ理窟ハアルノデアリマスガ、今尙實行セラレナイ狀態ニアルノダト私ハ考ヘテ居リマス、併シナガラ一面ニ於テ、此ノ遠距離通算運賃ノ問題ハ民衆ニ便利有利ナ方法デモアリマスノデ、尙折角當局ニ於テハ研究中デアルト存ズルノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ本當ニ全國ニ互ル問題デゴザイマシテ、一般ニ互ル問題デモアリマスカラ、所謂交通機關ノ行政ヲヤツテ居リマスル官廳トシテ、單獨ニ彼此考究シテ行ツテ然ルベキ問題ダト思ヒマシテ、今交通調整委員會ノ議ニハ載セナカツタノデアリマス、以上ヲ以テ御答ト致シマス。

○六番(堤委員) 只今堀内委員ト監督局長トノ質疑應答ニ依リマシテ、之ニ關聯シテ御尋ネシテ置キタイ點ガアルノデアリマス、ソレハ只今堀内委員ノ質問ノ第一點デアリマスルガ、堀内委員ハ會社ノ合併又ハ設立ヲ勸告事項ニシテ置イテハ其ノ目的ガ達シナイノデハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、然シ此ノ立法ハ餘程ウマク出來テ居ル、之ヲ勸告事項ニシテ置クト云フ所ハ極メテ穩カノヤウデアリマスルケレドモ、當事者ガ若シ其ノ勸告事項ヲ肯カナカツタラドウスルカト云フト、事業ノ共同經營ヲ命令スルコトモ出來ル、事業ノ管理ノ委託又ハ受託ヲ命令スルコトモ出來ル、事業ノ讓渡又ハ讓受ヲ命令スルコトモ出來ル、結局應ジナカツタナラバ其ノ他ノ方法デ、其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマ

ス、餘程此ノ調整法ト云フモノハウマク出來テ居ル、又ヲ眞綿ニ包ンダヤウナ恰好デアル、極メテ軟ラカク見セテ居ツテ餘程強ク出來テ居ル、併シソレガ私ハイカスト云フノデハナイ、今ノ時勢ハ此ノ法律ノ實施ヲ要望シテ居ルノデ、寧ロ遲キニ失シテ居ルト云フ感モナキニシモ非ズデアル、併シナガラ此ノ法律ヲ運用スルニハ餘程考ヘテ貰ハナケレバナナイ點ガアリマス、例ヘバ茲ニ電車ガアル、此ノ電車ニ並行シテ「バス」ガ許サレテ居ル、ソレガ今ノ石油ノ消費ヲ節約シナケレバナラヌト云フトコトガ國家的ニ急務デアルニ拘ラズ、今尙徒ラニ「ガソリン」ヲ燃シテ走ツテ居ルト云フヤウナコトデアル、斯ウ云フトコトニ對シテハ、一日モ早く此ノ法律ニ依ツテ此ノ委員會ノ決議ヲ經テ適當ナル統制ヲ行ツテ貰ハナケレバナラナイト云フコトヲ、私ハ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、併シ一例ヲ以テ申シマスレバ、東京ノ地方デアル、是ハ又無暗ニ此ノ法律ヲ使ツテ合併又ハ設立ト云フコトヲ強要スルト云フトコトハ大イナル弊害ヲ生ジテ來ル、其ノ點ハ餘程考ヘテ貰ハナクテハナラナイ、一例ヲ以テ申セバ、東京ヲ中心トシテ放射線ニ澤山ノ電車が出テ居リマス、其ノ中ニハ省線モアリマス、ソレヲ見テ見マスルト、省線ノ沿線ト私設鐵道ノ沿線ト比ベマスと云フト、私設鐵道ノ沿線ハ大變ニ發展ヲシテ居ル、省線ノ沿線ハ發展ヲシテ居ナイ、是ハドウ云フ譯カト云フト、省線ノ沿線ハ「サービス」ノ點ニ於テ、又ハ運賃ノ點ニ於テ私設鐵道ニ叶ハナイ、即チ私設鐵道ガ勉強スルノデアル、是ガ若シ統制ノ爲ノ統制ト云フトコトニナツテ、二ツノ會社ニナツテシマツタラドウナルカ、即チ鐵道省ノ省線ト同様ナコトニナツテ、市民ガ郊外ニ發展スルト云フトコトニ大

變ナ不便ヲ來スノデアル、年々百万ノ人口ガ殖ニル、主トシテ都會ニ集中スル、是ハ郊外ニ伸バサナケレバナリマセヌノニ、太イナル障礙ヲ來シマシテ、國民ノ不便亦甚ダシト云フコトニナル、ソレデアリマスカラ、此ノ法律ヲ運用スルニ當リマシテハ、之ヲ強化シテ速ニヤルベキコトハ、徒ラニ統制ノ爲ノ統制ニ流レテハナラナイ、此處ハ餘程考ヘテ貴ハナクテハナラヌ、近頃統制ト云フコトガ流行リマシテ、統制ノ爲ノ統制ヲ徒ラニヤル傾向ガ可ナリアル、而シテ是ガ官僚獨善ノ弊ヲ國民ハ痛切ニ感ジツ、アルノデアリマス、私ハ同ジ官僚ト申シマシテモ、鐵道省ノ役人ハ他ノ省ヨリハ、ヤハリ世ノ中ニ揉マレテ居ラレマスルカラ、實情ニ通ジテ居リ、官僚獨善ノ弊ハ餘リ多ク聞カヌノデアリマスルケレドモ、併シ此ノ統制ノ爲ノ統制ト云フヤウナコトニナツテ、交通本來ノ目的ヲ沒却スルヤウナコトニナルトイカヌト私ハ思フノデアリマスルガ、此ノ點ハ鐵道當局ハ如何ニ考ヘテオイデニナリマスカ、相成ルベク、是ハ鐵道大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。

○議長(中島副會長) 只今ノ提委員ノ御質問ニ御答致シマス、調整ノ地域ニ於ケル調整ノ方法ヲ如何ヤウニスルカト云フコトハ、決シテ官僚ノ獨斷或ハ自分ノ意思ヲ以テヤルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、ヤハリ調整委員會ノ御意見ヲ綜合シテ、其ノ御意見ニ從ツテヤツテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其ノヤウナコトハ、實際問題ニ當ツテ腹藏ナク皆様ノ御意見ヲ述ベテ載キマシテ、其ノ綜合シテ決シタ所ニ依ツテヤツテ行ク考デアリマスルカラ、決シテ官僚獨善デ、統制ノ爲ノ統制ニ陷ル

ヤウナコトハ此ノ陸上交通事業調整ニ關シテハアルマイト存ジテ居リマス。

○五番(石渡委員) 二三御尋ネシタイト思フノデスガ、此ノ交通事業殊ニ「バス」等ニ付テノ路線ノ亂雜ニナツテ居リマスコトハ先程來御説明ヲ戴イタノデアリマスガ、此ノ「バス」等ノ路線ヲ整理サレルコトニ付テハ、鐵道省ノ監督權ト云フモノハ、ドノ程度ニ働クモノデアリマセウカ、陸上交通事業調整法ノミニ依ツテ働クノデアリマセウカ、其ノ他路線ノ整理ニ付テモ、鐵道省ノ監督權ト云フモノハ相當アルモノデアリマセウカ、其ノ點一點伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ先程來國家的ノ重複ノ資料其ノ他無駄ヲ排除スルト云フ御考ヲ伺ツタノデアリマスガ、是モ御尤ナ點ガ相當アルト思フノデアリマス、只今モ御話ノデアリマシタヤウナ「バス」等ノ「ガソリン」ノ節約其ノ他東京ノ市電ニシマシテモ、隨分今日モウ廢線ニ等シイヤウナ所ヲ電車ガ走ツテ居ル、寧ロ斯ウ云フ際ニハ「レール」ヲ外シテ、更ニ有效ナ方面ニ用ヒタガ宜イノデアアルマイカト思ハレル所モアルヤウデアリマス、斯ウ云フ所マデ是ハイケルモノデアリマスカ、若シサウ云フ所マデ行ケルトシタナラバ、相當早クヤツテ戴ク必要ガアルノデハナイカト思ツテ居リマス、ソレニ付キマシテハ、先程各地方ノ御話ガゴザイマシタガ、地方ノ方ハ比較的金モ少イヤウデゴザイマスガ、寧ロ此ノ統制ヲ始メラレルトシタナラバ、東京、大阪ニ重點ヲ置イテ、其ノ他ノ地方ハ後廻シニシテモ宜イノデハナイカ、仕事ヲ急グ上カラ行キマスレバ、ヤハリ東京、大阪ト云フモノニ重點ヲ置イテ、主トシテ其ノ方ヲ急ガレルコトガ、此ノ際國ノ爲ニモ必要デハナイカ、斯ウ云フ風ナ感ジガ致シマス

二八
ガ、事務御當局ノ他ノ方マデヤルト云フ御説明ガ、ドウモハツキリ分リマセヌデシタカラ、モウ一應其ノ點御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス。

ソレカラ今一點ハ、物資ノ無駄排除其ノ他ニ付テ、從來民間ノ鐵道等ガアツテ、相當交通上便利ノアル所ヘ更ニ鐵道省自體ガ線ヲ引カレルト云フヤウナ場合モアツタカト思フノデアリマスルガ、今回ノ陸上交通事業調整法直接ノ效果デハアリマスマイガ、交通事業ノ調整ヲシテ行ク上ニ於テハ、民間ノ會社ノ經營ニ屬スルモノ、又公共團體ノ經營ニ屬スルモノト同様ニ、鐵道省自體ノ交通事業ニ付テモ、ヤハリ御考ニナル點ガアルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ合セテ伺ヒタイと思ヒマス、大體以上御説明ヲ願ヒマス。

○鈴木幹事 今ノ單獨法規ニ依リマシテ現在ニ於ケル地方鐵道或ハ軌道或ハ自動車運輸事業ヲ合併セシメタリ、或ハ讓渡ヲ命ジタリ、或ハ共同經營ヲ命ジタリスルコトガ出來ナイカト云フ御話デアリマスルガ、自動車運輸事業ニ付キマシテハ、共同經營ニ付テ命ズルコトガ出來ルノデアリマスガ、其ノ他ノ點ハ行政的幹旋ニ依ツテ成ルベク調整セラレルヤウナ方法ヲ從來行ツテ來タノデアリマス、唯調整法ノ目的ト致シマス所ハ地方鐵道ナラ地方鐵道單獨、或ハ軌道ナラ軌道單獨、自動車ナラ自動車單獨ノ目的デハナクシテ、或ル都市ノ交通機關ヲ一體トシテ調整シテ行ク爲ニ是等ノコトヲ命ズル必要ガアリマスノデ、此ノ調整法ヲ制定スルニ至ツタノデアリマス、又只今並行區間ニ於ケル「ガソリン」消費ノ點カラ「バス」ノ整理ノ問題ヲ申サレマシタガ、其ノ點ニ付テハ「ガソリン」消費規正ノ強化ニ伴ヒマシテ並行路線ニ於ケル「バス」ノ共

同經營或ハ合併等ノ行政上ノ幹旋ヲ只今著々實行中デアリマシテ、是ハ相當ノ效果ヲ舉ゲツ、アルモノト考ヘテ居リマス。

次ニ交通調整ヲスルノハ東京、大阪ダケニシテ、地方ヲシナクテモ宜イダラウト云フヤウナ御質問ニ承リマシタガ、東京及大阪ハ御案内ノ通りニ、調整ニ付キマシテハ色々ナ事情ガゴザイマスノデ、其ノ計畫ヲ樹テマスノニモ相當掛リマセウシ、愈計畫ヲ樹テ、實行ニ掛リマスノニモ相當ノ日時ヲ要スルト思フノデアリマス、此ノ二ツノ大キナ都市ヲ同時ニ兩方著手致シマスコトハ、中々實行上困難デハナイカ、ソレハ事務上人手ノ關係モアリマスシ、又彼此交渉スルノニ複雑ヲ増スノデハナイカト思フノデアリマス、モウ一ツハ大阪ニ於キマシテハ、今自治的調整ガ少シ話ガ進ミツ、アリマスノデ、其ノ經過其ノ他ヲ暫ク見テ居ルノガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ際ニ地方ヲヤリマスル所以ハ、片一方ノ東京其ノモノガ相當ニ日時ガ掛リマスノデ、東京ダケ專屬ニヤツテ居リマスルト、全國的ニ調整シテ行カウト思フノニ其ノ完成ガ遅レマスノト、モウ一ツハ地域的ニ見マシテ地方ノ調整ガ出來ルヤウナ所、又適當ナ所ハ調整シテ置イタ方が全國ノ調整ノ機運ヲ助長スル上ニ於テモ非常ニ宜シイノデアルシ、其ノ地方ノ交通機關ノ狀態カラ見テ調整ヲ適當ト認ムルノデアリマスルカラ、併行的ニヤツテ行ツタラ宜イノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、次ニ省營ノ問題デアリマスガ、是ハ山田幹事ノ方カラ一ツ……

○山田幹事 シレデハ私カラ御答申上ゲマス、最後ノ御質問ノ趣旨ハ、慥カ省線ノ建設或ハ省營自動車ノ

路線ノ建設ニ對シテハ既ニ此處ニ適當ナル交通機關ノ存在スル場合ニ鐵道省トシテハ交通調整ノ趣旨ヲ尊重シテ、其ノ線路ノ建設新設ニ付テ考ヘルカト云フ御質問ノヤウニ拜聴致シタノデアリマス、之ニ付キマシテハ、色々具體的ノ「ケース」ガ澤山アリマシテ、一概ニハ申兼ネルンデアリマスガ、勿論我々トシテハ交通調整ノ趣旨ハ尊重スル積リデアリマスガ、具體的ノ場合ニ於テハ、國家交通系絡上、即全體ノ國家トシテノ交通ノ上カラ見マシテ、此處ニ線路ヲ延長スル必要ヲ認メル、或ハ既ニ存在シテ居ル地方鐵道軌道ヲ買收スルトカ、或ハ既ニ存在シテ居ル自動車業者ニ補償ヲ與ヘマシテ、省線ガ此處ニ線路ヲ延長スルト云フ場合ガアリ得ルト云フコトヲ申上ゲテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○三十番(青木委員) 此ノ交通事業調整委員會ノ仕事ハ既ニ出來テ居ル交通機關ノ調整ヲ目的トスルノデアリマシテ、現下ノ資本並ニ物資其ノ他ノ統制ノ上カラモ非常ニ緊急ノコト、思ヒマスガ、併シ既ニ一旦投下シタル資本或ハ使用シタル資材ヲ整理スルト云フコトハ非常ニ無駄ナコトデアル場合ガ多イト思ヒマス、斯ウ云フ整理ヲ必要トスルコトニ何故ニ立チ到ツタカト云フ點ニ鑑ミマシテ、成ルベク斯ウ云フ事態ノ生ジナイヤウニ當局ノ監督權ヲ運用其ノ他ニ於テ考ヘナクテハイカニ點ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ委員會ノ仕事ト並行シテ事前ニ斯ウ云フ事態ノ發生ヲ豫防スル爲ニ、鐵道省或ハ内務省ニ於テ、何カ御研究或ハ御決定ニナツテ居ルコトガアリマスレバ御伺シテ置キタイト思ヒマス。

○鈴木幹事 只今御質問ニナリマシタコトハ、調整ハ現在ノモノノ調整デアツテ、將來ニ對スル所ノ計畫

ニ對シテ、同時ニ内務省及ヒ鐵道省デ何カ新シク考ヘタモノガアルカト云フコトデアリマスガ、現在ノ交通ノ複雜性ヲ生ジマス最モ大キナモノハ自動車運輸事業デアリマス、此ノ自動車運輸事業ノ免許ガ元單獨ニ地方廳デ爲サレテ居リマシタ當時ニ於キマシテ、其ノ專門家が居ラナカツタ爲カ、路線ノ免許ハ相當ノ數ニ上ツタノデアリマス、隨テ亂脈ト申上ゲテハ語弊ガアリマスガ、非常ニ複雜性ガ増シタノデアリマス、ソレデ自動車交通事業法ヲ制定セラレタ當時ニ、其ノ監督權ヲ鐵道省ガ得マシテカラ、内務省當局ト能ク協調致シマシテ、順次行政的斡旋ニ依リマシテ、其ノ數ヲ三分ノ二位ニ減シテ行ツタノデアリマス、斯ノ如クシテ今後起リマスル交通ノ問題ニ付キマシテハ、内務省ト能ク協調シテ行ヘバ其ノ弊害ヲ除去シ得ラレルモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、又鐵道、軌道ニ於キマシテハ、地方鐵道ヲ現在ノ地方鐵道、軌道ニ接近並行シテ免許スル場合ニ於キマシテハ、鐵道會議ニ諮問スルコトニナツテ居リマスルシ、又調整セラレタル區域ニ於テ、免許致スベキ場合ニ於キマシテハ、調整法ニ依ツテ此ノ委員會ニ諮問スルコトニナツテ居ルノデアリマスルカラ、將來ノ新規ノ交通機關ニ對スル免許ニ對シテハ、十分ナル見透シヲ持チナガラ、許シテ行カレルコトダト私ハ考ヘテ居リマス。

○五番(石渡委員) 一寸今ノ青木サンノ質問ニモ關係シテ居ルコトデアリマスルガ、今山田サンカラノ御話ガアリマシタガ、從來サウ云フコトハナイト思フノデアリマスガ、兎モスレバ鐵道省ノ監督ノ主トサレル所ガ、鐵道省ノ商賣ニ儲カルカ差支ガアルカト云フ所ヲ眼中ニ置カレテ許サレタリ許サレナカツタリス

ル場合ガ從來非常ニ多カッタと思フノデス、其ノ鐵道省ガ此ノ交通事業調整法ヲ運用シテ行カレルニ當ツテハ、大分考ヲ從來ノ考トハ變ヘテ戴イテ、全部國家的ニ見テ、鐵道省ノ事業モ其ノ他ノ民間ノ事業モ、市營ノ事業モ、總テ國家的ナ立場カラ見テ、單ニ競爭相手ト云フコトヲ考ヘズニ、行ツテ戴カナケレバ、將來ノコトモドウカト思フ疑點ガ皆ノ頭ニアルドラウト思フノデアリマス、其ノ點ヲ特ニ申上ゲテ置キタイと思ヒマス。

○十七番(堤委員) 只今青木委員ト監督局長トノ質疑應答ニ關聯シマシテ、私モ一寸御尋ネシテ見タイノデアリマスガ、ソレハ交通行政ニ關シテ、鐵道當局ト内務當局トハ、能ク協調ヲ取ツテ居ルト云フ監督局長ノ御答辯デアリマシタガ、是ガ實際ノ問題ニ打突ツテ見ルト云フトウマク行ツテ居ナイノデス、國民ハ是ガ爲ニ非常ナ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアルカト云フト、地方ノ交通ヲヤツテ居ルノハ縣ノ保安課デアル、此ノ保安課ノ役人ハドウ云フ眼デ見ルカト云フト、其ノ地方ダケノ利害ト云フコトヨリ考ヘナイ、鐵道省ハドウカト云フト、其ノ地方ノ利害ハ勿論考ヘルケレドモ、國全體ト云フ點カラ考ヘル、此ノ考ヘ方ハ國民ニ取ツテハ鐵道省ノ考ヘ方ガ宜イノデアル、ソコデ鐵道省ノ方デ一定ノ方針ヲ樹テマシテモ、地方ノ保安課ノ役人ハ決シテ云フコトヲ肯カナイ、當然是ハ早ク進メナケレバナラヌト云フコトデモ、鐵道省カラ地方廳ヘヤカマシク言ツテモ、中々其ノ書類ヲ申達シテ來ナイ、鐵道省ハドウスルコトモ出來ナイ、何處ニ其ノ原因ガアルカト云フト、身分ニ付テハ鐵道省デ何等ノ權限ヲ持ツテ居

ナイ、身分ニ關與セザル監督權ト云フモノハ、是ハ實ニ有名無實ナモノデアル、ソコデ非常ニ國民ハ交通行政ニ付テ、今不便ヲ感ジテ居ル點ハ此ノ點デアリマス、私モ其ノ實例ヲ舉ゲテ見テモ宜イノデアリマスガ、是ハ舉ゲナクテモ、内務當局モ鐵道當局モ、能ク御存ジノコトデアラウト思ヒマス、ソコデ此ノ圓滿ナル協調ヲ保チ、國民ノ便利ヲ圖ルガ爲ニハドウスレバ宜イカ、一番手近ナ例ハ、交通ヲ掌ツテ居リマス所ノ役人ノ身分ニ付テ内務省デ鐵道當局ノ意見ヲ徵セラレルコトガ、是ハ餘程必要デアル、餘リニ一地方ノ利益ニノミ極限シテ頑迷不戻ナ者ニ對シテハ相當ノ制裁ヲ加ヘル、又地方ノ利益モ見ルケレドモ、能ク大局モ分ルト云フ優秀ノ役人ニ對シテハ昇進ノ途ヲ開クヤウニスル、ソレ等ノコトハ能ク内務省ノ直接監督シテ居ラレル人ヨリモ、其ノ交通ニ付テ如何ナル考ヲ持ツテ居ルカ、又如何ナル能力ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ、鐵道省ノ役人ノ方ガ能ク分ル、デアリマスルカラ、是ハ内務大臣カラ一寸其ノ點ニ付テ御答辯ヲ煩シタイノデアリマスガ、交通ヲヤツテ居ル所ノ役人ノ身分ニ付テハ、鐵道省ト相談ヲシテ協調セラレルト云フコトガ、一番國民ハ望ンデ居ルト云フ點デアリマスガ、内務大臣ノ御考ヲ一ツ承ツテ置キタイ。

○末次副會長 今御尋ネニナツタヤウナ事實ガ果シテアルカナイカ私ハ實ハ存ジマセヌ、サウ云フコトガアツテハナラヌノデアリマスカラ、御意見ノ所ハ篤ト考慮致シマス。

○三番(今井委員) 只今茲ニ色々表ヲ戴イタノデスガ、私共素人デ、此ノ表ダケ拜見シテハドウシテ何

處カラ手ヲ著ケテ宜イノカ見當ガ付カナイノデアリマス、大體是ハ幹事ノ方デ、是ノ整理案ナドト云フヤウナモノガ御出來ニナツテ居ルデアラウト思フ、ソレヲ一ツ廻シテ戴イテ、大體ノ見當ダケ御示シ願ツタラ非常ニ都合ガ好カラウト思ヒマス、御出來ニナラヌケレバ一寸手ノ著ケヤウガナイ。

ソレカラモウ一ツ御伺シタイノハ、此ノ委員會ハ整理ヲスルコトニ付テノ委員會ラシウゴザイマス、一方デ幾ラ整理ヲシマシテモ、後カラ一〇認可サレテ新シイ線路ガ出來テ來ルヤウデシタラ、此ノ整理ハ付カナイ、其ノ間ハ一體ドウナルカ、又サウカト云ツテ此ノ期間認可ヲ止メテ下サイド云フノデアアリマセス、隨分地方ニ依ツテハ困ツテ居ル所ガ多イ、私ハ毎日千駄ヶ谷カラ此ノ街ヘ出テ來マスガ、例ヘテ見マスト、千駄ヶ谷ノ所ヲ一本「バス」ガ通ツテ居ル、ソレニ乗ツテ來マスト、彼處ノ野球場ノ正面マデ來ルト、其ノ「バス」ハ止メラレテシマフ、御客ハ皆降サレル、其ノ「バス」ハ其處デ引返スカト云フト、カラツボデズット先マデ來テ電車ノ交叉點マデ來ル、其處デ方向ヲ轉換シテ、又カラツボデ其處マデ行ツテ、其處カラ御客ヲ乗セテ居ル、ソレデ吾々ハ毎日困ツテ居ル、カラツボノ車ヲ動かシテ行ク位ナラ乗セテ行ツテモ宜カラウト思ヒマスガ、是ガ一年以上二年位ニナルデセウ、未ダニソレハ認可サレテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ所モアリマスカラ、其ノ認可ヲ止メロト云フノデアリマセヌガ、一方デ整理スル傍ラ一方デ新シイ線路ガドン〱出來ルヤウデシタラ、此ノ統制ノ方針ガ立タナイデハナイカ、其ノ期間ハドウナサル御積リデスカ、其ノ點御尋ネシタイト思ヒマス。

○鈴木幹事 調整致シマス區域ガ此ノ委員會デ決定致シマスレバ、其ノ調整セラレル區域ニ於ケル新シイ免許ニ付キマシテハ、輕微ナモノヲ除キマシテハ、此ノ委員會ニ諮ツテ免許致シタイト思ヒマス、又區域ガ決定セラレマス以前ニ於キマシテモ、重大ナル所ノ免許事項ガアリマシタラ、其ノ事務ノ次第ニ依ツテハ、或ハ御報告或ハ御諒解ノ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、マダ區域ガ決定致シテ居リマセヌガ、決定致シマシタラサウ云フコトニ致シタイト思ヒマス。

ソレカラモウ一ツ是ハ御相談デアリマスガ、吾々ハ全國的ニ見マスト、大體五ツノ地方ガ適當ナ地方ダト思ヒマスガ、此ノ五ツノ地方ノ中ドレカラ著手シタラ宜シイカト云フコトヲ御協議願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ地方ガ決リマスレバ、其ノ地方ニ於テドウスレバ民衆ノ便利ニナルダラウカト云フヤウナコト等ニ付テ、御意見ヲ承ル機會ヲ得ラレルノデハナイカト考ヘテ居リマス。

○十二番(岡野委員) 色々皆様ノ御意見ヲ伺ヒマシタガ、先ツ私ハ東京ガ帝都デモアリ、又可ナリ混亂ヲ極メテ居ルヤウニモ考ヘラレマスシ、從來モ東京ニ付キマシテハ各所ニ於テ研究ヲ重ネテ居リマシテ、材料モ相當揃ツテ居ルヤウニ考ヘマスルカラ旁、先ツ第一ニ東京及ビ其ノ附近ト云フノヲ御研究ヲ願ツテ、此ノ會議デ御協議願ツタラ宜カラウト思ヒマス、併シナガラ先刻モ御當局ノ御説明ノ如ク、東京ハ中々早ク之ヲ片付ケルト云フコトハ困難ノヤウニ思ハレマスカラ、豫テ鐵道同志會カラモ希望ヲ述ベテ置キマシタ通り、餘リ長クナリマセヌ中ニ一ツ片付クモノヲ先ニ混ゼテ併行シテ進メテ行ツタラ宜イト存ジマス、ソレ

ニハドノ地方が宜シイカ、只今ノ所色々材料ノ取集メヤ、又地方ノ氣運等ヲ參酌致サナケレバナリマセヌ
ノデ、何處が宜イカト云フコトハ一寸吾々分リマセヌデゴザイマスガ、ソレハ適當ニ其ノ邊ヲ御考慮下サ
ツテ、鐵道省、内務省ノ方デ御決メ下サイマシテ、餘リ困難デナク早ク片付キサウナ所ヲ一箇所選ンデ、
サウシテ東京ト併行シテ調査ヲ進メテ行クコトニ致シタラ如何カト思ヒマスガ、ソレダケノコトヲ私ハ申
述ベテ置キマス。

○十六番(會我委員) 私ハ能ク讀ミマシタラ分ルコトデアリマセウケレドモ、一寸承リタイノデゴザイマ
スルガ、此ノ委員會ノ決議ハ絕對ニ尊重セラレルモノデアリマスルカ、或ハ此ノ委員會ハ單ニ諮問機關ニ
止マルモノデアリマスカ、其ノ點ヲ一寸伺ヒタウゴザイマス。

○議長(中島副會長) 諮問機關ト云フコトニナツテ居リマスルガ、出來ルダケ尊重シテ行ク考デ居リマス。

○十六番(會我委員) モウ一寸ハ議事進行ニ付キマシテ承リタイノデアリマスガ、只今岡野委員カラ御話
ガアリマシタヤウニ、此ノ澤山ノ地方ノ問題ヲ同時ニヤルト云フコトハ如何ノモノカト思ハレル、議事進
行ノ上カラハ、ヤハリ岡野君ノ言ハレマシタヤウニ、東京ナラ東京ヲ中心トシテ之ヲ進メテ行カレルト云
フコトガ、議事進行ノ順序トシテ、最も適當ナモノデナイカト思ハレルノデアリマス、モウ一寸ハ是ハ總
會ノ姿ニ於テ當分繼續セラレルカモ知レマセヌガ、後日はハ特別委員會ニ御移シニナツテ御研究ニナル御
積リデアリマスカ、其ノ點モ一寸伺ヒタイト思ヒマス。

○議長(中島副會長) 今後此ノ委員會ノ進ムニ伴ヒマシテ、特別委員ヲ必要トスルヤウナ事態ガ起ルト思
ヒマスガ、其ノトキニハ特別委員ヲ拵ヘマシテ、特別委員會デ研究シテ貰フヤウニナルコトダラウト考ヘ
テ居リマス、只今岡野委員ノ御發議ニナリマシタコトノヤウニ御異議アリマセヌカ。

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(中島副會長) ソレデハ只今マデノ御意見ニ依リマシテ、大體東京ヲ第一ニ著手スル、其ノ他ノ地
方ハ大體ニ只今申上ゲタ四地方アタリカラ適當ニ取上ゲテ行クト云フヤウナコトニ運ビタイト思ヒマス、
就キマシテハ次回カラハ、此ノ調整ノ方法等ノ具體的問題ニ付テ順次御諮リ致スコトニ致シマス、本日ハ
大體是ダケニ致シテ置キマシテ、次回ノ期日ハ改メテ御通知申上ゲルコトニ致シマス、殘暑ノ折柄洵ニ有
難ウゴザイマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス。

午後零時散會

交通事業調整委員會第二回總會議事速記錄

(昭和十三年十一月十六日)

(日本標準規格A5判)

交通事業調整委員會第二回總會議事速記録

昭和十三年十一月十六日午後二時二十六分開會

○議長(中島副會長) 是ヨリ會議ヲ開キマス。本日ハ内閣總理大臣ガ巴ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ缺席サレマス。會長ノ指名ニ依リヤシタ私ガ會長ノ職務ヲ代理致シマス、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス。

先般岡田周造君、安倍源基君、王邊長治君、平山泰君、五島慶太君、早川徳次君、後藤國彦君ノ七名ノ方々ガ東京市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ調整ニ付テノ臨時委員トシテ御盡力下サルコトニナリマシタカラ茲ニ御報告申上ゲマス。

議事ニ入ルハ先立チヤシタ東京市及大阪市ノ交通調整ニ關聯シテ最近取扱ヒマシタ主ナル事項ニ付キマシタ幹事ヲシテ御報告致サセマス。

○鈴木幹事 最近東京及大阪ノ兩地方ニ於キヤシタ軌道事業、自動車運輸事業ニ關シマシテ特許其ノ他ノ處分ヲ致シヤシタモノノ内、調整法ト幾分ノ關係ガアルト思ハレマスモ、此ノ際皆様ノ御諒承ヲ願ツテ置イタ方が宜シイカト想ヒマス。一、二、三ノ事柄ニ付テ茲ニ御報告申上ゲタイト思フノデアリマス。

其ノ一ツハ東京市ト東京横濱電鐵トノ間ニ於キマスル軌道事業ノ管理ノ受委託ソコトデゴザイマス。即チ從來東京横濱電鐵ノ經營ハ屬シテ居リマシタ東横百貨店前ト天現寺間ノ二軒五分ト、澁谷橋ト中目黒間

一、千四十分ノ區間ヲ今回東京市ニ委託シ、東京市ハ其ノ對價トシテ一年ニ付四萬圓、軌道保守費トシテ一ケ年ニ三萬圓ヲ支拂フコトトシテ、其ノ經營ノ管理ヲ受託シタノデアリマス。此ノ區間ハ市電ニ極メテ接近シテ敷設セラレ、動力、軌間モ同一ノモノガアリマスルシ、運輸系統上ヨリ見マシテモ、主トシテ舊市内ノ交通ノ一部ヲ擔當シテ居リマスノデ、市電ノ經營ト一體トナルコトガ極メテ望マシカツタノデアリマス。今回管理委託ノ方法ニ依リマシテ市電ノ經營ニ統合セラレルコトナリマスレバ、車輛ノ直通、均一運賃制ノ採用ナド著シク利用者ノ利便ヲ増進致シマスバカリデナク、經營上ノ利益モ尠クナイノデアリマスルカラ、今回之ヲ許可致シタ次第デゴザイマス。

次モ同ジク東京市ニ關スルモノデアリマスガ、從來武藏野鐵道ガ有シテ居リマシタ池袋驛、護國寺間一、九分ノ軌道敷設ニ關スル權利義務ガ今回東京市ニ讓渡サレタノデアリマス。本區間ハ運輸系統上カラ見マシテモ市電ニ極メテ接近シテ居リマスルシ、又新ニ池袋方面ヨリ市電ヲ經テ市内ニ到ル直通系統ヲ開キ、市内交通上多大ノ便益ヲ與ヘルモノデアリマシテ、讓渡價額二十九萬七千七百五十圓モ主トシテ會社ガ軌道敷地トシテ持ツテ居リマシタ土地ノ讓渡價額デアリ、大體妥當ナモノト認メマシテ今回之ヲ許可致シタ次第デアリマス。

本件ハ地元市民ニ於キマシテモ多年要望セラレテ居リマシタ問題デアリマスルガ、今回ノ敷設權ノ讓渡ニ依リ漸ク實現ヲ見タ次第デアリマシテ、本區間開業ノ曉ニ於キマシテハ是等方面ニ於キマスル交通上ノ

利便ハ著シイモノガアルデアラウト思ハレルノデアリマス。

次ハ大阪市内ニ於キマスル自動車運輸事業ノ合同デアリマス。從來大阪市内ニ於キマシテハ大阪市ト大阪乗合ノ兩者ガ併立競争ノ地位ニ立ツテ居タノデアリマシテ、此ノ兩者ヲ合併統一一致シマスコトハ大分以前カラ考ヘラレテ居タ大キナ問題デアリマシタガ、今回漸ク大阪市ニ於テ大阪乗合ノ事業ノ全部ヲバ、千百七十八萬五千圓ヲ以テ買收致スコトニ話ガ纏マリマシテ、所謂間接買收ノ方法ニ依リ大阪市内ニ於テ大阪乗合ノ株式ヲ買受クルコトナリ、極ク一部ヲ除キ既ニ大部分ノ株式ヲ買收ヲ終ツタノデアリマス。斯ノ如ク大阪市内ノ自動車運輸事業ガ自治的ニ統制セラレマシタコトハ調整法ノ趣旨ニ鑑ミマシテ極メテ喜バシイコトデアルト存ズル次第デアリマス。差當リ形式上ハ市營及會社ノ兩事業トナツテ居リマスガ、實質的ニハ市内ノ自動車運輸事業ガ一元的ニ經營サレルコトトナリマシタノデ、去ル十月二十九日附ヲモチマシテ豫テ大阪市内ヨリ申請ノアリマシタ住吉區王寺町ト市東驛間、北區鳴尾町ト天王寺區逢阪下ノ町間外十線、總延長二十四、四十分ノ路線ヲ免許致シ、又市電、地下鐵ト、市營自動車、大阪乗合自動車トノ間ノ相互連絡乘車運賃ヲ許可致シタノデアリマス。是等ノ新線ハ豫テ大阪市民ヨリモ希望セラレテ居タノデアリマシテ、在來ノ路線ト相俟ツテ市内交通上ノ利便ヲ著シク増進スルモノト思ハレマスシ、又今回ノ相互連絡乘車運賃ハ、從來別個ニ運賃ヲ支拂ツテ居ツタ場合ニ比シマシテ普通乘車券ハ六分乃至九分、回数乘車券ハ四分乃至一割六分ノ運賃ノ低下ヲ見ルコトトナリマシテ、利用者ノ負擔モ著シク輕減サレルコトニナツタノ

デアリマス。

四

斯ノ如ク多年ノ懸案デアリマシタ大阪市内ノ自動車運輸事業ノ合同ガ自治的ニ且極メテ圓滿ニ實現サレマシタコトハ、關係當事者ノ有スル熱意ト交通調整ニ對スル十分ナル理解トニ基クモノデアリマシテ、將來ニ對シ洵モ有意義ナ一例ヲ開イタモノト存ズルノデアリマス。私共ト致シマシテモ今回ノ例ヲ機ト致シマシテ、其ノ他ノ地方ニ於キマシテモ今後益々調整促進ノ氣運ガ助長セラレ、速ニ圓滿且完全ナル事業ノ調整ガ實現セラレルコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス。甚ダ簡單デアリマシタガ、以上ヲ以テ御報告ヲ終リマス。

○議長(中島副議長) 是ヨリ議事ニ入りマス。先ヅ幹事ヲシテ諮問事項ヲ朗讀致サセマス。

〔濹江幹事朗讀〕

諮問第一號

東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關スル具體的方策如何

○議長(中島副議長) 前回ノ總會ニ於キマシテ御協議ヲ願ヒマシタ通り、東京市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ調整ヲ先ヅ第一ニ著手スルコトニシ、今回此ノ諮問事項ヲ提議致シタ次第デアリマス。何卒十分御審議ヲ御願ヒ致ス次第デアリマス。詳細ハ幹事ヨリ説明致サセマス。

○鈴木幹事 御説明ヲ申上ゲマス。諮問事項ノ内容ハ東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關

シテ、其ノ調整ノ區域、調整スベキ事業ノ種類及範圍、之ト密接ナル關係ヲ有スル兼業ノ處置並ニ調整ノ方法ヲドウシタラ宜シイカド云フ點デアリマス。御承知ノコトトハ存ジマスガ、是等ノ諸事項ニ付キマシテノ意義ヲ簡單ニ申上ゲマス。調整ノ區域トハ交通ノ流れニ應ジテ適當ニ定メラルベキ交通區ノ謂デアリマシテ、行政區劃ヤ都市計畫區域ト必ズシモ一致スベキモノデハナイノデアリマス。調整スベキ事業ノ種類トハ地方鐵道事業トカ軌道事業トカ自動車運輸事業トカノ如キ、具體的ニ調整ニ入レル事業ノ種類ヲ指スノデアリマシテ、調整スベキ事業ノ範圍トハ調整ニ入レル事業ノ內具體的ニ調整ノ勸告又ハ命令ノ對象トナル線路ノ區間其ノ他ノ範圍ヲ指スノデアリマス。陸上交通事業ト密接ナル關係ヲ有スル兼業ノ處置トハ、本業タル交通事業ト密接ナル關係ヲ有スル兼業ヲ本業ト同様調整ノ對象トスルカドウカト云フ處置デアリマス。

調整ノ方法ハ陸上交通事業調整法第二條ニ列舉シテアリマスガ、具體的ニハ單ニ一方法ノミニ限ルコトヲ要シナイノデ、實情ニ則シテ適切妥當ナル數種ノ方法ヲ併セテ行フコトモ考ヘラレルノデアリマス。

東京市及其ノ附近ト申シマシタノハ、現在東京市ニ隣接スル區域ト東京市トノ間ニ於ケル交通量ハ相當多數ニ及ンデ居リマシ、又將來ハ斯カル隣接區域ニ工場、學校、住宅等モ急速ニ増加スル趨勢ニアリ、益々交通量モ増加スルモノト考ヘラレマス、尙又是等ノ區域モ丸ノ内ヲ中心トシテ大約三十軒ノ箇所ヨリハ一時間内外ヲ以テ都心ニ到達シ得ル距離ニナリマス、ソレデ是等區域ハ大東京ノ交通區トモ見テ調整ヲ

五

考慮スル要アリト考ヘラレマス。仍テ茲ニ東京市及其ノ附近ト申上ゲタ次第デアリマス。

大體東京市及其ノ附近ニ於キマス陸上交通事業ノ現状ヲ見マスルニ、省線電車、市電、地下鐵、市バス、青バス其ノ他多數ノ民營ノ電車、バス、タクシー等ノ交通機關ガアリマシテ、各事業者ノ多クハソレゾレ自己本位ノ計畫運營ヲシテ居リ、是ガ爲ニ色々面白クナイ點ガアルノデアリマス。是等ノ缺陷ヲ除去シテ利用者ノ利便ヲ増進シ、事業ノ經營ヲ合理化シ、國家的不經濟ヲ排除シ併セテ將來ノ交通施設ヲ整備スル爲ニハ、如何ニ是等交通事業ヲ計畫運營スベキカト云フコトニ付テ考ヘラレル諸點ヲ御參考マデニ申上ゲマス。

- 一、市電ト他ノ電車トノ直通運轉ヲ爲ストカ、「バス」ト「バス」トノ直通乗入ヲ爲ストカシテ、旅客ノ流れニ應ジタ運轉系統ニ整備スルコト
- 一、旅客ノ需ニ應ジタ運轉回数ニ整備スルコト
- 一、切符ノ買換ナクシテ各種交通機關ヲ自由ニ乗換シ得ルヤウナ制度ヲ出來ルダケ廣ク設ケルコト
- 一、連絡施設ヲ改善シテ連絡ヲ便ニスルコト
- 一、運賃ノ簡易化及合理化ヲ圖ルコト
- 一、各種交通機關ノ對立競争關係ヲ避ケ燃料費、宣傳費其ノ他ノ無駄ナ經費ヲ除去スルコトカ、燃料其ノ他ノ用品ヲ共同購入スルコトカ、車輛其ノ他ノ設備ヲ共同修繕スルコトカシテ經營ノ合理化ヲ圖ルコト

一、將來高速度交通機關ノ整備擴充ヲ圖ルコト

一、將來時勢ノ變遷ニ應ジテ交通機關ヲ適當ニ整理轉換スルコト

一、軌間、車輛、電壓等ノ規格ヲ統一シ彼此相融通シ得ル様ニスルコト

一、一貫シタ改良計畫ヲ樹テ施設ヲ整備スルコト

等デアリマス。是等ノ諸點ニ付キマシテ少シ御説明ヲ申上ゲマス。現在東京市電ハ王子電軌ヤ舊城東電軌ト軌間ハ同一デアルニ拘ラズ、直通運轉ヲシテ居ナイノデアリマス。西武鐵道ノ新宿線トハ軌間ガ異ル爲直通運轉ヲシテ居ナイノデ、乗客ハ乗換ヲ餘儀ナクサレテ居リマス。是等ノ連絡設備ヲ新設又ハ改良シテ直通運轉ヲ爲スヤウニ致シマスナラバ、一日ニ約二萬人、一年ニ約七百三十萬人ノ利用者ガ便益ヲ受ケルコトナリマセウ。又近年非常ニ人口ノ増加ヲ致シマシタ新市域内ノ交通機關ト舊市内ノ交通機關トハ、大體省「山手」線ヲ境トシテ連絡シテ居ルヤウナ實情デアリマシテ、新市域カラ都心ニ行クニハ乗換ヲ要スルノデアリマス。是等ノ直通ノ便ヲ開キ、假ニ都心カラ十軒位迄ハ「バス」ヲ新舊兩市域間ニ直通シテ運轉スルコトニ致シマス。利用者ハ頗ル利便ヲ受ケ得ラレルノデアリマシテ、差當リ直通運轉ヲ爲シ得ルヤウ考ヘラレマス路線ハ二十線位モアリマス。斯様ニシテ旅客ノ流れニ應ジテ運轉系統ヲ整備スルコトガ望マシイコトデアリマス。

次ニ運轉回数ニ付テ見マス。事業ノ競争シテ居ル區間ニハ輸送力ガ集中シ、競争シテ居ナイ區間ハ

等閑ニ付スルノ嫌ヒガアルノデアリマス。例ヘテ申シマスルト競争區間デアル新橋、雷門間ノ如キハ市電、市バス、地下鐵、青バスナド並行シ、其ノ總運轉回數ハ一日三千六十六回ニ及ビ、平均シテ見マシテモ約二十一秒間隔デ車輛ヲ運轉シテ居ルノデアリマス。又新宿、日比谷間ノ如キハ市電、市バス、青バスノ總運轉回數ハ一日二千四百十四回ニ及ビ、約二十七秒間隔デ車輛ヲ運轉シテ居リマスガ、競争區間デナイ澁谷、日比谷間ノ如キハ市電、市バスノ總運轉回數一日八百二十回デ約一分二十秒間隔デ車輛ヲ運轉シテ居ルノデアリマス。

次ニ現在市電ガ十錢連絡ト稱シテ他ノ交通機關トノ間ニ切符ノ買換ナクシテ自由ニ乗換シ得ル制度ヲ設ケテ居リマスガ、此ノ利用者ハ一日四萬五千人ニ及ビマシテ、年々激増致シテ居ルノデアリマスルナラ、此ノ種制度ヲ擴張シ、各種交通機關相互ニ切符ノ買換ナクシテ自由ニ乗換シ得ル制度ヲ全般的ニ擴メマスカラバ、舊市内ノ交通機關相互間及新舊兩市域間ノ交通機關相互間ニ於テ一日約四十八萬一千人、一年約一億七千五百五十六萬人ノ利用者が利便ヲ受ケルコトガ出來ルノデアリマス。

次ニ各種交通機關ノ運賃ヲ合理化スルニハ色々ノ方法ガアリマスルガ、最モ手ヲ入レナイ方法ヲ考ヘテ見マシテモ、市電カラ舊城東電軌又ハ玉子電軌ヘ直通スル場合ノ如キハ、其ノ運賃ヲ市電並ノ七錢ト致シマスレバ、現在ヨリモ三錢安クナリ、市電ヲチ、青バスヘ乗換スル場合ノ如キハ一經營主體ノ下ニ經營サレルト、現在ノ市電ト市バストノ乗換運賃ト同様十錢又ハ十五錢トナリ、三錢又ハ七錢安クナルコトニ

ナルノデアリマス。

次ニ各種交通機關ノ中ニハ對立關係カラ餘儀ナク出發シテ居ルモノガ數クナリノデアリマシテ、例ヘバ市バスト青バスノ並行路線ノ過剩ヲ運行ヲ整理致シマスト、車輛ガ約二百輛位モ節減サレ、「ガソリン」費ガ一年ニ約五十萬圓節約サレルヤウナ計算ニナルノデアリマス。其ノ他旅客誘致ニ依ル宣傳費ヤ總掛費其ノ他ノ共通經費ヤ、「ガソリン」、電力其ノ他ノ用品ノ購入費ヤ、車輛其ノ他ノ修繕費等モ假ニ一經營主體ノ下ニ運營サレルコトトナリマスルト、相當節約サレルモノト思ヒマス。

更ニ將來ノ大東京ノ高速度交通機關ノ整備擴充ト云フヤウナ點カラ見マスルト、新市域ノ人口ハ年々激増シ、之ニ伴ツテ乗車回數モ亦増加シテ來ルノデアリマスガ、是等多數ノ乘客ヲ迅速ニ輸送スル爲ニハ、現在ノ高速度交通機關タル省線、東京地下鐵道、東京高速鐵道及郊外電車ノミデハ到底満足ナル輸送ガ出來ナイノデアリマス。

諸外國ノ大都市ノ交通機關ノ發達ノ事例ヲ見マシテモ、高速度交通機關ハ大都市ノ交通機關ノ根幹ヲ爲シ、路面電車及「バス」ハ其ノ補助機關トシテ働イテ居ルノデアリマスガ、我ガ大東京市ニ於テモ斯様ナ發達ノ過程ニ進ムベキモノト思ハレマス。

將來新舊兩市域ヲ通ジテ高速度交通機關ノ充實ヲ圖リ、時勢ノ變遷ニ應ジテ交通機關ヲ適當ニ整理轉換スルト云フヤウナ大事業ハ、今日ノ如キ多數ノ事業者ガ併存シツレバ、獨斷ノ運營ヲシテ居ル狀態ノ下デ

ハ困難ト思ハレルノデアリマス。又現在各交通機關ノ軌間、車輛、電壓等ノ規格ハ區々デアリマスルカラ、之ヲ出來得ル限リ統一シ、線路ヲ直結シ車輛ノ直通ヲ可能ナラシメ、車輛其ノ他ノ物資ノ融通節約ヲ計ルベキモノト思フノデアリマス。是等設備ノ改良又ハ新設ニ當ツテハ大東京ノ交通機能全般ガ有機的ニ有效ニ働キ得ルヤウナ改良又ハ新設計畫ヲ樹テルコトガ望マシイノデアリマス。

以上ヲモチマシテ東京市及其ノ附近ニ於ケル交通事業ノ進ムベキ途ト考ヘラレマスル事項ヲ御參考マデニ概略申上ゲタノデアリマス。

是等ノ諸點ヲ實現致シマス爲ニハ如何ナル具體的方策ヲ講ズルコトガ最モ適切妥當デアルカノ點ニ付テ御意見ヲ承ルコトヲ得マスレバ幸ニ存ズル次第デアリマス。

○議長(中島副會長) 諮問事項ニ付キマシテ御意見ノ所ヲ十分御開陳ヲ願ヒマス。本日ハ大體「フリー・ト・キンク」ト申シマスカ、御自由ニ皆サンノ御意見ノ御交換ヲ願フコトニ止メテ置キタイト思ヒマスカラ、十分御意見ノ御交換ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○十二番(大藏委員) 是ハ東京ノ交通統制トハ餘リ關係ガゴザイマセヌガ、何カ委員諸君ノ御參考マデニ、最近ニ行ハレテ居リマス大阪地方ノ交通統制ノ實情ヲ簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス。

只今幹事カラシテ大阪ニ於ケル市バス竝ニ青バスノ合併ニ付テ御話ガアツタ。是ハ確ニ大阪地方ニ於ケル最モ大キナ交通統制ノ實現デアリマスルガ、其ノ他ニモ色々ノ交通統制ニ關スル事項ガ行ハレツ、アルノデアリマス。

ソレヲ極メテ簡單ニ申上ゲ、何レ大阪地方ノ御諮問ガアリマシタ時分ニ詳細ニ申上ゲテ宜シイト思ヒマス。大體交通統制ノ目標ト申シマスルカ、色々其ノ必要ノ程度カラ考ヘマシテ種々アラウト思ヒマスルガ、極メテ大ザツバニ申上ゲテ、第一ニハ國家的見地カラ見マシテ重複投資或ハ二重投資等ノ弊害ヲ防グト云フコトガ大キナ目標デアリ、第二ニハ地方民ノ福利ヲ増進スル、之ニ依ツテ皆ガ非常ニ便利ヲ感ジタト云フ風ナ結果ヲ持來タスコト、第三ニハ關係シテ居ル各企業ガ合理的ニ經營サレデ、サウシテ益、其ノ公益ノ使命ヲ達成セシメルト云フコトノ三ツニナラウカト考ヘルノデアリマス。從ツテ其ノ三ツノ各々ニ付テ現在トウカツテ居ルカト云フコトヲ御説明シテ見タイ。

第一ノ重複投資ヲ避ケル問題ニ關シマシテハ、約三年程前カラ大阪府ノ中ニ大阪府交通委員會ト云フモノガ出來テ、此ノ委員會ニ於キマシテ非常ニ熱心ナ研究ガ續ケラレ、本月十一日ニ最後ノ決定ヲ見タノデアリマスルガ、此ノ決定ニ於キマシテ大阪市ヲ中心トスル地方ノ鐵道、軌道、高速度鐵道、「バス」及電車ト云フ總テノ謂ハ交通機關ノ理想的線路ガ決定サレタノデアリマス。現在アリマスモノハ勿論、將來地下鐵ハ斯ウ云フ風ニ、「バス」ハ斯ウ云フ線路ヲヤル、電車ハ斯ウ云フ風ナモノヲ敷ク、尤モ電車ノ如キハ現在出願中ノモノヨリハ大分減ラシテ、ソレニ代ルニ「バス」ヲ代行セシムルト云フ風ニナリマシタガ、兎ニ角其ノ各々ノ交通機關ニ關シマシテ謂ハ理想的ノ交通網ガ決定サレタ。是ハ勿論大阪府限リノモノデアリマスノデ、マダ中央政府ノ御承認ヲ經テ居リマセヌノデ、國家ノ方針ト云フ譯デハ勿論ゴザイ

マセス。恐らく將來大阪地方ノ交通統制ニ關スル御諮問ガアリマシタ時分ニハ、其ノ重要ナ資料トナルト考ヘルノデアリマスガ、兎ニ角ソレガハツキリ決マリマシタ。或ル人々ガ自分達ノ利益ヲ得ン爲ニ無關ニ線路ヲ敷カウト思ツテモ、ソレガチヨツト承認ヲサレナイ、斯ウ云フ線路ガ大阪地方ノ爲ニ必要ダト云フ線路ナラバ大體ニ承認サレル、少クドモ大阪府ニ關スル限リハ承認サレルト云フコトガ決マリマシタノデ、之ニ依ツテ正ニ重複投資ノ弊ヲ立派ニ避ケ得ルト云フコトノ見當ヲ付ケダノデアリマス。

第二ノ一般地方民ノ利便ト云フコトニ關シマシテハ、先程幹事ガ色々御説明ニナリマシタ諸々ノ方法ガ種々講ゼラレ、例ヘバ連絡切符ヲ發行セシムルトカ又ハ從來連絡施設ガ非常ニ不便デアリ、甲ノ交通機關ト乙ノ交通機關トガ同ジ所ニ居リナガラ、謂ハハ背中合セヲシテ居ツテ全ク連絡シナカッタト云フ風ナモノガ大體ニ撤去サレタ。殊ニ從來中々ヤガヤシイ問題デ決マリマセデシタ市外ノ電車ガ市内ヘ乗入レル、所謂乗入問題ヲ解決シマシタ。大體ニ其ノ方針ヲ決メテ、旅客ハ從來ハ市ト郡ノ界ヲ乗換ヘテ居リマシタモノガ、ハバスヲ乗入レルコトガ出來ルト云フ風ニモ決メラレテ居ル。今回ノ市バスト青バズノ合併ニ依リマシテ種々利益ガ方法色々講ゼラレテ居リマス。大阪市民ハ其ノ爲ニ餘程便利ヲ得テ居ルト考ヘルノデアリマス。勿論ハ完璧デアリマセヌノデ、尙ホ今後一層其ノ調整ニ力ヲ盡ス必要ガアラウト思ヒマス。解決シマシタ一ツノ大キナコトハ、例ヘバ六甲山ニ參リマス交通施設ガ從來ハ阪神ト阪急ノ間ニ相當競争ガアリマシテ、申ノ交通機關ニ依リマシタ者ハ其ノ交通機關ニ依ラナケレバ歸レナイ、若クハ六甲

山ノ上ニ於ケル施設ガ色々アリマシテ、甲ノ交通機關ニ依ツテ行ツタ者ハ乙ノ交通機關ヲ持ツテ居ル施設ニハ入レナカッタト云フ風ナコトガアリマシタノガ、話ガスツカリ付キマシテ兩方共御互ニ連絡セシメルト云フコトニマデ進ンデ居ル。旅客ハ之ニ依ツテ種々便利ヲ得ツツアリマスルノデ、相當交通統制ノ目的ガ其ノ方面カラ達セラレツツアルト云ウテモ差支ナイノデアリマス。

最後ニ各企業間ノ利益、是ガ中々難カシイ問題デ、理想的ニ申シマスレバ全會社ガ「ツ」ニナルト云フコトモ宜イノデアリマセウ。併シハ急ニハ參リマセヌノデ、昨今考ヘラレテ居リマスル問題、具體的ニ進捗シテ居リマス問題ハ、例ヘバ「アレキニキニユ」是ハ各社トモ昨今非常ニ高イ値段ヲ出シテ居ル、元ハサウ高クアリマセヌガ、今デハ一個三百五十圓ヲ致シマセウカ、随分高イ値段ヲ出シ、殊ニ其ノ材料ヲ得ルコトガ中々困難ダト云フノデ、各社共通協力ノ一工場ヲ造ツテ、サウシテ各社ニ分配スレバ「ストツク」モ少クテ済ムシ、又各ガ的確ニ得ラレルト云フ利益モアリマセウシ、殊ニ價格ガ非常ニ安クナル、投資ニルソ二十三方圓程掛リマスガ、其ノ投資ノ上カラ見マスルト、一二年デ同收スルコトガ出來ルデアラウト云フ風ナ位ナ計算ニナツテ居リマス。實際ハ今ヤツテ居リマセヌガ、今着々トシテ進ンデ居リマス。是ガ出來マスレバ、各社トモ非常ニ利益ヲ得ラレルノデアリマス。又例ヘバ電球ノ共同購入ガ出來マス。今或ル社ニ交渉申デアリマス。大體全體デ一箇年ニ七十萬圓程電球ヲ買ツテ居ルヤウデアリマスガ、例ヘバ三分、四分儉約ガ出來マシテモ、直グニ何萬圓ト云フ利益ヲ各社ガ受ケル譯デアリマス。枕木ノ共同

購入ノ話モ出来マシタ。又各社ノ制服ヲ一定ショウ、或ル社ハ非常ニ良イ物ヲ使ヒ、或ル社ハ非常ニ拙イ物ヲ使フ、拙ケレバ拙イナリ、良ケレバ良イナリニ、大體一級カラ三級位ノ種類ニ統制シテ、少クトモ服地ヲ共同購入スル、大體今日ハ洋服ハ羅紗ガムヅカシイノデ、「スフ」ニナツテ居ル、丁度好イ機會デモアルノデ、此ノ際ソレヲ統一ショウト云フノデ、是モ具體的ニ話ガ進ンデ、近ク實現シハシナイカト思ヒマス。斯ク各社ノ間ニ非常ニ聯繫ガ取レテ參リマシテ、勿論會社ハ全部合併シ若クハ部分的ニ合併シ得ル程ノ利益ハマダ得ラレマセヌガ、只今申シマシタ所ダケニ依リマシテモ、各社各、此ノ交通ノ統制ニ依リマシテ利益ヲ得テ居ル實情デアリマス。例ヘバ「ストック」ノ如キハ、其處ニアリマスル各電鐵ヲ全部合セマスルト、約一千万圓程「ストック」ガアリマス。是ハ國家的ニ洵ニ無駄デアリマス。各社ノ經濟カラ云ウテモ無駄デアリマス。是モ出来ルダケ有無相通ズルヤウニショウ、ソレニハ何ト申シマシテモ「スベイスイフイケーション」ノ統一ガ大事デアル。其ノ方ニモ掛ツタデアリマス、ト云フ風ナ實情ニアリマスノデ、マア謂ハハ先程東京市ニ付テ幹事カラ御説明ニナリマシタヤウニ、全ク區々ナ狀態ハ、大阪地方ニ於キマシテハ餘程統制ガ進ンデ居ルト云フ狀態デアリマス。是ダケデモ地方市民ナリ若クハ國家ノ得ル利益ト云フモノハ至大デアリマシテ、私共ハ東京方面ニ於キマシテモ、單ニ資本ノ合同トカ、企業ノ合併ト云フコトノミヲ御考ヘニナラズニ、サウ云フ方面ニ付テモ一ツ御盡力ニナツタカラ如何デアラウカ、實ハ大阪ニハ、私共關係シテ居リマス大阪電鐵聯合會ナルモノガ出来テ、謂ハハ「スタンディング・コンミッティー」、

其ノ「コンミッティー」ガ色々世話シテ、サウ云フ風ナ方針ニ導イテ來タノデ、何ニモ機關ナシニサウ云フ統制ト云フコトハ中々ムヅカシイと思ヒマス。東京方面ニ於キマシテモ、何カノ形ニ於テ、各社ガ利益ヲ得ラレルヤウニ、又少クトモ旅客ガ直接利便ヲ得ラレルヤウニ推奨スル機關ガ設ケラレルコトガ大事デハナイカ、集ツテ理窟バカリ言ツテモ中々ウマク參リマセヌノデ、サウ云フコトヲ御考ヘニナツタラ如何カト云フコトヲ考ヘマスノデ、聊カ參考マデニ申上ゲル次第デアリマス。

○三十一番(五島委員) 只今御諮問ニナリマシタ問題ハ頗ル廣汎ノ問題デアリマシテ、私共ニ此處デ全ク「フリー・トリーディング」ヲセヨトノ仰セデアリマスカラ、一、二自分等ガ考ヘテ居リマス所ノ問題ヲ提供致シマシテ、何レ小委員デモ設ケテ御研究ニナルコトト存ジマスカラ、其ノ時ノ御參考ニ申上ゲタイト思ヒマス。

先ヅ吾々民間ニ於テ事業ヲ經營致シテ居リマス者ガ、此ノ東京市ノ交通ヲ打ツテ一丸トスルカ、或ハ統制ヲ致シマシテ、只今幹事カラ御話ニナリマシタヤウナ國家民衆ノ爲ニ益スル方法ヲ講ジタイト思ヒマスルト云フト、第一ニ最モ不安ニシテ其ノ障礙ヲ爲スモノハ東京市電デアリマス。東京市電ハ今日餘程業態ガ改善サレテ居ルト云フコトデアリマスガラ、最近ノ經濟狀態ニ付テハ私共能ク存ジマセヌガ、ソレデモ少クトモ年額三百萬圓以上ノ赤字ヲ出シテ、即チ利息ノ支拂ガ出来ナイデ居ルダラウト考ヘマス。私共會社ニ於キマシテハ、所得稅カラ營業收益稅カラ國家ノ公租ヲ悉ク負擔シ、株主ニ對シテハ相當ノ配當ヲシ

テ、尙且ヤツテ行ケルノデアリマス。市電ハ別ニ配當モシナイ、公租モ出サナイ、サウシテ尙且年額三萬圓以上ノ赤字ヲ出シテ居ルト云フヤウナ狀態デアル。斯ウ云フ業態ノ交通機關ト他ノ交通機關ト一緒ニナツテシマハウトスル場合ニハ、吾々ハ如何ニシテ宜イカト云フコトニ對シテ、全く不安ヲ感ジ、其ノ方策ヲ見出スコトニ困難ヲ感ズルノデアリマス。隨テ私共ハ此ノ市電ノ經濟狀態ヲ如何ニシテ赤字ニスルカ、如何ニシテ他ノ會社ト一緒ニシテモ他ノ會社ニ對シテ迷惑ヲ掛ケナイヤウニ爲シ得ルカト云フコトヲ研究スルコトガ一番先決問題デハナイカト云フコトヲ感ズルノデアリマス。

ソレカラモウ一ツハ、之ヲ統制シタル場合ニ於ケル經營主體ノ問題デアリマスガ、此ノ經營主體ハ或ハ公有公營ト云フ議論モアリマセウ、或ハ公有民營ト云フ議論モアリマセウ、或ハ民有民營ト云フヤウナ議論モアリマセウ、或ハ半公半民ノ會社ヲ起シテ之ニ經營セシメルト云フヤウナ方法モアリマセウガ、少クモ現在ノ狀態ニ於テハ、私ハ公有公營ニ對シテハ賛成ヲ表シ兼ねルノデアリマス。是ハ或ハ市ノ組織ガ惡イネ云フコトニナルカモ知レマセウガ、此處ニハ市長サンモ、助役サンモ、局長サンモオイデナリマスガ、少クモ事業ト云フモノハ永久ノ生命ヲ持ツテ居ルモノニ對シテ其ノ經營ノ衝ニ當ル者ハ、平均一半年カ二年ノ生命シカナイト云フヤウナ人ガ其ノ經營ノ衝ニ當ツタモ、私ハ其ノ事業ノ永久ノ生命ヲ考ヘテアル等ハチイト思フ。隨テ公有公營ト云フコトハ、是ハ私ハ永久ノ生命ヲ持ツテ居ル事業ノ經營ノ衝ニ當ル場合ニ於テハ不適當ナト考ヘル。即チ官吏トカ或ハ公吏トカ云フモノハ、全ク教育トカ、保安トカ、

或ハサウ云フ消費的ノ仕事ヲスベキモノデアツテ、永久ノ生命ヲ持ツテ居ル事業ノ經營ノ衝ニ當ルコトハ不適當デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス。但シ市ノ組織ガ如何ナル方法カニ依ツテ改善セラレマシテ、サウシテ此ノ永久ノ生命ヲ持ツ事業ノ經營ニ適スルヤウナ組織ニナリマシタ場合ニハ、或ハ宜イカモ知レヌ、斯ウ云フコトヲ私ハ考ヘル者デアリマス。

ソレカラモウ一ツハ、此ノ東京市ノ交通機關ノ重要ナル使命ヲ現ニ果シツツアリマス所ノ省電ヲ如何ニスベキカト云フ問題デアリマスガ、此ノ省電ヲ統一スル場合ニ於ケル所ノ可否、或ハ方法等ニ付テハ餘程難カシイ問題ガアラウト思ヒマスガ、若シ之ヲ統一スルコトガ可ナリト云フ結論ガ出タ場合ニ於テ、果シテ鐵道省ニ於テハ、ソレダケノ御決心ガアリヤ否ヤト云フヤウナ大問題ガ玆ニ横タハツテ居リマス。ソレカラ若シ此ノ省電ガ一體トシテ統一スル必要ハナイ、是ダケハ分離スルト云フヤウナ結果ニナツタトシタナラバ、省電ヲ起點ト致シテ居リマス所ノ郊外電車及ビ「バス」其ノ他ノ交通機關ハ自ラ其處ニ於テ之ヲ一元トシテ統制スルコトガ宜イカドウカト云フヤウナ問題ガ起キテ參リマス。此ノ省電ヲ統一スルカシナイカト云フコトガ、此ノ郊外電車及ビ「バス」其ノ他ノ交通機關ヲ統一スル場合ニ於ケル所謂一ツノ「キー」ニナリハセヌカト云フヤウナコトモ考ヘルノデアリマス。

ソレカラモウ一ツハ、私共毎日ノ生活ニ於テ、舊市内ニ於テハ、只今幹事サンカラ御話ニナリマシタヤウナ各種ノ弊害及ビ改善スベキ問題ヲ日々吾々ハ目撃シテ居ルノデアリマスガ、新市域ニ於テハ、私ハ左

マデノ必要ト弊害ヲ認メテ居リマセヌ。今日軍事資材ヲ統制スルトカ、或ハ國際「バランス」ニ必要ナル所ノ物資ノ統制ヲスルトカ云フヤウナ必要ト同一程度ニ於テ此ノ新市域ノ交通機關ノ統制ヲスルカドウカト云フコトハ、私ハ是ハ問題ダト思ヒマス。是等ノ統制ト云フモノハ、以上ノ如キ緊急切實ナル問題デハナイデハナイカト云フヤウナ考モ持ツテ居ルノデアリマス。隨テ其ノ區域如何ト云フヤウナコトハ、非常ニ慎重考究ヲ要スル問題ト考ヘマスノデ、是等ニ付テハ中々茲ニ於テ一朝一夕ニ決スルコトハ困難ナル大問題バカリ横タハツテ居ルト考ヘマスノデ、更ニ一ツ小委員デモ設ケテ、慎重ニシテ且精細ナル研究デモシタラドウカト云フヤウナコトモ、提議スル譯デハアリマセヌガ、考ヘテ居リマス。其ノ場合ニ於ケル御參考マデニ、以上ノ四點ヲ茲ニ申述ベマシタ次第デアリマス。

○七番(堀内委員) 只今五島委員カラ御發議ガアリマシタガ、洵ニ本問題進行ノ上ニ非常ナ重要ナル點デアラウト思ヒマス。鐵道省ノ省線即チ山手線ヲ此ノ經營範圍ニ入レルト云フコトハ、本案審議ノ際議會ニ於テモ大臣カラ御言明ガアツタヤウニ拜聽シテ居リマスガ、尙此ノ機會ニドノ程度マデノ御決意ガアルカト云フコトヲ、只今五島委員ノ御質問ノ點ニ對シテ此ノ際重ネテ御説明ヲ願ツタラドウカト思フノデアリマス。

第一ノ市電ノ問題ニ付キマシテ、是ハ全ク本問題解決ノ上ニ於キマシテ、市ノ電車ヲ中心トシテ此ノ統制ヲスルカセヌカト云フ問題ハ相當議會ニ於テモ問題ガアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、其ノ當時ニ公

營トスベキカ、民營トスベキカ、官營トスベキカト云フヤウナコトノ問題ニ付キマシテ質問ガアリマシタトキニ、鐵道大臣ハ、其ノ點ハ御言明ニナラナカツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、内務大臣ハ此ノ市ノ交通機關ハ公共團體タル市ガ中心トナツテ計畫スベキデアルト云フヤウナ御答辯ガアツタヤウニ記憶致シテ居ルノデアリマス。全ク市ノ此ノ態度ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キマスコトハ必要ノコトデハナカラウカト思フノデアリマスガ、御差支ガナイ限リニ於キマシテ、市ノ當局ノ方カラ市電ノ經營ノ將來及此ノ調整ニ對スル前途ノ御見込等相當御研究ニモナツテ居ルカノヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、市ノ御方針ガ何ヘレバ洵ニ結構デアリマス。

○議長(中島副會長) 省線ノコトニ付キマシテ、鐵道大臣トシテ御答ヘ致シマス。省線電車ハ大東京ノ交通上重要ナル地位ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、大東京ノ交通事業ノ調整ニ當リマシテハ、進ンデ參加スル考デアルノデアリマス。併シナガラ其ノ調整ニ參加スベキ方法竝ニ程度ニ關シマシテハ是カラ本委員會ニ於テ皆樣ガ立案セラル、調整ノ方法及程度ニ順應シテ考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、只今ドウ云フ風ニ參加スルカト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセン。唯一ツ條件トモ申スベキコトハ、省線ハ地方的ニ考ヘレバ東京ノ交通機關デハアリマスガ、全國的ニハ國有鐵道ノ幹線ヲ成シテ居リ、且中樞ヲ成シテ居ルモノデアリマスルカラ、ソレ等ノ關係ニ支障ノナイ範圍ニ於テ參加シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○三十八番(平山委員)

只今交通調整ノ問題ト市電ノ態度ノコトニ付キマシテ御尋ネガアリマシタノデ、簡單ニ御答ヘヲ申上ゲタイト思ヒマス。私共ハ此ノ種ノ交通機關ト云フモノハ、理窟カラ申シマシテモ、亦世界ノ大勢カラ申シマシテモ、公ノ機關ニ依ツテ營マレルノガ最モ妥當ダト考ヘテ居ル次第デアリマス。併シナガラ、先程五島委員カラモ御話ガアリマシタ通り、市ノ今日マデノ成績ガ非常ニ振ハナカツタ、或ハ市ノ現在ノ機構ニ遺憾ノ點ガアルト云フヤウナコトニ依リマシテ、色々御議論モ出テ參ルデアラウト思フデアリマスガ、將來調整問題ニ對シテ市ガドウ云フ態度ヲ執ルカト云フコトハ、是ハ簡單ニ直チニ申上ゲ兼ネルコトデアリマシテ、第一ニ地域ト申シマスカ、區域ノ問題ガドウ云フ風ニ決マルカ、或ハ全體ノ事業ノ範圍ガドウ云フ風ニ決マルカト云フヤウナコトト彼此レ考ヘ合セテ參ラナケレバナナイコトダラウト考ヘテ居ルデアリマス。隨ヒマシテ、市ニ於キマシテモ、有ユル場面ニ順應致シマシテ、サウシテ方策ヲ立テタイト研究ヲ致シテ居リマスルケレドモ、兎ニモ角ニモ私共ノ常ニ考ヘテ居リマスルコトハ、市民本位、私共ハ市ノ仕事ヲ致シテ居リマシテモ、ソレハ市民ヲ代表シテ仕事ヲ致シテ居ルノダト云フコトヲ考ヘテ居リマスルカラシテ、市民ノ爲ニナルト云フコトニ向ツテ一路進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス。隨ヒマシテ、只今議長カラ省線ノ態度等ニ付テモ御説明ガアリマシタガ、是等ノ問題ト色色比較照シ合セテ、サウシテ將來ノ方策ヲ決メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

○十八番(曾我委員)

私ハ率直ニ伺ヒタイノデアリマスルガ、斯ウ云フヤウナ諮問案ヲ委員會ニ政府ガ出

サレマスニ當ツテハ、多少政府ニ於テ其ノ腹案ト云フモノヲ持ツテ居ラレルノガ、多クノ場合ノヤツニ存ジテ居ルノデアリマス。此ノ問題ニ付キマシテハ、何カ御腹案ガアルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲハツキリ承ツテ置キタイコトガ一ツデゴザイマス。

モウ一ツハ、希望トシテ申上ゲタイノデゴザイマスルガ、只今幹事カラ御説明ニナリマシタ總テノ點ニ付キマシテ、或ハ小委員タルト小委員タラザルトヲ問ハズ、皆様ガ御研究ニナル前提トシテ、幹事ノ御説明ト云フモノハ、大イニ參考ニナルコトダト思ハレルノデアリマス。就キマシテハ、此ノ速記ヲ成ルベク早ク吾々ノ手許ニ配付シテ戴クコトヲ、是ハ希望トシテ御願ヒ申シテ置ク次第デゴザイマス。

○議長(中島副會長)

只今ノ御質問ニ對シテ幹事カラ御説明致サセマス。

○鈴木幹事

斯ウ云フ委員會ニ於テハ、大體政府ノ方デ具體案ガ提出サレルノヲ慣例トスルノニ、此ノ委員會ニハ所謂具體案のモノガ出テ居ラナイガ、ドウ云フ譯カ、斯ウ云フ御尋ネダト承リマシタガ、東京ノ交通調整ニ關シマシテハ、主務官廳ト致シマシテ、色々ナ考ヘ方ニ付テ、又各角度カラ只今篤ト研究中デゴザイマス。東京ハ帝都デモゴザイマスシ、非常ニ複雑多岐ニ互ツテ、又微妙ナ關係ガゴザイマスノデ、委員各位ノ御意見ヲ篤ト承リマシテ、其ノ意見ヲ織込ンデ具體案ノ作成ニ萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。サウ云フ譯デ茲ニ具體案ヲ出サナカツタ次第デアリマス。

ソレカラモウ一ツハ、今日御説明申上ゲマシタコトヲ早ク御手許ヘ届ケルヤウニト云フ御話デゴザイマ

スルガ、是ハ諒承致シマシタカラ、出來ルダケ早ク御手許ニ差上ゲタイト思ヒマス。

○二十三番(中川(正)委員) 御諮問案ニ對シマシテハ、政府ノ方ニ原案ガナイサウデアリマスルガ、私共ハ此ノ問題ニ付キマシテ、曩ニ東京商工會議所ノ建議案ヲ出シタコトガアリマスルシ、又茲ニ參考書ニアリマスヤウニ、都市研究會ノ軌道、鐵道、「バス」ノ連絡統制ニ關スル意見ト云フノモアリマシテ、其ノ都市研究會ノ分ハ都市計畫範圍内ニ於ケル全部ノ鐵道、軌道、「バス」等ヲ一括シテ一大株式會社ノ下ニ經營スルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスルシ、東京商工會議所ノ分ハ、先ヅ山手線ノ範圍内ノ分ニ限ツテ所有權ヲ動かサズニ經營主體ヲ一ツニ委任經營ヲシヨウ、共同經營ヲシヨウト云フ案ニナツテ居リマス。斯ウ云フヤウナ各種ノ案ニ付キマシテ、特別委員會デモ御作リニナツテ十分案ヲ練ツタラ如何デアリマセウカ、私ハサウ云フ動議ヲ提出致シマス。

○四番(池田委員) 只今中川委員カラ特別委員ニ移シテ十分ニ審議シタイト云フ御動議デアリマス。私贊成ヲ申上ゲマス。只今モ段々大藏男爵カラ大阪ノ方ノ實情ニ付テノ御話ヲ承リ、洵ニ東京ノ狀態ニ付キマシテ憂慮ニ堪ヘナイ所ガアリマス。斯様ナコトガ即チ此ノ地方ノ問題ヲ第一ニ取上ゲテ議題ニナサツタ所ニダラウト思ヒマス。調整區域ノ問題ト申シ、調整方法ト申シ、極メテ重要ナル案件ガソコニアリ、公私各方面ニ互リマシテ、或ハ經濟金融ノ方面ニ迄モ影響ヲ及ボシ、管ニ軌道其ノモノ、鐵道其ノモノノ持つ意味ノ外ニ、左様ナ方面ニ迄モ影響ヲ及ボシテ來ルヤウナコトニ考ヘラレマス。極メテ慎重審議ヲ要シマ

スルコトダラウト思ヒマス。ドウゾ會長ノ御計ラヒデ適當ナル數ノ委員ヲ御選任下サイマシテ、速カニ特

別委員會ニ於テ十分ノ審議ヲ盡サレルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス。私ハ其ノ員數ノ如キモノハ、總テ會長ノ御計ラヒ、又誰ヲ特別委員ニスルカト云フコトニ付キマシテモ會長ノ御指名ニ御一任申上ゲルヤウニシタイト思ヒマス。而シテ又特別委員會ヲ御開キニナリマスル時分ニハ、茲ニ權威アル各方面ノ方々ヲ御集メニナツテイラツシャルコトデアリマスルカラ、特別委員會御招集ノ開會ノ日時ハ、豫メ全員ニ御通知ヲ下サイマシテ、全員ノ方々モ特別委員會ニ出席シテ、十分ニ其ノ意見ヲ開陳スルノ機會ヲ御與ヘ戴クヤウニ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス。贊成ヲ申上ゲナガラ提議ヲ致シマス。

○議長(中島副會長) 中川委員並ニ池田委員ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(中島副會長) 別ニ御異議モアリマセヌカラ、只今中川委員及池田委員ノ特別委員設置ノ動議ハ可決セラレマシタ。

○九番(星島委員) 一寸ソレニ對シテ範圍ヲ御質問申シタイノデスガ、中川委員ノ御發議ハ、本日御諮問ノ事項ニ限ツテアルノデアリマスルカ、前回ハ東京地方以外ノ即チ地方ノ福岡トカ、香川トカ、富山トカ云フ方モ含ンデ居ツタヤウデアリマスガ、是等ノモノヲ全部含ンデノ委員會ニナリマスルカ、此ノ點ヲ明カニ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○議長(中島副會長) 只今諮問シテ居リマスル事項ハ、東京市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ調整デアリマルカラ、此ノ特別委員ニ御願ヒスル權限ノ範圍ハ、ヤハリ東京市及其ノ附近ノ陸上交通事業ノ調整ニ關スル事項ニ限定セラレ、コトト御諒承ヲ願ヒマス。

ソレデハ議長ニ於テ指名致シマス、館哲二君、喜安健次郎君、子爵曾我祐邦君、堤康次郎君、星島二郎君、堀切善次郎君、太田哲三君、中川正左君、池田宏君、男爵大藏公望君、安部磯雄君、小竹茂君、岡田周造君、安倍源基君、三邊長治君、平山泰君、五島慶太君、早川徳次君、後藤國彦君、此ノ十九名ノ方ニ御願ヒ致シマス、特別委員ノ方々ハ後刻委員長ヲ互選サレマシテ、議長ニ御報告ヲ願ヒマス。本日ハ是ニテ散會致シマス。洵ニ御苦勞デゴザイマシタ。

午後三時三十六分散會

秘

交通事業調整委員會第三回總會議事速記錄

(昭和十五年十二月二十四日)

日本國語規格 A5 制

交通事業調整委員會第三回總會議事速記録

昭和十五年十二月二十四日午後二時五十三分開會

○議長(小川副會長) 是ヨリ會議ヲ開キマス。本日ハ會長デアリマス内閣總理大臣ガ已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ缺席サレマシタノデ、會長ノ指名ニ依リマシテ私ガ會長ノ職務ヲ代理致シマス。ドウゾ宜シク願ヒマス。

先ヅ前同ノ委員會カラ只今マデノ間ニ於テ委員ニ多數ノ異動ガゴザイマシタガ、是ハ御手許ニ配布致シテアリマス委員異動報告ノ通りデアリマスカラ、之ニ依ツテ御諒承戴キタイト存ジマス。

只今ヨリ議事ニ入りマス。御承知ノ通り昭和十三年十一月十六日ニ開催致シマシタ前同ノ總會ニ於キマシテ、東京市及び其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關スル具體的方策案ノ作成方ヲ十九名ノ特別委員ニ付託致シタノデアリマスガ、其ノ後特別委員及び更ニ其ノ中カラ選バレタ小委員ノ方々ニハ、大變御繁忙中ニモ拘ラズ、特別委員會ハ十一回、小委員會ハ十八回、合計二十九回ニ互リマシテ會議ヲ重ネラレ、非常ニ御熱心ナル御審議ヲ下サイマシテ、御手許ニ差上ゲテアル答申案ヲオ作り下サイマシタノデアリマス。御承知ノ通り帝都ニ於ケル交通調整ハ複雑多岐ニ互ル問題デアリマスカラ、御審議ナサルニ付キマシテモ、御纏メ下サルニ致シマシテモ、其ノ間ニ於ケル御苦心及び御努力ノ程ガ拜察サレマシテ、議長

トシマシテモ、鐵道大臣トシマシテモ、其ノ並々ナラス御盡力ニ對シマシテ深甚ナル感謝ヲ致ス次第デア
リマス。

只今ヨリ特別委員長カラ其ノ間ニ於ケル特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告願フコトニ致シタイト存ジ
マス。生憎會我特別委員長御病氣ノ爲メ本日缺席サレマシタノデ、次田委員ヨリ代ツテ御報告願フコトニ
致シタイト存ジマス——ソレデハ次田委員カラ御報告願ヒタイト存ジマス。

○三十九番(次田委員) 只今議長カラオ話ニナリマシタ通り、會我特別委員長ガ病氣ノ故ヲ以テ今日御出
席ニ相成リマセヌノデ、私御指名ニ依リマシテ、代ツテ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告申上ゲマス。
御承知ノ如ク昭和十三年十一月十六日ニ開催致サレマシタ交通事業調整委員會第二回ノ總會ニ於キマシ
テ、主務大臣タル鐵道内務兩大臣ヨリ「東京市及ビ其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關スル具體的
方策如何」ト云フ諮問ガ發セラレタノデアリマス。本案ハ極メテ重要ナル案件デアリマスルガ故ニ、慎重
審議ヲ致シマスル爲メ十九名ノ特別委員ニ付託セラレマシタノデアリマス。本案ハ何分ニモ國家公共ノ利
益、民衆ノ利便ニ重大ナル影響ガアルモノデアリマスルシ、又各事業間ニ於テモ複雑多岐ナル事情ガアリ
マス加之一面本案審議中ニ於テ、内外ノ情勢ガ非常ニ急激ニ變化致シマシタノデ、是等ノ諸事情ニ即應シ
テ、最モ適切妥當ナル調整方策ヲ樹立致シマスルコトハ中々容易ナラザルモノガアツタノデアリマス。隨
テ成案ヲ得ルニ至リマスマデニハ、特別委員諸君ノ熱誠ナル御盡力ニ俟ツ所ガ極メテ多く、殊ニ小委員會

ニ付託セラレマシテカラノ小委員諸君ノ御苦心ト御努力トハ洵ニ一方ナラザルモノガアリマシタノデ、茲
ニ改メテ是等ノ諸君ニ對シテ御禮ヲ申上ゲマスルト共ニ、斯ク思ハザル時日ヲ要シテ今日ニ至リマシタコ
トニ付キマシテハ、他ノ委員諸君ニモ何卒事情ヲ御察下サランコトヲ願致ス次第デゴザイマス。特別
委員會ノ經過ニ付キマシテハ、既ニ速記録ニ依ツテ十分御承知ノコトト考ヘマスノデ、茲ニハ唯其ノ大要
ヲ申上ゲタイト存ジマス。

特別委員會ハ一昨年十一月三十日ヨリ本年ノ十二月二十日ニ至リマスルマデノ間都合十一回ノ會合ヲ開
キマシタガ、豫メ其ノ會議ノ荒筋ヲ申上ゲマスト、一昨年十一月三十日ヨリ昨年六月二十七日ニ至ル間
ハ、調整方策ノ大體論ニ付テ審議ヲ致シマシテ、更ニ之ヲ小委員會ニ付託致シマシタ。小委員會ニ於キマ
シテハ、一應具體案ノ骨子ヲ得マシタノデ昨年十一月八日ヨリ十一月二十一日ニ至ルマデノ間其ノ具體案
ニ付テ審議ヲ重ネマシテ、更ニ之ヲ掘下ゲテ研究スル必要ヲ認メマシテ、再ビ之ヲ小委員會ニ付託致シマ
シタ。此ノ程漸ク成案ヲ得マシタノデ、去ル十二月二十日其ノ成案ニ付テ特別委員會デ審議ヲ致シマシ
テ、之ヲ可決スルニ至ツタノデアリマス。以下其ノ内容ニ付テ申上ゲルコトト致シマス。

先ヅ一昨年十一月三十日カラ昨年六月二十七日ニ至ルマデ、都合七回ニ亙ツテ特別委員會ヲ開キマシ
タ。此ノ間ニ於キマシテハ、關係官ヨリ倫敦及ビ伯林ニ於ケル交通調整ノ實狀、大東京ノ人口ト都市計畫
ノ問題及ビ東京市及ビ其ノ附近ニ於ケル交通量調査ノ實狀等ニ關シマシテ詳細ナル説明ヲ聴取致シマシタ

後ニ本論ニ入りマシテ、先ヅ目安トシテノ調整區域ヲ決定致シタノデアリマス。即チ調整スベキ事業ノ範圍ヲ調整方法等ノ具體的方策ヲ審議スルニ致シマシテモ、目安トシテノ調整區域ヲ先ヅ決定シテ置ク必要ガアリマスルノデ、現在並ニ將來ニ互ル交通量、運賃及ビ所要時間等ノ諸點ヲ考慮致シマシテ、尤ノ内ヲ中心トシテ凡ソ三四十軒ノ圈内、即チ横濱、原町田、淺川、川越、大宮、粕壁、我孫子、千葉ヲ結ブ圈内ヲ原則トシテノ調整區域ト致シマシテ、特殊ノ地點ニアツテハ更ニ之ヲ延長シ得ルコトト決定致シタノデアリマス。斯ノ如ク目安トシテノ調整區域ヲ決定ト相成リマシタノデ、次ニハ愈其ノ調整方法ニ付テ審議ヲ進メマシタ。

調整ノ方法トシテハ、調整區域内ニ於ケル全事業ヲ資本的ニ一元化スルコト、即チ大合同ガ理想デアアリマスルケレドモ、ソレニハ諸種ノ難シイ問題ガアリ、且ツ是ガ實現ノ爲ニハ相當ノ年月ヲ要シマスルカラ、急ヲ要スルモノ、若クハ統合ノ核心トナルベキモノヲ先ヅ資本的ニ一元化スルコト、即チ小合同ヲ先ヅ致シマシテ、引續イテ第二段ノ統合方策ニ出ルコトモ一ツノ方法デアルノデアリマス。此ノ大合同ガ良イカ、第二ノ小合同ガ良イカト云フ點ニ付テ論議ヲ致シマスルニハ、之ニ最モ關係ノ深イ東京市電及ビ省線電車ノ現狀ヲ知ル必要ガアルト認メマシタノデ、關係者ヨリ詳細ナル説明ヲ得マシタガ、更ニ此ノ問題ハ勢ヒ統合ノ經營形態ニ及ブコトトナリマシテ、各委員ヨリ各種ノ御意見ノ開陳ガアツタノデアリマス。今其ノ大要ヲ申上ゲマスルト、

先ヅ第一ニ舊市内ヲ資本的ニ統合シテ半公半民ノ會社ヲ作り市電ハ之ヲ借上ゲルコトトシ且ツ郊外電車ハ適當ナル調整方策ヲ講ズルコトトスルガ宜シイト云フ意見、

第二ニ、今日ノ社會情勢ヨリシテハ、會社組織デナク市又ハ鐵道省ガ此ノ經營ニ當ルガ宜イト云フ意見、

第三ハ、舊市内ノ交通事業ニ付テ半公半民ノ會社ヲ作ツテ之ニ委任經營ヲサセルガ宜イト云フ意見、

第四ニ、大合同ハ鐵道省ガ中心トナツテ斷行スベキデアルガ、小合同デアルトスルナラバ、市有市營ガ適當デアルト云フ意見、

第五ニ、東京地方ノ調整ハ全國ノ模範トナルヤウニ大合同ヲ斷行スベキデアツテ、是ガ經營形態ハ市有民營トスルノモ一ツノ方法デアルト云フ意見、

第六ニ、交通事業ハ兼業ヲ營ム必要ガアルカラ、大合同ニセヨ、小合同ニセヨ、民營ガ適當デアアル、而シテ省線電車ハ出資不可能デアルナラバ、出資ト同ジ效果ヲ得ル方法デ之ニ參加スベキデアルト云フ意見、

第七ニ、理想トシテハ大合同ガ宜イノデアアルガ、省線電車ノ參加ガ若シ困難デアルナラバ、差當リハ舊市内ガヲ調整スルコトトシテ、其ノ經營形態ハ必ズシモ民營デナクモ宜イト云フ意見等デアリマシタ。

斯ノ如ク各委員ノ御意見ノ開陳ガ終リマシタガ、本案ニ付キマシテハ更ニ具體的ニ研究ヲ要スル幾多ノ問題ヲ藏シテ居リマスルノデ、特別委員諸君ノ御賛同ヲ得マシテ、七名ノ小委員ニ御審議ヲ願フコトト致シタノデアリマス。

小委員會ハ大藏男爵ヲ小委員長トシ、九回ニ互ツテ慎重審議ヲ致シマシテ一應ノ成案ヲ得ラレマシタノデ、昨年十一月八日ニ第八回ノ特別委員會ヲ開催致シマシテ大藏小委員長ノ御報告ヲ受ケ、引續キ第九回ヲ十一月十五日、第十回ヲ十一月二十一日ニ開キマシテ、小委員長ノ御報告ニ付テ審議ヲ致シタノデアリマス。小委員會ニ於キマシテハ、特別委員會デ問題トナリマシタ最モ重要ナル諸點、即チ大合同ガ宜イカ小合同ガ宜イカ、省線電車ノ參加ノ程度ハドウデアルカ、經營ノ形態ハ何レヲ可トスルヤ等ニ付テ十分ニ掘下ゲテ御檢討ニナリマシタガ、其ノ結果ハ諸種ノ點ヨリシテ大合同ハ小合同ニ優ルト云フコトノ結論ニ達シ、又省線電車ニ關シマシテモ、酷暑ヲ冒シテ實地調査ヲ遂ゲラレ、更ニ鐵道省ヨリ一部ノ出資ハ可能デアルト云フコトノ言明ヲ得マシタノデ、經營形態ニ付テ研究ヲ進メラレマシタ所、所謂第一案トシテノ官公私合同特殊會社案ト、第二案トシテノ東京市有市營ヲ根幹トスル案ガ殘ルコトトナリ。而シテ第一案ニハ多數ノ委員ガ賛成セラレ、第二案ニハ極メテ少數ノ委員ノ御賛成ガアツタト云フコトデアリマシタ。

之ニ關シマシテ、特別委員會ニ於キマシテハ、特別委員ト小委員トノ間ニ種々ノ質疑應答並ニ御意見ノ

開陳ガアリマシタ。其ノ主要ナルモノヲ申上ゲマスルト、第一案、即チ官公私合同特殊會社案ニ付キマシテハ、(一)ハ省線電車ヲ出資スルモ鐵道省ガ更ニ管理ノ委託ヲ受ケルコトニ付テノ意見デアリマス。詰リ省線電車ハ出資スルト言フ、併シナガラ愈、ソレヲ運轉スル時ニハ鐵道省ガ其ノ管理ノ委託ヲ受ケルコトニシタイ、斯ウ云フ意見及ビソレニ關スル色々疑問ノ點デアリマス。(二)ハ省線電車出資ト國有財産法トノ關係ニ關スル疑問ノ點、(三)ハ山ノ手線及ビ各事業ノ評價問題ヲドウスルカト云フ點、(四)ハ運賃値上防止ニ關スル問題、(五)ハ出資會社ノ税金負擔ノ問題等ガ問題ニナツタノデアリマス。第二案即チ東京市有市營案ニ付キマシテハ、市ガ巨額ノ公債ヲ發行スルニ付テ經濟界ニ及ボス影響及ビ市ガ各事業ヲ買收スル場合ニ於ケル評價問題等ガ問題トシテ檢討サレタノデアリマス。又大合同ヨリモ小合同ノ方ガ實情ニ即シ實現モ比較的容易デハナイカ及ビ小委員會ニハ事業ニ關係アル委員ノ意見ヲ十分ニ聴取セラレタイ等ノ重要ナル御意見ノ發表ガアリマシタ。其ノ他色々御意見モアリマシタノデ、更ニ具體案ノ作成方ヲモウ一度小委員ニ付託シテ慎重審議ヲ願フコトト致シマシタ。而シテ其ノ付託事項ハ第一案即チ官公私合同特殊會社案ヲ骨子トシテ、第二案即チ東京市有市營案ノ精神ヲ織込ミ、更ニ特別委員會ニ於ケル各種ノ御意見ヲ參酌シテ具體案ヲ練ツテ戴クト云フコトデアツタノデアリマス。

ソレデ小委員會ハ昨年十一月二十五日ヨリ本年十二月十九日ニ至ルマデ、都合九回ニ互リ會合ヲ開カレマシテ、漸ク成案ヲ得ルニ至ツタノデ、去ル二十日第十一回特別委員會ヲ開催致シマシテ、大藏小委員長

ヨリ詳細ナル御報告ヲ受ケマシタ、其ノ御報告ニ依リマス、先ヅ特別委員會デ御意見ノアリマシタ通
リ、事業ニ關係ナル委員ノ御意見ヲ順次聴取シテ、具體案審議ノ參考トセラレタノデアリマスルガ、此
ノ間内外ノ情勢ハ急激ナル變化ガアリマシテ、是ガ推移ヲ暫ク見テ參ツタ所、帝都ノ交通調整ハ速カニ
解決ヲ要スルコトヲ痛感スルニ至ツタノデアリマス、而シテ此ノ急激ナル情勢ノ變化ニ即應スルガ爲ニハ、
從來研究シテ參リマシタ大合同ニ付テハ、複雑ナル諸問題ガアリマシテ、又是ガ實現マデニハ相當ノ年月
ヲ要スト認メラレマスルノデ、此ノ際ハ大合同ニ固執シテ居ルヨリカ、大合同ハ棄テナイノデアルガ、此
ノ大合同ヲ目標トシテ、實行可能ナル而モ交通調整ノ實行ヲ遂ゲ得ルヤウナ案ヲ考ヘルノガ宜イデハナ
カ、ソレニハ大合同ヲ目標トスルガ、ソレニ至ル第一歩トシテ先ヅ「ブロック」的ノ調整ヲスルノガ宜イデ
ハナシカト云フコトニナリマシテ、其ノ成案ヲ得テ特別委員會ニ御報告セラルルコトニナツタ」ト云フコト
デアリマシタ、其ノ小委員會ノ成案ノ大要ニ付キマシテハ、後刻申上ゲマスル特別委員會ノ成案ト同ジコ
トデアリマスルカラ、是ハ後程申上ゲルコトト致シマシテ、此ノ場合省略サシテ戴キマス。
尙ホ其ノ際特ニ大藏小委員長ヨリ、東京市ニ於テハ本問題ニ關シマシテ、次ノ如キ決議ヲ致シタト云フ
御報告ガアリマシタノデ、ソレヲ御紹介申上ゲルコトニ致シマス。

決 議

東京市會ハ疊ニ東京市及ビ其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關シ意見書ヲ提出シ、東京市ノ意思

ヲ明確ニ宣明シタリ、而シテ全般政府ヨリ小委員會ニ提示セラレタル幹事案ハ、該意見書ニ所謂公有公營
ニ依ル大統領ノ理想實現ノ一段階トシテ現下ノ情勢ニ鑑ミ事情止ムヲ得ザルモノト認メ左記要望ヲ附シテ
該案ヲ認容セムトス。

記

- 一、本市年來ノ要望タル公益優先主義ヲ徹底セシムル爲メ大統領實現ノ曉ハ公有公營ニ依ルヲ適當ト認
ム
- 二、本案ハ現下諸般ノ實情ニ鑑ミ、大統領ノ第一階梯トシテ止ムヲ得ザルニ出デタルモノナリト認ムル
モ路面交通機關ト地下交通機關トハ本來一貫經營スルヲ至當トス、仍テ將來其ノ實現ヲ期セラレタ
シ

右決議ス

ト云フノデアリマス、特別委員會ニ於キマシテモ、疊ニ小委員ニ付託致シマシタ所ト、其ノ内容ニ於テハ
多少ノ違ヒハアルノデアリマスルガ、帝都ノ交通調整ハ、此ノ世界ノ諸情勢ニ應ジ、洵ニ急ヲ要スル重大事
項デアリマスノデ内容ノ多少ノ違ヒハ事情已ムヲ得ザルモノト認メマシテ、次ニ小委員會答申案ニ付テ質
疑應答及ビ意見ノ開陳ヲ願ツタノデアリマス、其ノ質疑應答ノ主ナルモノヲ申上ゲマスルト、

- 第一、給電事業ノ兼業ハ交通機關ト密接ナル關係ニアルガ、此ノ處置ヲドウスルカト云フ質問デアリマ

ス、之ニ對スル幹事ノ答辯ハ、交通機關ト密接ナル關係ニアル兼業ハ、本業ト共ニ移ルベキコトト考ヘルガ、給電事業ガソレデアルカドウカト云フコトハ一概ニハ言ハレナイ、又一面電氣供給事業ノ統制ガ現ニ進行シテ居ルヤウデ、今ノ所ハツキリ答辯スルコトハ困難デアル、兎ニ角事業ノ模様其ノ他種々ノ點ヨリ考慮シ、關係ノ向トモ十分協議シテ決メタイト云フコトデアリマシタ、

第二ノ質問ハ、答申案第三ノ所謂目標トスル大合同ノ場合ノ經營主體ハ何ニスルノカト云フ質問ニ對シテハ、是ハ今ノ所確然タル考ハ持ツテ居ナイガ、將來大合同實現ノ際ニ、諸般ノ事情ヲ見、且ツ其ノ時機ニ最モ適シタル經營主體ヲ選ビタイト云フ答辯デアリマシタ、

第三ノ質問ハ、地下鐵ノ經營主體ハ大合同ノ經營主體ト相對立スル心配モアリ、又大合同ヲヤル時ニ地下鐵ノ經營主體ガ消滅シテシマフノハ拙イ結果ニナリハシナイカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテハ、將來大合同ニ適スル機關ガ出來タナラバ、其ノ時ニ支障ナイヤウニ十分考慮スル考デアルト云フコトデアリマシタ、

第四ノ質問ハ、地下鐵ニ付テハ建設技術ヲ實施スルコトガ最モ困難ト思フガ、此ノ技術ノ援助ニ付テ何カ考ヘテ居ルカ、又是ガ爲ニハ地下鐵道ニ關スル特殊立法トカ、新ニ設立セントスル地下鐵ノ特殊機關ノ立法ニ際シテ相當ノ考ヲ入レル必要ガアルト思フガドウカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテハ少シデモ實行ヲ容易ナラシムル方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リ、特ニ地下鐵道ニ關シテ必要ガアルナラバ特殊立法

ノ研究モシタイト思フガ、若シ專門委員會ガ設置セララルナラバ、其ノ方面ヨリノ指導援助モ受ケタイト思ツテ居ル、新ニ設立スル地下鐵ノ特殊機關ノ法案ニ付テハ、將來ノコトモ十分考慮シテ立案ヲシタイト云フ御答辯デアリマシタ、其ノ他各種ノ質疑應答並ニ御意見ノ開陳ガアリマシタ後、滿場一致小委員會答申ニ依ル成案ヲ可決致シマシタ次第デゴザイマス、

此ノ案ノ内容ニ付キマシテハ、御手許ニ配付セラレマシタ答申案デ御承知ノコトト思ヒマスガ、其ノ極ク概要ヲ申上ゲマスレバ、

調整區域ハ丸ノ内ヲ中心トシテ大體三四十「キロ」ノ圏内トスルコト、

調整スベキ事業ノ種類ハ、地方鐵道事業、軌道事業及ビ旅客自動車運輸事業トスルコト、

調整スベキ事業ノ範圍ハ、調整區域内ニ於ケル、又ハ區域外ニ互ル交通事業トスルコト、但シ調整上重要ナラザルモノハ之ヲ除クコト、

調整ノ方法ハ、交通事業ヲ適當ナル經營主體ノ下ニ一舉ニ大合同セシムルコトヲ目標トシ、其ノ階梯トシテ全交通事業ヲ數箇ノ地域別ニ分ツコト、即チ舊市内ヲ路面ト地下ニ分ケ、郊外ハ中央本線以南是ガ一ツ、中央本線ト東北本線ノ間ソレガ一ツ、東北本線ト常磐線ノ間ソレガ一ツ、常磐線以東以南、此ノ四ツニ分チ、而シテ各地域内ノ調整方法ハ舊市内ノ路面交通事業ヲ東京市電ニ譲渡若クハ管理ヲ委託セシムルコト、舊市内ノ地下高速度鐵道ノ整備擴充ハ平時及ビ非常時ノ輸送力ヲ確保擴充スルガ爲メ目下ノ急務デ

一二
アルカラ、之ニ最モ適合スル特殊機關ヲ設立シ、政府ニ於テ之ニ對シ適當ナル助成ヲスルコト、尙ホ現在ノ地下鐵道ノ既成線及ビ未成線ヲ、此ノ特殊機關ニ讓渡若クハ管理ヲ委託セシムルコト、郊外ノ各地域内ノ事業ニ付テハ、調整法ヲ運用シテ、事業ノ合同其ノ他運輸協定等、適當ナル方法ニ依リ調整スルコト、各地域相互間ニ於ケル調整モ調整法ヲ運用シテ諸種ノ調整ヲ圖ラシムルコト、交通事業調整委員會ニ東京地方專門委員會ヲ置キマシテ、調整委員會ヨリ委託ヲ受ケタル範圍内ニ於テ陸上交通事業ノ綜合的計畫ヲ樹立、各地域内並ニ各地域相互間ノ具體的調整方策等ニ付テ調査審議セシメ、專門委員會ノ意見ヲ以テ調整委員會ノ意見トスルコト、省線電車ハ、他ノ交通機關トノ間ニ、適當ノ方法ニ依リ連絡協調ヲ圖リ、殊ニ舊市内ノ事業トノ間ニ於テハ、適切ナル協力方策ヲ講ズルコト、是ガ各地域ノ調整方法デアリマス、最後ニ兼業ノ處置ニ付テハ、其ノ交通事業ノ調整方法ニ應ジ適當ナル處置ヲスルコト等ガ此ノ答申案ノ内容デアリマス、以上ヲ以チマシテ、特別委員會ニ於ケル經過並ニ結果ノ概略ヲ御報告申上ゲタ次第デゴザイマス。

〔要旨幹事朗讀〕

○議長(小川副會長) 只今次田委員カラ詳細ニ互ツテ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ニ相成リマシタ、洵ニ有難ウゴザイマシタ、先ヅ特別委員會デ作成サレマシタ答申案ヲ幹事ヲシマシテ朗讀致シタマス。

諸問第一號ニ對スル答申案
東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ現状ニ鑑ミ大體左記要領ニ基キ調整ヲ爲スヲ以テ有效適切ナルモノト認ム

記

第一 調整區域

調整區域ハ別表一ノ通トスルコト

第二 調整スベキ事業ノ種類及範圍

調整スベキ事業ノ種類ハ地方鐵道事業、軌道事業及旅客自動車運輸事業トスルコト
調整スベキ事業ノ範圍ハ調整區域内ニ於ケル又ハ其ノ區域外ニ互ル前記ノ事業トスルコト但シ調整上重要ナラザルモノハ之ヲ除クコト

第三 調整ノ方法

前記交通事業ヲ適當ナル經營主體ノ下ニ同時ニ一元的ニ大合同セシムルコトヲ目標トシ、其ノ階梯トシテ全交通事業ヲ左ノ地域別及方法ニ依リ調整シ、尙地下高速度交通機關ノ整備擴充ヲ圖ルコト

一 地域別交通事業

1 舊市内ニ於ケル路面交通事業

- 2 舊市内ヲ中心トスル地下高速度交通事業
- 3 舊市内以外ノ區域ニシテ大體省中央本線以南ノ地域ニ於ケル交通事業
- 4 舊市内以外ノ區域ニシテ大體省中央本線、東北本線間ノ地域ニ於ケル交通事業
- 5 舊市内以外ノ區域ニシテ大體省東北本線、常磐線間ノ地域ニ於ケル交通事業
- 6 舊市内以外ノ區域ニシテ大體省常磐線ヨリ東南ノ地域ニ於ケル交通事業
(註) 舊市内トハ大體省山手線品川、新宿、池袋、赤羽以東、荒川放水路以西ノ地域ヲ謂フ
- 二 舊市内ニ於ケル路面交通事業
舊市内ニ於ケル路面交通事業(別表二)ニ付テハ東京市ニ其ノ事業ヲ讓渡セシメ又ハ其ノ事業ノ管理ヲ委託セシムルコト
- 三 舊市内ヲ中心トスル地下高速度交通事業ノ整備調整
平時又ハ非常時ノ輸送力ヲ確保擴充スル爲メ地下高速度交通網ノ完成及地下高速度交通機關ト他ノ交通機關トノ連絡施設ノ整備擴充ヲ圖ルニ最モ適合スル特殊ノ機關ヲ設立シ、政府ニ於テ之ニ對シ適當ナル助成ヲ爲スコト
現存ノ地下高速度交通事業ノ既成線及未成線(別表三)ニ付テハ右ノ機關ニ其ノ事業ヲ讓渡セシメ又ハ其ノ事業ノ管理ヲ委託セシムルコト

- 四 舊市内以外ノ區域ニ於ケル交通事業ノ調整
舊市内以外ノ區域ノ各地域内ニ於ケル交通事業(別表四)ニ付テハ將來ノ大合同ヲ容易ナラシムル爲陸上交通事業調整法ヲ運用シテ事業ノ合同其ノ他適當ナル方法ヲ以テ調整スルコト
- 五 各地域相互間ニ於ケル交通事業ノ調整
各地域相互間ニ於ケル交通事業ニ付テハ陸上交通事業調整法ヲ運用シテ、連絡設備ノ改善、直通運轉、連絡運輸ノ擴張、規格ノ統一及用品其ノ他ノ共同修繕並ニ共同購入等ヲ爲サシムルコト
- 六 東京地方專門委員會
交通事業調整委員會ニ東京地方專門委員會ヲ置クコト
東京地方專門委員會ハ東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關スル指導的機關トシテ交通事業調整委員會ノ委任ヲ受ケ、東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ綜合的計畫ノ樹立、各地域内並ニ各地域相互間ニ於ケル陸上交通事業ノ具體的調整方策等ニ付調査審議ヲ爲スコト
- 七 省線電車ト他ノ交通事業トノ調整
省線電車ト他ノ交通事業トノ間ニ於テハ適當ナル方法ニ依リ緊密ナル連絡協調ヲ圖リ、殊ニ舊市内ノ事業トノ間ニ於テハ經營ニ付適切ナル協力方策ヲ講ズルコト

第四 兼業ノ處置

調整スベキ陸上交通事業ト密接ナル關係ヲ有スル兼業ニ付テハ其ノ交通事業ノ調整方法ニ應ジ適當ナル
處置ヲ爲スコト

(別表一)

調整區域

東京府

東京市全部

八王子市全部

立川市全部

北多摩郡全部

南多摩郡

淺川町、町田町、日野町、小宮町、南村、鶴川村、忠生村、多摩村、稻城村、由木村、堀村、
由井村、横山村、七生村

神奈川縣

横浜市全部

川崎市全部

埼玉縣

浦和市全部

川越市全部

川口市全部

大宮市全部

入間郡

所澤町、豐岡町、入間川町、山口村、吾妻村、松井村、富岡村、柳瀬村、三芳村、水谷村、宗

岡村、南畑村、鶴瀬村、大井村、福岡村、高階村、南古谷村、古谷村、小手指村、三ヶ島村、

藤澤村、入間村、堀兼村、福原村、奥富村、日東村、大田村

北足立郡

與野町、蕨町、草加町、大和田町、志木町、朝霞町、六辻町、谷塚町、片山村、新倉村、白子

村、内間木村、笹目村、美谷本村、戸田村、土合村、大久保村、植水村、指扇村、馬宮村、安

行村、新田村、戸塚村、大門村、野田村、片柳村、七里村、春岡村

南埼玉郡

粕壁町、岩槻町、越ヶ谷町、大澤町、潮止村、八幡村、八條村、川柳村、出羽村、荻島村、新

和村、柏崎村、和土村、豊春村、川通村、武里村、大袋村、櫻井村、新方村、増林村、大相模村、蒲生村

北 葛 飾 郡

吉川町、八木郷村、戸ヶ崎村、彦成村、早稻田村、三輪野江村、旭村、金杉村、松伏領村、川邊村、豊野村、幸松村、南櫻井村

千 葉 縣

千 葉 市 全 部

市 川 市 全 部

船 橋 市 全 部

東 葛 飾 郡

我孫子町、野田町、柏町、流山町、小金町、松戸町、行徳町、南行徳町、浦安町、川間村、七福村、旭村、梅郷村、福田村、新川村、八木村、田中村、富勢村、手賀村、風草村、土村、馬橋村、高木村、大柏村、鎌ヶ谷村

千 葉 郡

津田沼町、幕張町、大和田町、二宮町、豊富村、睦村、犢橋村

印 旛 郡

白井村

(別表二)

舊市内ニ於ケル路面交通事業者及事業ノ範圍

(事業業者)

(範圍)

東 京 市

軌道全線

バス全線

東京横濱電氣鐵道株式會社

軌道天現寺線全線

バス舊市内線全線

西武鐵道株式會社

軌道新宿線全線

東京地下鐵道株式會社

軌道全線

バス全線(遊覽バスヲ含ム)

王子電氣軌道株式會社

軌道全線

バス全線

大東京遊覽自動車株式會社

バス全線

東京環状乗合自動車株式会社
城東乗合自動車株式会社
葛飾乗合自動車株式会社

バス全線
バス全線
バス線

京王電氣軌道株式会社

小松川、今井間
稻荷前、今井間
バス舊市内線全線

(別表三)

舊市内ヲ中心トスル地下高速度交通事業者及事業ノ範圍

(事業者)

東京地下鐵道株式会社

(範圍)
既成線全線

東京高速鐵道株式会社

未成線全線
既成線全線

京濱地下鐵道株式会社

未成線全線
未成線全線

東京市

(別表四)

舊市内以外ノ區域ノ各地域内ニ於ケル交通事業者及事業ノ範圍

一、舊市内以外ノ區域ニシテ大體省中央本線以南ノ地域ニ於ケル交通事業

(事業者)

京濱電氣鐵道株式会社

(範圍)
軌道全線

東京橫濱電鐵株式会社

鐵道全線
バス全線
鐵道全線

小田原急行鐵道株式会社

軌道全線(天現寺線ヲ除ク)
バス全線(舊市内線ヲ除ク)
鐵道全線

京王電氣軌道株式会社

軌道全線
バス全線
バス全線(舊市内線ヲ除ク)

南武鐵道株式會社

鐵道本線全線

西武鐵道株式會社
多摩線全線
鶴見臨港鐵道株式會社
鐵道全線
川崎鶴見臨港バス株式會社
バス全線

其ノ他本地域ニ屬セシムルヲ適當ト認ムル交通事業

二、舊市内以外ノ區域ニシテ大體省中央本線、東北本線間ノ地域ニ於ケル交通事業

(事業者) (範圍)

東武鐵道株式會社
鐵道東上線全線
西武鐵道株式會社
鐵道全線(多摩線及新宿線ヲ除ク)
バス全線
武藏野鐵道株式會社
鐵道全線
バス全線
中野乗合自動車株式會社
バス全線
中仙道乗合自動車株式會社
バス全線
東都乗合自動車株式會社
バス全線

東武自動車株式會社
バス東武鐵道東上線關係全線

其ノ他本地域ニ屬セシムルヲ適當ト認ムル交通事業

三、舊市内以外ノ區域ニシテ省東北本線、常磐線間ニ於ケル交通事業

(事業者) (範圍)

東武鐵道株式會社
鐵道本線全線
總武鐵道株式會社
鐵道大宮線全線
バス鐵道大宮線關係全線
東武自動車株式會社
バス東武鐵道本線關係全線
鳩ヶ谷自動車株式會社
バス全線
花畑乗合自動車株式會社
バス全線

其ノ他本地域ニ屬セシムルヲ適當ト認ムル交通事業

四、舊市内以外ノ區域ニシテ大體省常磐線ヨリ東南ノ地域ニ於ケル交通事業

(事業者) (範圍)

京成電氣軌道株式會社
軌道全線
バス全線

總武鐵道株式會社

鐵道船橋線全線

バス舊總武自動車線全線

バス全線

千葉市街自動車株式會社

葛飾乗合自動車株式會社

バス全線(小松川今井間及稻荷前今井間ヲ除ク)

其ノ他本地域ニ屬セシムルヲ適當ト認ムル交通事業

○議長(小川副會長) ソレデハ次田委員ノ御報告並ニ只今朗讀致シマシタ答申案ニ付キマシテ、御質問ナリ御意見ナリガゴザイマシタラ御述ベラ願ヒマス。

○三番(八田委員) 別段他ノ方何モ御話ガナイヤウデアリマス、私チヨット質問ト云フ譯デモアリマセヌ、此ノ案ニ付テハ勿論結構ナコトダト思フノデアリマスガ、此ノ東京市内ノ地下高速度交通網ノ完成ト云フコトニ對シマシテハ、當局ニ於テハドンナヤウナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、若シ他ノ直接之ニ關スル御質問ガ濟ミマシテ時間ガアリマシタラ、ドウゾ御意向ヲ伺ヘレバ大變仕合セデアリマス、其ノ御尋ネノ趣旨ハ、今日ノ防空ト言ヒマスカ、サウ云フ近代ノ一朝事ノ有ル場合ニ於ケル大都市ノ此ノ地下施設ト云フモノガ非常ニ重要デアルト云フ觀點カラ致シマシテ、ト同時ニ其ノ場合及ビ平時ニ於ケル高速交通ノ上カラ申シマシテ、此ノ施設ハ極メテ重要ナルモノデアル、物資其ノ他勢力等ノ不足ノ場合デアリマスケレドモ、長期ニ亘ツテ、今日ノ國內情勢或ハ國外ノ情勢ト云フモノガ續クモノト豫想シナケレバナラヌ場

合ニ於キマシテハ、唯或ル時期マデ待ツト云フコトヲ許サレナイデハナイカト云フヤウナ考カラ致シマシテ、是ハ出來得ル限りノ困難ヲ排除シ、物資等ノ不足ノ場合デアルガ、尙ホ且ツ高度國防國家ノ體制ヲ完備スル上ニ於テ、是ト相關聯シタ問題デアルト云フヤウナ考カラシテ御尋ネスル譯デアリマス、今直グデナクテモ宜シイノデアリマスガ、他ノ直接之ニ對スル御質問等ノ濟ミマシタ後デ簡單デモ宜シウゴザイマスカラ、御意向ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス。

○大山幹事 東京市ニ於ケル地下高速度鐵道ノ擴充ガ、交通機關ト致シマシテモ、亦防空上ノ見地カラ致シマシテモ、其ノ建設擴充ノ急ヲ要スルト云フコトハ、只今八田委員ノ仰セニナリマシタ通り、吾々痛感致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ出來ルダケ此ノ機關ノ建設擴充ト云フコトニ主力ヲ注ギマシテ、御説ノ通りノ物資勢力其ノ他ノ不十分ナ時デアリマスルガ、最モ力ヲ注ギ、又最モ之ニ適スル機構ヲモ考ヘマシテ、此ノ建設ニ邁進致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、物資ノ關係ニ付キマシテモ、勿論色々急ヲ要スルモノモアルノデアリマセウガ、此ノ事業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、局ニ當ル者ト致シマシテハ、出來ルダケ努力シテ、少シデモ進ミ得ルヤウナ途ヲ講ジタイト思ツテ居リマス。

又防空ノ點ニ付キマシテハ、只今マデ造ラレテ居ル地下鐵道ハ、其ノ點ニ關スル考慮ガ不十分ナモノト認メラレマスノデ、御専門ノ方々ト十分ニ御協議申上ゲマシテ、防空ノ上カラモ、交通ノ上カラモ、役立ち得ル立派ナ設計ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス。

要スルニ高度國防ノ觀點カラ此ノ仕事ガ非常ニ重要ナモノデアルト云フコトヲ痛感致シマシテ、ソレヲ達成スル爲ニ、最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス。

○三番(八田委員) 只今御意向ヲ伺ヒマシテ、洵ニ意ヲ強ウスル者デアリマス、是ハ希望デアリマスガ、ドウカ是ハ是非一ツ今後一段ノカラ當局ニ於テオ入レニナランコトヲ切ニ希望致シテ置ク次第デアリマス、私ノ御尋ハソレダケゴザイマス。

○議長(小川副會長) 他ニ御質問ナリ御意見ナリゴザイマセヌカ。

○十三番(岡野委員) 私一ツチヨツド御質問申上ゲタイト思ヒマスガ、山手線ノ外ノ四ツノ「ブロック」ニ狹マレテ居ル中ノ自動車ゴザイマスガ、本來ノ趣旨カラ言ツテ、其ノ「ブロック」ノ中ニ統制スルヤウニ之ニ書イテゴザイマスガ、市内ノ山手線以內カラ外ニ互ツテ居ル乗合自動車ニ付テハ、又別個ノ特殊事情トシテ御考ヘニナルコトトハ存ジマスガ、其ノ點如何デゴザイマセウ。

○大山幹事 「ブロック」ノ相互間ニ互ツテ居リマス自動車「バス」ノ處理ニ付キマシテハ、是ハ答申案ニモ書イテアルノデアリマスガ、此ノ「ブロック」ハ大體ト云フコトガ實ハ附ケテアルノデアリマシテ、其ノ「ブロック」ノ界ニ依ツテ一ツノ事業ヲ打切ルト云フ程ノ考ハ持ツテ居リマセヌ、其ノ交通情勢ヲ能ク見マシテ、其ノ界ニアルモノ兩方ニ互ツテ居リマスモノニ付テハ、何レノ「ブロック」ニ入レタガ宜イカト云フコトハ、更ニ個々ノモノニ付キマシテ、詳細研究シタ上所屬ヲ決メタイト考ヘテ居ルノデアリマス。

○十三番(岡野委員) 只今ノ御話ノ通りデ洵ニ結構ト存ジマスガ、高速鐵道ハ山手線ノ内部カラ將來ハ漸次外部ノ方ニ延長シテ行クモノト考ヘマスガ、其ノ方ノ考デハ、成ベク外ニ市ノ發展ト同時ニ直通運轉ヲシタイ、是ガニ番良イノデハナイカト思フノデス、今日市ノ「ブロック」相互間デナシニ、山手線ノ内側カラ外側ニ出テ運轉シテ居ル乗合自動車ガアリマサラバ、是ハ市ノ内外デ分ケナイデ、無論サウ云フ事情ニ對シテハ、内外通ジテ考慮ノ上、何レカニ統合サレルコトトハ存ジマス、只今ノ御答辯ニ依ツテモサウ云フ意味デアラウト存ジマスガ、其ノ邊ヲ十分ニ御考慮ヒタイト存ジマス——此ノ本日付議セラレマシタ議案ハ大合同トシテ考ヘマシタコトニ付テハ、稍不徹底ノ感ガアルノデアリマスガ、併シ洵ニ時宜ニ適シタ大合同ニ比シテ實行容易ナル方法デアルト考ヘマスノデ、私ハ原案ニ全然賛成ヲ申上ゲタイト思ヒマス、如何デゴザイマセウカ、別ニ御意見ガナケレバ、原案ノ通り可決御決定ヲ願ツタラ如何デゴザイマセウカ。

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(小川副會長) 岡野委員カラ原案通り可決シヨウト云フ御話ガアリマシタ、堤委員カラモ御賛成ガアリマシタガ、如何デセウ、御異議ゴザイマセヌカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(小川副會長) 別ニ御異議モアリマセヌカラ、本答申案ヲ諮問第一號ニ對スル答申トスルト云フコ

トニ本委員會ヲ可決致シマシタ。

本問題ノ諮問ヲ受ケマシテカラ二年有餘ニ亙リマシテ總會、特別委員會、及ビ小委員會ヲ通ジテ三十一回ノ會議ヲ重ネ、其ノ間皆様ノ御熱心ナル御審議ヲ戴キマシテ、玆ニ諮問第一號ニ對スル答申ガ纏マリマシテ、洵ニ御同慶ニ堪ヘマセスト同時ニ、皆様方ノ御熱誠ナル御盡力ニ對シマシテ衷心ヨリ感謝致ス次第デゴザイマス。

是ニテ議事ハ終了致シマシタ、チヨツト是カラ私が代リマシテ、總理大臣ノ即チ會長ノ御挨拶ヲ申上ゲマス。

玆ニ交通事業調整委員會第三回總會ヲ終了スルニ當リマシテ、一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、東京市及ビ其ノ附近ハ、今日我が日本ノ心臟部トモ申スベク、隨テ同地方ノ陸上交通事業ヲ調整シテ、現下ノ交通上ノ連絡ヲ是正シ、併セテ將來ヘノ確乎タル對策ヲ樹テルコトハ、一般民衆ノ便利並ニ國家公共ノ利益ニ重大ナル影響ヲ及ボス目下ノ急務デアルト痛感スル次第アリマス、交通事業調整委員會ハ此ノ重大ナル問題ニ關シ、特別委員會及ビ小委員會ヲ開クコト二十九回ニ及ビ、二年有餘ノ間慎重審議セラレマシテ、遂ニ本日多年ノ懸案タル帝都ノ交通事業ノ調整ニ對シ、現在ノ情勢ニ即應シタル具體の方策ヲ答申セララルコトニ至リマシタコトハ、邦家ノ爲メ洵ニ欣快ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、併シナガラ東京市及ビ其ノ附近ノ陸上交通事業ヲ根本的ニ調整シマス爲ニハ、尙ホ本委員會ノ調査審議ニ俟ツモノ多ナル

ノデアリマシテ、私ハ委員各位ノ今日マデニ於ケル並々ナラス御勞苦ニ對シテ、深ク感謝致シマス同時ニ、各位ガ將來一層ノ御協力ヲ致サレ、國民民福ノ増進ト交通事業ノ健全ナル發達トニ貢獻サレンコトヲ希望シテ已マナイ次第デゴザイマス。

之ヲ以テ閉會致シマス。

午後三時四十七分散會

秘

交通事業調整委員會第四回總會議事速記錄

(昭和十六年十一月二十七日)

會ノ大サハ國定規格A5判

交通事業調整委員會第四回總會議事速記録

昭和十六年十一月二十七日(木曜日) 於總理大臣官邸

午後二時二十分開會

○議長(寺島副會長) 御挨拶申上ゲマス。私ハ先般鐵道大臣ヲ拜命致シマシタ、何分宜シク御願ヒ申上ゲマス。本日ハ内閣總理大臣ガ已ムヲ得ナイ所用ノ爲メ御缺席ニナリマシタノデ、私ガ代リマシテ會長ノ御挨拶ヲ申上ゲマス。

茲ニ交通事業調整委員會第四回總會ヲ開催スルニ當リマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス。交通事業調整委員會ハ委員各位ノ並々ナラス御勞苦ニ依リマシテ昨年末東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關シ適切ナル具體的方策ヲ答申セラレマシタ。私ハ委員各位ノ御熱心ナル御協力ニ對シ厚ク御禮ヲ申上ゲマス。

其ノ後主務大臣ハ調整委員會ノ答申ニ基キマシテ法律ノ制定、調整ノ區域、方法等ノ決定、調整命令ノ發動等ノ手配ヲ著々實行シテ參リ、既ニ地下高速度交通事業ニ付テハ帝都高速度交通營團ノ成立竝ニ其ノ事業ノ開始ヲ見ルニ至リマシタコトハ邦家ノ爲メ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマス。然ルニ此ノ度帝都ノ舊市内ニ於ケル路面交通事業ノ調整ニ關シ關係當事者間ノ協議調ハズ、裁定ヲ申請シテ參リマシタノデ、茲

ニ再ヒ交通事業調整委員會ノ御審議ヲ煩ハスコト相成リマシタ。

何卒委員各位ニ於カレマシテハ公正妥當ナル裁定方策ヲ調査審議セラレ、帝都交通調整ノ完成竝ニ時局下交通應制ノ完備ニ貢獻セラレンコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス。

○議長(寺島副會長) ソレデハ會長ノ指名ニ依リマシテ私ガ其ノ職務ヲ代理シマス——是ヨリ議事ニ入りマス。昨年ノ第三回總會以後調整委員竝ニ幹事ノ方々ニ異動ガゴザイマシタノデ、其ノ異動表ヲ御手許ニ配付致シテ置キマシタ。御諒承置キヲ願ヒマス。先ヅ初メニ昨年ノ第三回總會以後ノ經過ニ付キマシテ幹事ヨリ報告ヲ致サセマス。

○大山幹事 前回開カレマシタ交通事業調整委員會總會以後ノ經過ニ付テ御報告申上ゲマス。概要ハ御手許ニ御配リシテ置キマシタカラ、第二號表ヲ御覽願ヒタイト存ジマス。

昨年十二月二十四日交通事業調整委員會第三回總會ニ於キマシテ、東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關スル具體的方策ヲ御決定ニ相成リマシテ、ソレヲ鐵道內務兩大臣ニ答申致サレタノデアリマス。鐵道內務兩省ニ於キマシテハ、御答申ノ中、舊市内ヲ中心トスル地下高速度交通事業ノ整備ガ、時局柄最モ急ヲ要スルモノト認メマシテ、早速、之ニ當ルベキ特殊ノ機關ヲ設立スル爲メ、第七十六議會ニ帝都高速度交通營團法案ヲ提出致シマシタ。同法ハ無事兩院ヲ通過致シマシテ本年三月六日公布セラレ、五月一日ヨリ實施セラレタノデアリマス。斯クテ帝都高速度交通營團ハ設立委員會ノ開催、出資者ノ募集

ヲ初メ諸般ノ手續ヲ滞リナク完了致シマシテ、七月四日ニ非出タク成立致シタノデアリマス。

引續キ東京市及其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關シマシテ、調整ノ區域、調整スベキ事業ノ種類及調整ノ方法、其ノ他ノ事項ヲ決定致シマシテ、其ノ決定ニ基キマシテ七月十五日ニ鐵道內務兩大臣ヨリ、舊市内ニ於ケル事業ノ讓渡竝ニ讓受及管理ノ委託竝ニ受託ニ關シマシテ命令ヲ發シマシタ。

其ノ命令ニ依リマス、舊市内ヲ中心トスル地下高速度鐵道ハ帝都高速度交通營團ニ讓渡スルコトトシ、其ノ讓受渡ノ協定期間ハ一箇月、即チ八月十四日マデト指定セラレマシタ。又舊市内ノ路面交通事業、即チ電車及ビ「バス」ハ東京市ニ讓渡スルコトト致シマシテ、尙ホ西武鐵道ノ新宿線ノミハ東京市ニ管理ヲ委託スルコトト致シマシテ、其ノ協定期間ハ三箇月、即チ十月十四日マデト指定セラレタノデアリマス。此ノ命令ニ基キマシテ、帝都高速度交通營團ト市及會社トハ早速協議ヲ重ネマシテ、指定ノ期間内ニ圓滿ナル協定ヲ結ビ、之ガ認可ヲ得テ、九月一日ニ總テノ地下鐵道ヲ引繼ギ、茲ニ帝都高速度交通營團ハ經營ノ第一歩ヲ踏ミ出シタ譯デアリマス。

次ニ舊市内ノ路面交通事業ニ關シマシテハ、東京市ト關係會社トノ間ニ協議ヲ重ネラレタノデアリマス。ルガ、指定期間タル十月十四日マデニハ協定ガ成立スルコトハ困難ナル模様モ見受ケラレマシタノデ、諸般ノ情勢ヲ考慮シ、主務大臣ニ於テ協定期間ヲ伸長致シタノデアリマス。即チ東京地下鐵道、大東京遊覽自動車、東京環狀乘合自動車ノ各社ノ事業ニ付テハ、協定期間ヲ十月三十一日マデ、王子電軌其ノ他ノ事

業ニ付テハ十一月十日マデ協定期間ヲ伸長致シマシタ。

四

斯ク協定期間ヲ伸長致シマシタガ、何レモ指定期間内ニ協定ガ成立セズ、陸上交通事業調整法第三條ノ規定ニ依リマシテ主務大臣ノ裁定ヲ申請スルニ至リマシタ。本裁定ハ洵ニ重要ナル事項デアリマスルノデ、同條ノ規定ニ從ヒマシテ交通事業調整委員會ニ諮問スルコトセラレタ譯デアリマス。

以上簡單デハアリマスガ、前同ノ總會以後ノ經過ヲ御報告申上ゲマス。

○議長(寺島副會長) 只今ノ報告ニ對シマシテ何カ御質問ハゴザイマセスカ——ソレデハ東京市ト關係會社トノ事業譲渡價額等ノ裁定ニ關スル審議ニ入リマス。先ヅ諮問事項ヲ朗讀致サセマス。

〔菱谷幹事朗讀〕

諮問第二號

東京市及東京地下鐵道株式會社外七會社ヨリ裁定申請ニ係ル軌道、旅客自動車運輸事業及旅客自動車運送事業ノ公正妥當ナル評價額竝ニ東京市及西武鐵道株式會社ヨリ裁定申請ニ係ル軌道ノ公正妥當ナル管理ノ報酬金額等如何

右貴會ニ諮問ス

○議長(寺島副會長) 本諮問事項ニ付キマシテ幹事ヨリ説明致サセマス。

○大山幹事 只今提出セラレマシタ諮問事項ヲ御審議下サイマス御便宜ノ爲ニ、今回裁定ヲ申請シテ參リ

マシタ各事業ニ付テ、兩當事者ノ主張ノ概要ヲ御説明申上ゲマス。裁定ヲ申請シテ參リマシタ事項ハ、別表第四及第五號表ノ通りデアリマス。裁定申請事項ハ譲受渡ノ價額、管理ノ報酬金額、譲受渡ノ範圍等ニ亙ルデアリマスガ、最も主要ナル事項ハ、譲受渡ノ價格及管理ノ報酬金額ニ關スル事項デアリマスカラ、ソレニ付テ主トシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス。尙ホ參考トシテ御配付シマシタ別表第六ノ「東京地下鐵道株式會社外會社參考書」ヲモ御覽置キ願ヒマス。是ハ會社ノ沿革、内容等ヲ記シタモノデゴザイマス。

先ヅ東京地下鐵道會社ノ分カラ申シマスト、同社ノ路面事業ト致シマシテハ、江東方面ニ於テ運営シテ居リマス軌道ノ城東電車線ト、市内ノ目貫通田町淺草間、堀ノ内洲崎間等ヲ運営シテ居リマス青「バス」ト、市内ノ名所遊覽ヲ主ナル目的トスル遊覽「バス」トガアリマス。

城東電車ニ付テハ東京市モ會社モ地方鐵道法ノ買收規定ヲ準用シテ評價シテ居リマス。地方鐵道法ノ買收規定ト申シマスノハ、大體過去三年間ヲ平均致シマシテ一年間ノ益金ヲ出シ、ソレヲ二十倍即チ五分還元スルコトデアリマス。市ト會社トハ共ニ此ノ方式ニ依ツテ計算シテ居リマスガ、唯營業費ノ見方、補修費ノ見方ナドニ付テ兩者間ニ相違ガアリマス。其ノ爲ニ東京市ハ四百七十一萬二千圓ト評價シテ居リマスノニ對シ、會社ハ六百萬圓餘ト申出テ居リマシテ、其ノ間百二十萬圓餘ノ開キガアルノデアリマス。

「バス」ニ付テハ、東京市ハ青「バス」ト遊覽「バス」トヲ含メテ計算シ、省營「バス」開通ニ伴フ民營「バス」補償ニ關スル自動車交通事業法施行令ノ規定ノ趣旨ヲ取入レテ計算シテ居リマス。此ノ「バス」補償ニ關ス

五

ル勅令ノ規定ノ趣旨ヲ取入レテ計算シマス場合ハ、色々細カナ問題ガアリマスガ、之ヲ極メテ要約シテ申上ゲマスレバ、過去三年間ノ益金ヲ基礎トシ、常態ト認メラルル益金年額ヲ出シ、其ノ七分分ニ、有體財産ノ評價額若クハ興業費ヲ加ヘタルモノト云フコトニナリマス。市ハ補償勅令ノ規定ノ趣旨ヲ取入レルニ當リマシテハ、過去三年ニ基カズシテ過去一年ノ益金ヲ以テ常態ト認メラルル益金トシ、有體財産ノ評價ニ於テハ其ノ現在價額ヲ四分ノ三ニ壓縮シ、尙ホ無形資産ハ原則トシテ之ヲ認メナイ等ノ方針ニ依リ計算シ、評價額ハ八百七十五万四千圓トナツテ居ルノデアリマス。之ニ對シ會社ハ青「バス」ト遊覽「バス」トヲ別計算トシ、且ツ益金還元ノ方法ニ依リマシテ、青「バス」ニ付テハ過去三年、遊覽「バス」ニ付テハ過去四年間ノ平均益金年額ヲ七分還元致シ、青「バス」ハ一千五百三十五万圓餘、遊覽「バス」ハ二百十万圓餘ヲ以テ讓渡價額トシ、市ノ評價トノ間ニ八百七十万圓餘ノ開キガアルノデアリマス。

次ニ大東京遊覽自動車會社デアリマスガ、本會社ハ東京地下鐵道ノ子會社デアリマシテ、興業費約四万圓デ、前述ノ地下鐵道會社ノ遊覽「バス」ノ外ニ、遊覽「バス」ヲ運營シテ居ルノデアリマス。此ノ「バス」ハ地下鐵道會社ノ遊覽「バス」ト同ジク昨年十月以來國策上其ノ運營ヲ休止シテ居リマスノデ、東京市ハ之ニ對シ興業費ノ四万一千圓ヲ以テ評價額トシテ居リマス。會社側ハ本「バス」ノ休止前、過去二年間ノ益金平均年額ヲ七分還元致シマシテ二十九万一千圓ト申出テ居リマシテ、其ノ間ニ二十五万圓ノ開キガアルノデアリマス。

次ニ東京環狀乗合自動車會社ハ所謂黃「バス」ト稱セタルモノデアリマシテ、新橋豐島間其ノ他ヲ運營シテ居リマス。此ノ「バス」ニ對シ、東京市ハ青「バス」ノ場合ト同様ノ方針ノ下ニ二百十四万八千圓ヲ申出デ、會社側ハ是亦青「バス」ト同様ノ方法ニ依リ計算致シマシテ四百六十四万五千圓ト申出デ、其ノ間ニ二百五十万圓餘ノ開キガアリマス。尙ホ會社ハ若シ東京市ガ株ノ全部ヲ肩替リスルナラバ四百万圓ニテ可ナリト申出テ居ルノデアリマス。

次ニ王子電氣軌道會社ノ分ニ付テ申上ゲマス。同社ノ軌道ハ三ノ輪早稻田間及王子赤羽間デアリマスガ、東京市ハ地方鐵道法ノ買收規定ヲ準用シテ、一千七百七十一万四千圓ト評價致シマシタ。之ニ對シ會社側ハ過去三年ニ依ラズシテ、最近一年ノ成績ヲ基準ト致シマシテ、地方鐵道法ノ五分還元ニ代フルニ四分ニ還元即チ市債ノ利率ニヨル還元ヲ致シマシテ二千六十万圓餘ト申出デ、市トノ間ハ八百九十万圓餘ノ開キガアリマス。同社ノ「バス」ハ主トシテ軌道ノ沿線ニアルノデアリマスガ、東京市ハ他ノ「バス」ト同様ノ方法ニ依リ百五十九万圓餘ト評價シ、會社ハ軌道ト同ジク最近一年ノ益金ヲ四分ニ還元致シマシテ五百七十万圓餘ト申出デ、四百十万圓餘ノ開キガアルノデアリマス。

次ニ城東乗合自動車會社デアリマスガ、同社ハ鶯谷驛前ヨリ洲崎ニ至ル十軒足ラズノ「バス」ヲ運營シテ居リマス。東京市ハ他ノ「バス」ト同様ノ方法ニ依リ七十五万九千圓ト評價シ、且ツ同社ノ經營シテ居ル遊覽「バス」ハ、目下休止中デ無形資産ノミトナツテ居リマスノデ之ヲ全々否認シテ居リマス。之ニ對シ會社

ハ過去三年間ノ平均益金年額ヲ七分還元シ、之ニ有體財産現在ノ價格並ニ市ニ引繼ギタル後ノ將來利益ヲ附加シテ居リマス。サウシテ遊覽「バス」ニ付テハ其ノ無形資産五千五百圓ヲ申出デ、合計二百十七万五千五百圓ト評價シ、市トノ開キ百四十万圓餘トナツテ居ルノデアリマス。尙ホ若シ市ガ全部ノ株ヲ肩替リスル時ハ百七十二万五千五百圓ニテ可ナリトシテ居リマス。

次ニ東京横濱電鐵會社ハ、東京府及ビ神奈川縣下ニ二百軒餘ノ「バス」ヲ運營シテ居リマスガ、今回東京市ニ譲渡シマスノハ、大體省線山手線惠比壽、目黒、五反田以東ニ二十二軒餘デアリマス。市ハ之ニ對シ他ノ「バス」同様ノ方法ニ依リ六十六万五千圓ト評價シ、會社ハ過去三年間ノ益金平均年額ヲ營業別ニ計算シテ、七分還元ノ方法ニ依リ百七十六万七千圓餘ト申出デ、其ノ間百十萬圓餘ノ開キガアリマス。

次ニ京王電氣軌道會社ハ百二十軒餘ノ「バス」ヲ運營シテ居リマシテ、其ノ内今回東京市ニ譲渡スベキモノハ、新宿、原宿、音羽方面ノ八軒餘デアリマス。市ハ他ノ「バス」同様ノ方法ニ依リ三十二万五千圓ト申出デ、會社ハ省營「バス」補償ニ關スル勅令ノ規定ノ趣旨ヲ其ノ儘取入レテ計算シ、七十五萬圓ト申出デ、其ノ間四十三萬圓餘ノ開キガアリマス。

次ニ葛飾乗合自動車會社ハ東京府及千葉縣下ニ跨リ五十軒餘ノ「バス」ヲ運營シテ居リマスガ、今回東京市ニ譲渡スベキ分ハ、荒川方面ノ主トシテ東京府側十二軒餘デアリマス。市ハ他ノ「バス」同様ノ方法ニ依リ八万六千圓ト申出デ、會社ハ過去三年間ノ平均益金年額ヲ七分還元致シマシテ、而モ分割シナイ全路線

ノ額トシテ二十三万三千圓ヲ申出テ居リマシテ、其ノ開キ十四萬圓餘デアリマス。

最後ニ西武鐵道會社ノ新宿線デアリマスガ、是ハ新宿驛前、荻窪間ニ運營セラレテ居ル電車デアリマシテ、現在ハ東京地下鐵道會社ガ其ノ管理ヲ受託シテ居リマス。今回之ヲ東京市ニ委託替スルコトナルノデアリマスガ、東京市ハ從來ノ地下鐵會社トノ契約其ノ儘ヲ引繼ギ、受託料二十萬圓トシ、維持補修ノ費用ハ會社負擔ト申出テ居ルノデアリマス。之ニ對シ會社ハ管理ノ報酬金額ハ最近一年間ノ実績ヲ基礎トシ決定メ、維持補修ノ費用ハ市ノ負擔トスル等ノコトヲ申出テ居リマス。尙ホ東京地下鐵道會社ハ本電車ノ管理ガ東京市ニ移轉セラルル結果、現在ノ管理契約ノ殘存期間内ニ會社ガ舉グベキ利益合計約十萬圓ヲ失フモノトシテ、之ガ交付方ヲ東京市ニ要求シテ居リマス。

之ヲ要シマスルニ東京地下鐵道會社外七社ノ讓受渡スベキ事業ニ付キマシテハ、東京市ノ申出額合計三千八十一万二千圓ニ對シ、會社側ノ申出額合計五千九百七十萬圓餘デ、其ノ間二千八百萬圓餘ノ開キガアルノデアリマス。ソシテ東京市ハ軌道ニ付テハ地方鐵道法ノ買收規定ヲ準用シ、「バス」ニ付テハ補償ニ關スル勅令ノ規定ノ趣旨ヲ取入レテ計算シテ居ルノデアリマスガ、軌道ニ付テハ補修費ヲ營業費ニ加算シ、「バス」ニ付テハ最近一年ノ益金ヲ基準トシ、且ツ有體財産及ビ無形資産ニ付キマシテ相當ノ査定ヲ加ヘ若クハ之ヲ全然認メナイト云フ方針ニ依ツテ計算シテ居ルノデアリマス。之ニ對シマシテ會社側ハ軌道ニ付テハ或ルモノハ地方鐵道法ノ規定ヲ準用シテ居リマスガ、補修費ヲ見込マナイトカ、或ルモノハ最近一年ノ益

金ヲ四分二厘還元スルトカ云フコトガアルノデアリマス。「バス」ニ付テハ或ルモノハ過去三年、四年若クハ二年間ノ益金平均年額ヲ七分還元シ、他ノモノハ其ノ上將來ノ豫想利益ヲモ見込シテ計算ヲシテ居ルノデアリマス。斯様ナ爲ニ兩者ノ間ニ多大ノ開キヲ生ジタ譯デアリマス。

初メニ申シマシタ如ク裁定ノ申請ハ、讓受渡價額及管理ノ報酬金額以外ニ、讓受渡ノ範圍其ノ他ニモ互ツテ居リマスガ、讓受渡價額及報酬金額以外ノ事項ハ今日マデニ於テ主務省ノ斡旋ニ依リマシテ大體協議ガ調ヒサウナノデアリマス。以上ヲ以テマシテ私ノ説明ヲ終リマス。

○議長(寺島健君) 只今ノ説明ニ對シテ何カ御質問ナリ御意見ハゴザイマセヌデセウカ。

○堀内委員 只今ノ御説明ニ對シマシテ質問カ意見ガナイカト云フ御話デアリマスガ、少シバカリ質問ヲ兼テ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス。

「バス」ノ讓受渡ノコトニ付キマシテハ評價ガ非常ニ面倒デアルト云フコトハ、私ハ昭和十三年ノ九月十五日ノ此ノ委員會第一回ノ總會ノ時ニ御質問申上ゲタコトガアルノデアリマス。非常ニ評價ガ難カシイカラ、何カ基準ヲ御設ケニナツテ居ラスト、他日爭ヒヲ招ク因デハアルマイカ、何カソレニ對スル基準ガアルカト云フコトヲ申上ゲマシタ所ガ、其ノ時ニ鈴木次官ノ御答辯ニ、ドウモ「バス」事業ノ評價ト云フコトハ頗ル困難デアアル、又評價ノ基準ヲ今定メテ置クト云フコトハ幣幣モアルコトデアアル、是ハ調整法ノ立法ノ趣旨ニ考ヘテ成ルベク自治的調整、自治的協調ニ任セテ、評價ト云フモノハ成ルベク協議ニ任シテ置キ

タイト云フコトデアツタノデアリマス。私モ此ノ御答辯ニ對シテ、是非サウ云フ御方針デナケレバナラヌヤウニモ考ヘマシタ。ソレ別段追究モ致シマセヌデシタ。併シ其ノ當時ノ其ノ他ノ御答辯ノコトヲ申上ゲテ見マス、斯ウ云フ方法モアルノダト云フ御答辯モアツタノデアリマス。其ノ方法トシテハ一年間ノ利益金ニ七年乃至十年ヲ掛ケタモノヲ以テソレヲ無形ノ資産トシテ、更ニ有形ノ資産ヲ加ヘルト云フ方法モアル、又一定ノ率ヲ以テ還元スル方法モアルガ、其ノ具體的ノ事情及ビ其ノ地方ニ行ハレテ居ル慣例其ノ他等モ考慮ノ中ニ入レテ考ヘナケレバナラヌト云フ御答辯デアツタノデアリマス。勿論調整法ノ立法趣旨ニ基キマシテ自治的調整、自治的協調ニ依ツテ總マルベキモノハ是非サウシナケレバナラヌト云フコトデアリマスカラ、其ノ程度デハアリマシタガ、今申上ゲタ中ニモ相當基準トスベキ點ガ玆ニハツキリシテ居ルト思フノデアリマス。併シナガラ其ノ後其ノ儘デハ私共ドウモ心配ノ點モアリマシタ爲ニ、前議會ニ於キマシテ、昭和十六年ノ二月七日帝都高速度交通營團法ノ委員會ニ於キマシテ再ビ政府當局ニ御質問申上ゲタ。ドウモ是ハ自治的協調ニ任シテ置ケナイデハナイカ、他日面倒ガ起ルノデハナイカト云フ老婆心モアリマシテ、ウルサイヤウデアリマシタケレドモ、又再ビ御質問申上ゲタ。其ノ時モ鈴木政府委員ノ御答辯ニ依リマシテ——大體以前ト同ジヤウナ御答辯デハアリマシタケレドモ、自動車營業廢止補償ノ規定モ參考ニハナリマセウ、併シナガラサウ云フ規定ニ一概ニ依ルト云フ譯デハナイ、又モウ一ツハ、評價ノ方法ニハ地方鐵道法ニ依ツテノ評價方法モアルシ、株式ヲ土臺トシタ評價方法モアル、又更ニ日發ノヤウ

ニ収益還元ト建設費トノ折半ノ方法ヲ採ルト云フ方法モアル、ケレドモ是ハ例ニ引クノデアル、ソコデ私ハ、前ノ御答ノ中ニ地方ノ慣例ト云フヤウナコトガアリマシタシ、特ニ大阪ノ民間「バス」ガ大阪市ニ買収サレタト云フ實例ガアルノデアリマスカラ、其ノコトヲ併セテ御質問申上ゲマシタ所ガ、大阪ノ民間「バス」ガ大阪市ニ買収サレタ場合ニ於テ、株式取得ノ方法ニ依ツタノデアルガ、其ノ起算方法ハ能ク記憶シテ居ラヌト云フ御答辯デアツタ、唯「バス」事業ガ「ガソリン」消費規正デ、而モ今規正ノ率ガ非常ニ高イ状態ニアルコトハ事實デアリマスガ、此ノ高イ率ノ時ニ「バス」事業ガ「ノーマル」ノ収益事業ダト云フコトハ考ヘラレルカドウカト云フコトニ付テハ可ナリノ疑問ガアリマス、斯ウ仰シヤツタノデアリマス。「バス」事業ノ正常ダト思ハレル所ノ方法ニ依ツテ評價スルノガ宜カラウト思フ、然ラバ其ノ正常ナル状態ニ於ケル評價方法ヲ如何ナル方法デアルカト云フコトニ付キマシテハ、公式的ナ評價方法ト申セバ自動車事業ノ廢止補償デアルガ、併シ必ズシモ之ニ依ル譯デハナイ——斷定ハナサレテ居リマセヌケレドモ、大體サウ云フヤウナ御趣旨ノ御答辯デアツタノデアリマス。更ニ同ジク前議會ニ於キマシテ貴族院ノ帝都高速度交通營團法ノ委員會ニ於キマシテ、委員ノ久保田敬一君カラ「バス」評價ノ質問ガ同ジクアツタノデアリマス。之ニ對スル大山政府委員ノ答辯ハ如何ナル買収ノ基準ガアルカト云フ御尋ハ、御承知ノヤウニ「ガソリン」消費規正ガ強化サレマシテ、「バス」ノ營業狀態ト云フモノハ非常ニ不自然ノ形ニナツテ居リマスルンデ、其ノ不自然ナル状態ニ基ク収益等ヲノミ基本ニ致シマスト云フコトハ、此ノ際酷デアラウト考ヘテ居ルンデ

アリマス、隨ヒマシテ「バス」ノ補償ノ……買収ノ關係ト致シマシテハ、省營「バス」ヲヤリマシテ、ソレノ並行線ガ補償ヲ受ケル場合トカハ、色々ノ據ルベキ——ツノ筋ガアルノデアリマスルガ、特ニ「バス」ノ常態デナイト云フコトヲ考慮ニ入シマシテ此ノ買収ノ基準ヲ定ムベキモノデアルト考ヘテ居ル、斯ウ云フ御答辯デアツタノデアリマス。尙ホ久保田敬一君カラノ御質問ニ對シテ地下鐵ヲ買収スル場合ニ將來利益ノ増加スルモノデアルカラ、既往ノ三箇年ノ利益ト云フダケノモノデ押ヘル譯ニイクマイト云フヤウナ御話ニ對シマシテ、十分ソレハ承知シテ居ル、地方鐵道法ニ依ツテ之ヲ三箇年ト云フヤウナモノヲ嚴格ニ考ヘルト云フコトハ、或ハ酷ノ場合ガアルカト思フノデアリマシテ、要スルニ地方鐵道ヲ主ナル標準ト致シテ考ヘル場合ニ於テモ、サウ云フ特殊事情ト云フモノハ十分考慮サルベキデアル、斯ウ云フヤウナハツキリシタ御答辯ガアルンデアリマス。然ルニ只今御説明ヲ伺ツテ見マスト此ノ相違ハ最近一箇年間ノ収益ヲ押ヘテアルトカハ、或ハ既往三箇年間ノ収益ヲ押ヘテ平均ヲ取ツタトカ云フヤウナ所ニアルヤウデアリマスガ、兎ニ角先ツ第一ニ甚ダ遺憾ト思ヒマスコトハ、私共ガ「バス」事業ニ對シテ永イ間ノ經驗ヲ以テマシテ將來ノコトヲ考ヘマスト、此ノ帝都ニ於ケル「バス」事業ノ買収ニ付テ言フナラバ、市ト云フ公共團體、又一方ハ會社トシテモ御歴歷ノ方ガ大會社ヲ經營ナスツテ居ル、然ルニモ拘ラズ此ノ評價ニ於テ斯様ナ喰違ヒヲ生ジタト云フコトハ何タルコトデアラウカト思フノデアリマス。ソレハ賣物買物デアリマスカラ、必ズシモ多少ノ相違ガナイトハ言ハレナイノデアリマセウケレドモ、兎ニ角半額デアリマス。五千九百萬圓ノモノガ三千万圓、半分デア

リマス。凡ソ物ノ相場ト云フモノヲ半分値ト云フコトハ、緣日ノ植木屋トハ違ヒマスカラ、左様ナ喰違ヒガ何ノ爲ニ生ジタノカ、「バス」事業ノ統制ト云フコトハ、申スマデモナク陸運統制令モ御發布ニナリマシテ、今後日本全國ニ互ツテ統制ヲ御實行ニナリ、千五百有餘ノ營業者ヲ百五十二統制サレル御方針ノヤウニ伺ツテ居ル。是カラ大小ノ會社ガ地方ニ於キマシテ買収、合併、色々ノ方法ニ依ツテ統制サレルノデアリマシテ、又是ハ統制シナケレバナラヌ國策デアルト考ヘルノデアリマス。然ルニ帝都ニ於テ斯様ナコトヲ見セ付ケラレテ、サウシテ時局柄ニモ拘ラズ爭議ヲ生ジテ、玆ニ裁定ヲ受ケルト云フヤウナコトガ——假令規則上ニハアルコトカモ知レマセヌケレドモ、私ハ洵ニ遺憾千萬ノコトニ思フノデアリマス。私ノ考ヘト致シマシテハ、會社側ニ致シマシテモ市ノ方ノ側ニ致シマシテモ、此ノ評價ヲ御決定ニナルト云フコトハ、玆ニ法的基準ハナイカモ知レマセヌケレドモ、只今私カラ讀上ゲマシタ通り、交通調整委員會ノ時ノ第一同ノ質問ニ對シテモ當局ノ御答辯ガ立派ニアル。又高速度交通營團ノ法案審議ノ時ニ貴衆兩院ニ於テ斯クノ如キニ問答ガ交サレテ居リマシテ、是ハ皆政府モ御承認ニナリ、又議會モ承認シテ此ノ案ハ通過シテ居ルノデアリマス。然ラバ此ノ評價ト云フモノハ斯様ナ質問應答及ビ政府ノ方針ヲ基礎トシテ之ヲ評價ナサルト云フコトデアルナラバ、斯様ナ開キガ生ジテ來ルト云フコトハ私ハナイト思フ。多少ノ開キハ出テ來ルカモ知レマセヌガ、色々ノ方面カラ此ノ方針ニ基イテ評價ヲシテ行クト云フコトデアルナラバ、歸著點ト云フモノハ必ズ判ルノミナラズ、自治的調整ニ依ツテ話ヲスルト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ對

立シタ狀況ヲ玆ニ持ツテ來ル要ハナイト思フ。殊ニモウ一ツ參考ニ資シタイノハ、是ハ申スマデモアリマセヌガ、商工省カラ御發表ニナツタ中ニ轉廢業者ノ資産評價ノ中央委員會ノ答申ト云フモノガ玆ニアリマス。是デ見マスと有價證券ハ時價ヲ以テ評價スト云フ風ナコトガ立派ニ書イテアル。又資産ノ取得又ハ製作ニ要シタル費用ヲ斟酌シテ之ヲ評價スルコトヲ得ルト云フコトモ書イテアル。轉廢業直前三箇年間ノ平均ニ依リテ其ノ純益ヲ算出スルト云フコトモ書イテアル。此ノ評價金額ニシテ不適當ト認メラレル場合ニ於テハ營業ノ種類、地方ノ實情等ヲ斟酌シテ適宜ニ之ヲ變更スルコトヲ得ト云フコトモ書イテアル。又評價ノ決定ノ算定ノ基礎トナルベキ適確ナル數字ヲ求ムルコトガ困難デアル場合ニハ實情ニ應ジテ適宜ノ方法ニ依リ推算シタル數字ニ依ルト云フヤウナコトモ書イテアリマシテ、是ハ大體鐵道省當局ノ御答辯ト一致シテ居ルノデアリマス。ソコデ此ノ委員會ニ於キマス御決定ニモ亦大臣ノ御裁定ガアルコトモ存ジマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ、此ノ歸著ハ將來又地方ノ「バス」事業統制等ニ大關係ヲ持ツ問題デアアル。又此ノ調整委員會ノ裁定如何ニ依ツテハ民事訴訟法モ起シ得ルコトニナルノデアアル。デアルカラ其ノ邊ノコトハ、無論公平ナル御決定モアルコトト思ヒマスガ、餘程慎重ニ御協議ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス。

ソコデ私一ツ承ツテ置キタイノハ、鐵道省當局ニ於カレマシテハ、第一回ノ交通調整委員會ノ質問應答及ビ高速度交通營團法ノ貴衆兩院ニ於ケル質問應答、是ハ——伺フマデモナイノデアリマスガ、先刻來算

定ノ基礎ノ御標準ヲ伺ツテ居リマス。ト相當之ニ反シタヤウナ見積リモ出テ居ルヤウデアリマス。段々能ク御研究ニナラナケレバ詳シイコトハ判ラヌデアリマセウガ、政府當局ハ此ノ御言明ト云フモノハ——無論左様ナコトヲ御質問申上ゲルノハ失禮カモ知レマセウガ、是ハ何處マデモ嚴格ニ維持サレマシテ、サウシテ之ヲ中心トシテ臨マレル、若シ此ノ方針ニ反スルヤウナコトデアレバ、其ノ方ガ結局裁定ノ上ニ於テ良イトカ惡イトカ云フコトハ申セスカモ知レマセウガ、サウ云フコトハ無論維持サレテ御裁定ニナルベキガ當然デアラウト思フノデアリマスガ、其ノ邊ノ御見解ハ如何ナモノデアリマセウデ、之ヲ基礎トスベキヤ否ヤト云フヤウナコトニ付キマシテ一寸伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○大山幹事 只今堀内サンカラ大變有益ナ御話ヲ伺ツタノデアリマスガ「バス」ノ評價ト云フモノハ實ニ困難ナモノデアツテ、何等カノ基準ガナイト將來困ルコトガアルダラウト云フコトカラ今マデ色々機會ニ注意シテ置イタ、之ニ對シテ色々答モアツタガ、果シテ心配シテ居ツタヤウナ狀態ガ起ツタノデアアルガ、政府トシテ考ヘ方ハ元通りデアアルカドウカト云フ御話ノヤウニ承ツタノデアリマス。私共ト致シマシテハ交通事業調整ニ關シマス限り常ニ委員會ノ御意見ヲ尊重シ、又調整法ノ立法ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、常ニ事業者ノ自治的ノ協議ヲ本則ト致シテ居ルト云フコトニハ何等ノ變更ハ持ツテ居ナイノデアリマス。詰リ出來ルダケ自治的ニ御協議ヲ願フ、尙又ソレノ繼マラス時ニ於キマシテハ、委員會ノ權威アル方々ノ御意見ニ從ヒマシテ十分御審議ヲ願ヒ、公正妥當ナル御評價ヲシテ戴クト云フコトハ全ク從前ト同ジ考ヘデ

居リマス。

尙ホ御指摘ニナリマシタヤウニ、「ガソリン」ノ消費規正ノ強化ニ伴ヒマシテ、此ノ評價ガ益々困難ニナツテ來タト云フコトモ仰セノ通りデアリマシテ、私共ト致シマシテハ此ノ委員會ニ於テ十分ニ凡ユル角度カラ御研究ヲ願ツテ公正ナル基準ヲ御示シ願ヒタイト念願致シテ居ル次第デアリマス。簡單デゴザイマスガ是ダケ御答申上ゲマス。

○堀内委員 諄イヤウデアリマスガ、モウ一ツ伺ツテ置キマス。貴族院ニ於キマシテ大山政府委員ノ久保田議員ニ御答ニナツタ、先刻申上ゲマシタ、今日ノ營業狀態ハ地下鐵モ良クナツテ居ルガ、將來段々良クナルノダ、ダカラサウ云フコトモ大イニ考慮ノ中ニ入レテ置イテ考ヘナケレバナラヌト云フ御答辯ガアリマシタガ、全ク其ノ通りデアラウト思フノデス。「バス」事業ガ今日「ガソリン」ノ強度カ規正ニ遭ヒマシテ非常ニ今困難ノ狀況ニ陥ツテ居ルト云フコトハ御認メニナツテ居リ、又何人モ認メテ居ルダラウト思フ。デアリマスカラ之ヲ標準ニスルコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハ議論ノ餘地ハナイ。併シナガラ三年前ニ遡リマシタ所ガ、結局「ガソリン」消費規正ト云フモノハ事變以來繼續シテ居リマスカラ、相當計算ニモ不利益ヲ感ジテ來テ居ルダラウト思フノデアリマスガ、最近最モヒドクナツテ來タ。併シ鐵道省ノ御方針トシテハ既ニ「バス」事業ノ運賃モ二割乃至三割五分ノ借上ヲナサルト云フコトハ發表ヲナサレ、既ニ必要ニ應ジテ御認可ニ相成ツテ居ルト云フコトモアル。結局サウ云フヤウナコトノ爲ニ收入モ殖ニ、營業成績モ

上ツテ來ルト云フヤウナコトモ現ニアルノデアリマスガ、是ハヤハリ高速度鐵道ト同ジヤウナ意味ニ解釋シテ差支ナイ問題ト思ヒマスガ、左様ナコトモヤハリ考慮ニ入レテ考ヘテ行クベキモノデアルト云フコトハ御承認ニナツテ居リマスガ、其ノ點如何デアリマスガ、一應承ツテ置キマス。

○大山幹事 評價ニ付キマシテハ、先ニ申上ゲマシタヤウニ、此ノ委員會ニ於キマシテ十分御檢討ヲ願ツテ、其ノ御指示ニ依ツテ決定致シマスノガ建前デアリマシテ、此ノ際役所トシテノ見解ヲ申上ゲルノハ少シ如何カト思フノデアリマスガ、折角重ネテノ御尋ネデアリマスノデ、更ニ申上ゲタイト思ヒマス。今日「ガソリン」消費規正ガ非常ニ強度ニナツテ居リマス。此ノ際ラ標準ニ致シマシテ、ソレニ依ツテ總テ考ヘルコトハ少シ酷デアルト云フコトハ今尙ホ考ヘテ居リマス。ソレカラ情勢ノ變化ト云フモノハ今後如何様ニ變化スルカハ分リマセヌガ、併シ常識的ニ見マシテ只今ハ一番底デアルト云フ見方ガ正シイノデアラウト思フノデアリマス。運賃問題其ノ他ニ付テモ御觸レニナツタヤウデアリマスガ、當面ノ問題ニ付テ此處ダ兎ヤ角申上ゲルベキデハナイト思ヒマスケレドモ、一般論ト致シマシテ斯様ナ狀態ガ續キマス限リ事業ノ運営ノ根本ニ非常ナ變革ヲ受ケテ居ルノデアリマスカラ、此ノ狀態ガ永ラ續クト云フ見透シノ下ニ立ツナラバ、當然此ノ事業ノ確保ノ見地カラサウ云フ點ニ付テモ考究ヲ致スベキモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス。大體議會其ノ他デ申シマシタコトト同ジ考ヘテ持ツテ居ルト云フコトヲ御答申上ゲマス。

○堀内委員 御答辯ニ依ツテ大體諒承致シマシタガ、私ハ此ノ際希望ヲ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマス。私ガ業者ヲ保護スルカノヤウニ御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、私ハ東京ノ「バス」會社ニ於キマシテ十年前マデハ關係ガアリマシタケレドモ、十年後ノ今日一株ノ株主デモアリマセヌ。併シ全國ニ對シテ「バス」協會ノ會長ヲ本年ノ七月マデヤツテ居リマシタ。二十五年ニ互ツテ「バス」業界ヲ指導シテ居ツタ。青「バス」ノ如キモノハ二十五年前ニ私共ガ東京ニ拵ヘタ其ノ當時ハ、初メテノ事業デアリマシテ、非常ナ難關ニ逢著シ、損失ヲ重ネテ株主ニハ無配當ヲ重ネ、減資ニ減資ヲ重ネテ今日ニ至ツタノデアリマス。斯様ナコトヲ繰返シテ申ス必要モアリマセヌガ、東京市ニ於キマシテハ私共ガ帝都ニ青「バス」ヲ始メテ七年目ニ大震災ノ時以後御始メニナツタ。鐵道省ハ地方ニ省營「バス」ヲ更ニ七年ノ後、即チ私共ガ東京ニ於テ「バス」事業ヲ始メテカラ十四年後ニナツテ初メテ省營「バス」ヲ御始メニナツタト云フヤウナコトモアリマシテ、由來此ノ仕事ト云フモノハ企業ノ困難ト云フモノガ相當アルノデアリマス。現在ニ處シテ有體財產ガドウトカ收入ガ幾ラデアルトカ、唯サウ云フヤウナコトバカリヲ基準トシテ其ノ事業ヲ評價スベキモノデモナカラウカト思フノデアリマス。先刻來ノ段々ノ御話ニ依リマシテモ、御答辯ハサウデナク、御親切ノ籠ツタ御話モアルノデアリマスガ、今後事業ヲ盛シニスルハ、企業ヲ發展セシムル爲ニ——是ハ市デモ同ジデアリ會社デモ同ジデアリマスガ、ドウゾ餘リ企業心ヲ壓迫シナイヤウニ、企業ヲ壓縮シナイヤウニ、殊ニ時局柄色々企業ノ發展ヲ望ムコトデアリマシテ、サモナケレバ産業振興モ圖レナイノデアリマ

ス。殊ニ交通事業ノ如キハ公共事業デモアリマスカラ、其ノ邊モ一ツ考慮ノ中ニ入レテ——事業ヲ萎縮セシムルヤウナコトガアツテハ國家的ニ非常ニ惡結果ヲ生ズルノデハナイカト思フノデアリマス。申上ゲルマデモアリマセヌガ、事業ハ如何ニ企業者ガ苦心慘憺シテ今日ニ至ツタモノデアルカト云フヤウナコトモ——是ハ眼ニ見エナイ過程モ籠ツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナコトモ一ツ考慮ニ入レテ、唯安ク値切レバ宜イトカ、高ク賣レバ宜イト云フコトハ、ドツチモ良クナイド思ヒマスカラ、全ク適正ナ價格ヲ御決定ニナツテ、其ノ中ニ只今私ガ申上ゲマシタヤウナコトモ一ツ考慮ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイ。此ノ希望ニ依リマシテ私ノ質問ハ終了致シマス。

○議長(寺島副會長) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ。

○岡野委員 此ノ問題ニ付キマシテハ、吾々營業當事者ノ營業ノ狀態ヲ詳シク知悉致シテ居リマセヌノデ、尙ホ此ノ上色々ト材料モ集メマシタ上デナケレバ何トモ意見ハ申上ゲラレヌト思フノデアリマス。殊ニ是ハ極メテ慎重ニ適正ノ評價ヲ致サナケレバナラヌトスレバ……今此處ニ大シテ御質問モ御意見モナイノデアルナラバ、特別委員會ヲ作りマシテ、之ニ慎重審議ヲ御願ヒスルト云フコトニ致シタナラバ如何デアラウカ、而シテ其ノ委員ノ數竝ニ御指名ハ議長ニ御一任シタイト云フ考ヘヲ以チマシテ茲ニ動議ヲ提出致シマス。

○議長(寺島副會長) 只今岡野委員カラ此ノ諮問事項ヲ議長指名ノ特別委員ニ付託スルヤウニトノ御動議

デアリマスガ、如何ニ取計ラヒマセウカ。

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(寺島副會長) 御異議ガナイヤウデアリマスカラ、ソレデハ左様決定致シマス。就キマシテハ本諮問事項ヲ付託スベキ特別委員ノ方々ノ氏名ヲ續上ゲマス。

堀切善次郎君	喜安健次郎君
次田大三郎君	男爵、大藏公望君
岡野昇君	藤山愛一郎君
小竹茂君	湯澤三千男君
谷口恒二君	鈴木清秀君

以上ノ方々ハ御苦勞様デアリマスガ、何卒宜シク速カニ御審議下サルヤウニ御願ヒ致シマス。

○鈴木委員 此ノ際私ガ申上ゲルコトハ如何カト思ヒマスガ、皆様ニ御諮リ致シタイト思フノデアリマス。斯ウ實ハ本委員會ノ委員ノ中ニハ裁定ヲスル事業ニ直接御關係アル方々モアルト思ハレルノデアリマス。斯ウ云フ御方ニハ其ノ立場ノ關係カラ本諮問事項ニ對シマシル答申ヲ決定スル總會ニハ表決ニ御加ハリニナルコトヲ御遠慮サレトカ何トガ致シタイト思フゾゴザイマセヌガ、如何デゴザイマセウカ。固ヨリ特別委員會ニ於テハ今回裁定スベキ事業ノ關係當事者ノ方々ノ御意見ヲ十分御聴取リ下サルコトニ御取計ラヒ

ヲ願ヒタイト存スルノデアリマス。

○議長(寺島副會長) 只今鈴木委員カラノ御意見ガアリマシタガ、如何デゴザイマセウカ。

○五島委員 大體本委員會ノ委員デ裁定スル事業ニ直接關係ノアルノハ何人位デセウカ。

○大山幹事 六人位ゴザイマス。

○堤委員 關係ト云フトトウ云フ範圍デセウカ、甚ダドウモ其ノ御言葉ハ。

○鈴木委員 直接御關係ナル方ヲ申上ゲタノデスガ、私ハ大體直接裁定ヲ受ケル會社ノ役員ノ方或ハ市ノ理事者ノ方ガ直接利害關係ノアル御方ト解釋シテ差支ナイノデハナイカト思ヒマス。

○堤委員 直接デスネ、イヤ分リマシタ。

○議長(寺島副會長) 今ノ御意見ニ御異議ゴザイマセヌカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(寺島副會長) 御異議ガナイヤウニ認メマスカラ、ソレデハ左様取計ラヒマス。本日ハ之ヲ以テ閉會致シマス。御多用中色々有難ウゴザイマシタ。

午後三時三十五分閉會

秘

交通事業調整委員會第五回總會議事速記錄

(昭和十六年十二月二十日)

附ノ大サハ開定規格外5割

交通事業調整委員會第五回總會議事速記錄

昭和十六年十二月二十日(土曜日) 於鐵道省大會議室

午前九時三十分開會

交通事業調整委員會委員

會長

(缺席) 內閣總理大臣 東條英機

副會長

(缺席) 內務大臣 東條英機

鐵道大臣 八田嘉明

委員

(缺席) 內閣書記官長 星野直樹

(代理出席) 法制局長官 森山銳一

(代理出席) 企畫院次長 宮本武之輔

內務次官 湯澤三千男

(代理出席)

大藏次官 谷口恒二

陸軍次官 木村兵太郎

逓信次官 手島榮

鐵道次官 鈴木清秀

貴族院議員 侯爵西郷從德

同 藤沼庄平

同 子爵曾我祐邦

同 男爵中村謙一

衆議院議員 堤康次郎

(缺席)

同 山本厚三

同 紅露昭

同 田中好

從三位勳一等 堀切善次郎

正五位勳四等 太田哲三

(缺席)

從二位勳二等 子爵井上匡四郎

(缺席)

正三位勳二等 中川吉造

(缺席)

從三位勳二等 津島壽一

從三位勳二等 喜安健次郎

從四位勳二等 次田大三郎

從三位勳三等 男爵大藏公望

(缺席)

從四位勳三等 中川正左

從四位勳三等 岡野昇

從四位勳三等 挾間茂

(缺席)

從四位勳四等 大久保留次郎

勳四等 岩田宙造

堀内良平

藤山愛一郎

小竹茂

臨時委員

警視總監

留岡幸男

(代理出席)	東京府知事	川西實三
(缺席)		後藤國彦
(缺席)	從四位 勳三等	植木壽雄
(缺席)	正五位 勳四等	豐田豐吉
(缺席)	正六位	五島慶太
(缺席)		早川徳次
(缺席)		原邦造

四

○議長(八田副會長)

是ヨリ會議ヲ開キタイト存ジマスガ、ソレニ先立チマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス。私ハ先般瑞ラズモ鐵道大臣ヲ拜命致シマシタ。ドウゾ宜シク御願ヒヲ申上ゲマス。

是ヨリ會議ヲ開キマス。本日ハ會長デアリマス内閣總理大臣ガ缺席致サレマシタノデ、會長ノ指名ニ依リマシテ私ガ會長ノ職務ヲ代理致シタイト存ジマス。ドウゾ宜シク御願ヒヲ致シマス。

前同ノ委員會カラ只今マデノ間ニ於テ委員其ノ他ニ異動ガゴザイマシタノデ、其ノ異動表ヲ御手許ニ差上ゲテゴザイマス。之ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス。

ソレデハ只今ヨリ議事ニ入リタイト存ジマス。先月二十七日ニ開催致シマシタ前同ノ總會ニ於キマシテ、東京市及東京地下鐵道株式會社外七會社ヨリ裁定申請ヲシテ參リマシタ軌道、旅客自動車運輸事業及

旅客自動車運送事業ノ公正妥當ナル評價額竝ニ東京市及西武鐵道株式會社ヨリ裁定申請ヲ致シテ參リマシタ軌道ノ公正妥當ナル管理ノ報酬金額等ニ付テ御審議ヲ願フ爲ニ十名ノ特別委員ヲ御願ヒ申上ゲマシタ。特別委員ノ御方々ハ時局柄大變御繁忙中ニモ拘リマセズ、殆ンド連日ニ亙ツテ九回ノ會議ヲ御開キ下サイマシテ非常ニ御熱心ニ御慎重ニ御審議ヲ下サイマシテ、只今御手許ニ差上ゲデアリマスル答申案ヲ御作リ下サイマシタ次第デアリマス。今回ノ裁定案ハ關係當事者ノ數モ多クゴザイマスルシ、又複雑多岐ニ涉ツテ居ル問題デアリマスルカラ、御審議下サルニ當リマシテモ、亦此ノ案ヲ御總メ下サルニ致シマシテモ、洵ニ並々ナラス御苦心御努力ヲ賜リマシタノデ、議長ト致シマシテモ、亦鐵道大臣ト致シマシテモ、深ク厚ク感謝ヲ致ス次第デアリマス。只今ヨリ特別委員デ作製サレマシタ答申案ヲ朗讀致サセ、尙ホ此ノ答申案ニ付テ簡單ニ説明ヲ致サセタイト存ジマス。

〔菱谷幹事朗讀〕

諮問第二號ニ對スル答申案

東京市及東京地下鐵道株式會社外七會社ヨリ裁定申請ニ係ル軌道、旅客自動車運輸事業及旅客自動車運送事業ノ評價額竝ニ東京市及西武鐵道株式會社ヨリ裁定申請ニ係ル軌道ノ管理ノ報酬金額等ニ付キテハ別紙基準ニ基キ算定シタル左記價額等ヲ以テ公正妥當ナルモノト認ム

記

五

會社名	事業名	評	價	額
東京地下鐵道株式會社	軌道城東線			六
	バス			
大東京遊覽自動車株式會社	遊覽バス			
東京環狀乘合自動車株式會社	バス			
王子電氣軌道株式會社	軌道			
	バス			
城東乘合自動車株式會社	バス			
	遊覽バス			
東京橫濱電鐵株式會社	バス			
京王電氣軌道株式會社	バス			
葛飾乘合自動車株式會社	バス			
西武鐵道株式會社	軌道新宿線			
	管理ノ報酬金額等			
	管理ノ報酬金額年			
	圓			

軌道ノ維持補修費ハ東京市負擔トス
管理ノ受委託期間ハ二年トス

附記 一、昭和十六年十一月一日ヨリ引繼ノ日迄ニ於テ有形財産ニ異動ヲ生ジタルトキハ之ヲ前
記ノ評價額ニ加減ス

二、讓受代價ヲ東京市債ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ市債ノ時價ニ依リテ市債券面金額ニ
換算ス

市債ノ時價ハ鐵道大臣、内務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

(別紙)

算定基準

一、軌道(城東電車及王子電車)

軌道ノ評價額ハ公共團體ガ軌道ヲ強制買收スル場合ニ於ケル裁定ノ規定(軌道法第十九條、地方鐵道
法第三十一條乃至第三十三條)ニ準ジテ算定スルコト。即チ昭和十六年上期末ヨリ遡リ既往三年間ニ
於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ昭和十六年十月末日ニ於ケル建設費ニ乗ジタル額ヲ二十倍ス
ルコト

二、旅客自動車運輸事業(遊覽自動車事業ヲ除ク)

旅客自動車運輸事業ノ評價額ハ省營自動車開通ニ伴ヒ民營自動車ヲ補償スル場合ノ規定（自動車交通事業法第三十七條第三項、自動車交通事業法施行令第十三條、第十五條及第十六條）ノ趣旨ニ依リ算定スルコト。即チ

1 評價額ハ左ノ各號ニ依リ算出シタル金額ノ合計額トスルコト
 イ 昭和十六年上期末ヨリ遡リ既往三年間ニ於ケル平均益金年額ヲ算定シ之ヲ六・一六四倍シタル金額

ロ 昭和十六年十月末日ニ於ケル有形財産ノ時價ニ依ル評價額

ハ 昭和十六年十月末日ニ於ケル査定シタル興業費ヨリ有形財産ノ評價額ヲ控除シ殘額アルトキハ該殘額

2 興業費中ノ無形財産ニ付テハ左ノ各號ニ依ルコト

イ 地下鐵バスノ三百三十萬圓ハ之ヲ控除スルコト

ロ 其ノ他ハ取得ノ翌期ヨリ十年間ニ均等償却スルモノトシテ計算シ償却未済ノモノアルトキハ其ノ未済額ヲ認ムルコト

3 運賃値上等ニ依リ得ラルベキ將來利益ハ評價額ノ算定ニ當リ之ヲ考慮セザルコト

4 地下鐵バスニ付テ昭和十三年上期以前ニ賣出サレタル所謂大口同數券ノ運賃ニシテ昭和十三年下期以降ノ運輸收入ニ決算セラレ居ル額ニ付テハ之ヲ査定シテ昭和十三年下期以降ノ運輸收入ニ算入スルコト

5 東横バスニ付テハ營業所別ニ計算ヲ爲サズ之ヲ一括シテ行フコト

三、遊覽自動車事業（地下鐵遊覽、大東京遊覽及城東乗合遊覽）

遊覽自動車ハ普通自動車ト區別シテ計算スルモノトシ、昭和十六年十月末日ニ於ケル興業費ヲ以テ評價額トスルコト、但シ地下鐵遊覽ニ付テハ無形財産中十萬圓ヲ控除スルコト

四、西武鐵道株式會社軌道新宿線

軌道新宿線ノ管理ノ報酬金額ハ昭和十六年上期末ヨリ遡リ最近一年間ノ益金ヲ算定シ、ソノ金額ヨリ一割ヲ控除シタル額トスルコト

評價額一覽表

會社名	事業名	市側ノ評價額 (A)	會社側ノ評價額 (B)	裁定額 (C)	差額	
					A—C	B—C
東京地下鐵道	軌道城東線	4,722,000	6,017,400	5,537,400	+	480,000
	〃	8,754,000	15,353,400	12,051,100	+	—
	計	13,476,000	21,090,800	18,137,800	+	4,852,200
東京電氣鐵道	遊覽狀	41,000	291,100	41,600	+	249,500
	〃	2,148,000	4,645,000	3,197,000	+	1,448,000
	計	11,714,000	18,600,100	12,863,200	+	5,736,900
大東電氣鐵道	遊覽狀	1,598,000	1,949,500	1,859,500	+	90,000
	〃	13,312,000	20,549,500	14,722,700	+	5,826,300
	計	759,000	2,170,000	887,500	+	1,282,500
東武鐵道	遊覽狀	759,000	5,500	5,500	+	—
	〃	0	2,175,500	893,000	+	1,282,500
	計	665,000	1,381,600	933,900	+	947,700
東京電氣鐵道	遊覽狀	325,000	725,000	567,700	+	157,300
	〃	86,000	133,200	114,600	+	—
	計	30,812,000	53,881,000	38,608,300	+	15,272,700
西武鐵道	軌道新宿線	200,000	190,700	154,000	—	—

○大山幹事 本答申案ノ内容ニ付キマシテハ後刻大藏特別委員長カラ御話ガアルノデアリマスガ、御聴キニナリマス便宜ノ爲ニ記載シテアリマス事項ノ主ナルモノニ付キマシテ、其ノ意味合ニ付テ私カラ簡單ニ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス。

第一頁ニ會社名、事業者名ノ下ニ評價額……圓トアリマシテ空欄ト致シテ居リマスガ、是ハ別ニ差上ゲテアリマス評價額一覽表ノA、B、CノCノ數字ガ入ル譯オノデアリマス。左様御諒承ヲ御願ヒ致シマス。初カラ數ヘマシテハツノ會社ノ分ハ讓受渡シモノデアリマス。最後ノ西武鐵道ノ新宿線ノ電車ハ管理ノ受委託ノ問題デアリマス。先ツ附記ノ一ニ付テ申上ゲマス、評價額ハ十月末日現在トシテ算定ヲ致シタノデアリマスカラ、十一月一日以降實際引繼ギマス日マデニ自動車ガ増シタトカ減ツタトカ、有體財産ニ異動ガ生ジマシタ時ニハ之ヲ評價額ニ加減スルト云フコトヲ書イテアルノデアリマス。附記ノ二ハ評價額ハ現金支拂ヲ示シテ居ルノデアリマスカラ、若シ讓受代價ヲ市價ヲ以テ交付スル場合ニハ市價ノ時價ニ依リマシテ換算スルト云フコトヲ書イタノデアリマス。

次ニ算定基準デアリマスガ、軌道ニ付キマシテハ結局地方鐵道法ニ依ル買收ト同ジ計算ヲスルト云フコトナノデアリマス。此ノ地方鐵道法ノ買收規定ニ依リマス、過去三年間ノ建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ算定致シマシテ、此ノ益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ノ建設費ニ掛ケマシテ、其ノ額ヲ二十倍スルノデアリマス。詰リ益金ノ年額ヲ五分還元スルコトニナルノデアリマス。ソシテ此ノ過去三年間ハ十六年ノ上期

カラ遡ツテ三年トスル。又買収ノ日ニ當ルモノヲ十六年ノ十月末日ト看做スト云フコトニナルノデアリマス。

次ニ遊覽「バス」ヲ除キマシタ普通ノ「バス」ニ付テデアリマスルガ、之ニ付キマシテハ省營「バス」ガ開通シマシタ場合民營「バス」ヲ補償スル規定ヲ採入レマシテ買収ノ場合ニ當依メヨウト云フノデアリマス。其ノ補償ニ關スル規定デハ、補償金額ハ先ヅ第一ニ省營「バス」ノ開通前三箇年間ノ益金ヲ基礎ト致シマシテ常態ト認メラルル益金ノ年額ヲ出シ、其ノ七年分ヲ算定スルノデアリマス。詰リ七年分ノ益金ヲ第一ニ出シマス。第二ニ興業費カラ有體財産ノ時價ニ依ル評價額ヲ差引キマシテ殘額ガアリマス時ニハ其ノ殘額ヲ認メルノデアリマス。此ノ第一ト第二トノ和ヲ以テ補償ノ金額トスルト云フノデアリマス。買収ノ場合ニ於キマシテハ此ノ補償ノ場合ト異リマシテ有體財産ヲ買フ方ガ引取リマスノデ、此ノ補償ノ金額ニ有體財産ノ評價額ヲ加ヘテ買収ノ價格トスルト云フコトニナルノデアリマス。詰リ算定基準ノ方デ御覽願ヒマスト、「1」ノ「イ」ト「ハ」トガ補償ノ額ニナリマス。ソレニ「ロ」ヲ加ヘタルモノガ買収額ニナルノデアリマス。此ノ「イ」ニアリマス六・一六四倍ト云フコトニ付テ申上ゲマスガ、前ニ申上ゲマシタヤウニ利益ノ七年分ヲ計算スルノデアリマスガ、此ノ利益ノ七年分ヲ年々渡サナイデ一度ニ渡シマスノデ、年利三分五厘ト致シマシテ金利ハ豫メ差引ク爲ニ、七倍シナイデ、「ホフマン」式計算ニ依ツテ六・一六四倍スルノデアリマス。尙ホ「イ」ニ「十六年上期末」トアリマスノハ、前ニモ申シマシタヤウニ過去三年間ノ計算ノ起算點

ヲ示シタモノデアリマス。又十六年十月末日トアリマスノハ、事業ノ受渡シノ日ヲ其ノ日ニ想定シタト云フコトニナルノデアリマス。以上「1」デ補償規定ヲ應用シマシテノ買収價格ガ算定サレル譯デアリマス。

「2」以下ハ其ノ各論ニ當ル譯デアリマス。「2」デハ興業費ノ中ニハ所謂營業權ヲ如何ニ査定スルカノ問題ヲ扱ツテ居リマス。「イ」ニ付キマシテハ全然認メナイ。「ロ」ニ付キマシテハ十年間ニ均等償却スルモノトシテ計算ヲシ、償却未済ノモノガアルナラバ其ノ未済額ヲ營業權トシテ認メルト云フコトニナルノデアリマス。茲デ前ノ「1」ノ「ハ」ヲ御覽願ヒタイノデアリマスガ、其ノ中ニ査定シタル興業費ト申シマスノハ、帳簿上ノ興業費、此ノ中ニハ帳簿上ノ有體財産ト無形財産トガアル譯デアリマスガ、此ノ帳簿上ノ興業費ヲ査定スルト云フコトデアリマシテ、此ノ帳簿上ノ興業費ノ中ニアリマス無形財産ハ只今ノ「2」ニ依ツテ査定致スノデアリマス。斯ル査定ヲ致シマシテ、興業費カラ有體財産ノ時價ニ依ル評價額ヲ引キマシテ、殘額ノアル時ハ其ノ殘額ヲ評價額ノ一部トシテ加ヘルト云フコトニナルノデアリマス。

次ニ「4」ニアリマス大口同數券ト申シマスノハ、只今ハ賣ツテ居リマセヌガ、以前同數券ヲ一度ニ總メテ大口ニ賣出シマシテ煙草屋ナド徐々ニ賣捌イテ居マシタモノヲ指スノデアリマス。其ノ大口同數券ノ運賃ノ決算ノ仕方ヲドウスルカト云フコトヲ決メテ居ルノデアリマス。運賃ノ決算ヲ査定スルト云フコトヲ申シタルノデアリマス。

三ノ遊覽自動車ト申シマスノハ、市内見物ナドニ走ツテ居ツタモノデアリマシタガ、昨年ノ十月一日以來

時局ノ關係上休業ヲ致シテ居ルモノデアリマス。ソレデ普通ノ「バス」ト區別シテ扱ツタノデアリマス。

其ノ他ニ付キマシテハ別ニ只今申上ゲル程ノコトモナイカト考ヘマスガ、何レ特別委員長ノ御報告ノ後デ御質問ガゴザイマシタナラバ御答ヘ申上ゲタイト考ヘマス。以上簡單デゴザイマスガ、御説明ヲ申上ゲマス。

○議長(八田副會長) ソレデハ是ヨリ特別委員長大藏男爵ヨリ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告願フコトニ致シタイト存ジマス——大藏委員長

○大藏委員 只今カラ今幹事ガ讀上ゲラレマシタ裁定案ノ經過並ニ結果ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス。經過ヲ申上ゲマス前ニ、若干ノ前提ヲ申上ゲルコトヲ御許シ願ヒタイ。

先ヅ第一ニ裁定ニ對スル委員會ノ氣持デアリマスルガ、實ハ私モ個人トシマシテ今日マデ百以上ノ委員長ノヤウナ仕事ヲ致シマシタガ、今回ノ委員會程委員長ト致シマシテ責任ヲ感ジタロトハナイデアリマス。ドウカ最モ公平ニ、最モ關係ノ方々ノ不平ガナイヤウニ正シイ意味合ニ於ケル裁定ヲ致シタイ、又致サレタイト云フコトヲ只管念願シテ居ツタノデアリマスルガ、此ノ氣持ハ特別委員ノ方々全體ノ氣持デアツタト存ジマス。或ル場合ニ其ノ御氣持ニ關シマシテ御相談申上ゲタ所ガ、全部ノ方々ガ同様ノ氣持デアル。恐ラク此ノ種ノ裁定ハ初メテデアリマスルノデ、此ノ裁定ノ方法ナリ、内容ナリガ或ハ他ノ「バス」買收ノ基準トナルノデヤナイカト云フ風ナ考ヘスラ言ハレタ方モアリマシタ。サウ云フ風ナコトヲ頭ニ入レマシ

テ此ノ問題ヲ慎重ニ審議シタ次第デアリマス。

尙ホ委員會ヲ開キマス當初ニ於キマシテ、一體此ノ委員會ノ裁定ニ關シマシテハ、軌道及ビ「バス」ノ買收ニ際シテ政府ガ嘗テ議會ナリ又ハ其ノ他ノ機會ニ於テ種々言明サレタコトガアリマスガ、其ノ御言明ト云フモノヲ裁定ノ方針トスルノカ、若クハ委員會ガ獨自ノ立場ニ於テ判斷スルノカト云フコトヲ御相談申上ゲマシタ所、滿場一致ヲ以テマシテ委員會ハ政府ノ言明ヲ十分ニ考慮シツツ獨自ノ考ヘニ於テ此ノ問題ヲ考ヘルベキダト云フ風ニ決シタノデアリマス。隨テ本裁定ハ委員會ノ獨自ノ考ヘニ於キマシテ裁定致シタ次第デアリマス。

ドウ云フ風ナ順序ニ之ヲ裁定スベキカト云フコトニ付キマシテハ、次ノヤウナ手段ヲ執ルコトニ決定致シタノデアリマス。先ヅ鐵道省ノ當局ニ御願ヒシマシテ、從來ノ鐵道軌道買收ノ方針、又自動車交通事業法施行令及ビ補償規則ノ内容實況ト云フモノヲ御伺ヒシマシタ。サウシテ鐵道省カラ見タ市ト各社ノ間ノ言ヒ分ノ差點ト云フモノヲ詳細ニ伺ツタノデアリマス。次イデ市ノ當局ニオ出デテ願ヒ、市ノ言ヒ分ヲ承リ、又各社ノ方ニオ出デテ願ヒ、各社ノ言ヒ分ト云フモノヲ承知致シマシタ。更ニ吾々特別委員ダケデハ或ハ御意見ノアル方ノ意見ヲ御伺ヒ洩シテハ相濟マスト存ジマシタノデ、皆様方ニ御通知申上ゲ、御意見ノアル方ハドウカ來テ御話ヲ願ヒタイト云フ御願ヒヲ致シマシテ、特別委員外ノ四人ノ方ノ御出席ヲ得マシテ十分ニ御意見ノ御吐露ヲ得タノデアリマス。

次イデ委員長カラ數字ニ關係セズ、市並ニ各社ト云フコトニ關係セズニ、此ノ市ト社ト間ニ根本的ノ考ヘ方ガ違フト云フ風ナ點ヲ十一抽出シマシタ。サウシテ其ノ十一ノ問題ニ關シ、數字的デナク、根本ノ考ヘ方ニ付テ協議ヲ致シマシタ。之ヲ後ニ申シマスルヤウナ裁定ノ方法ニ依ツテ其ノ方針ヲ決定シタノデアリマス。ソレガ終リマシテカラ、其ノ方針ニ基イテ各社ノ數字ヲ計算シ、更ニ各社毎ニ特殊事情ガアリマスノデ、其ノ特殊事情ニ付テ檢討致シマシテ、斯クシテ一社毎ニ市トノ關係ニ付テ裁定ヲ致シタノデアリマス。斯ウ云フ風ナ裁定ノ手段ニ依リマシテ裁定スルコトニ致シマシタ。

唯御斷リシナケレバナラヌノハ、數字上ノ問題ニナリマスルト、委員ノ方々ガ一々此ノ數字ガ宜イノカドウカト云フヤウナコトノ判斷ハ到底難シイノデアリマシテ、數字ハ一切鐵道省ニ御委セラスル。例ヘバ無形財産ノ査定ノ如キ、或ハ補修費ヲドノ程度ニ見ルカト云フヤウナ問題ニナリマスルト、或ハ場合ニ依リマシテハ現地ニ技師ヲ派遣シテ、此ノ補修費ハモウ少シ増スベキモノデアルト云フ風ナ實地ノ檢證ヲ必要トスルヤウナ場合モアリマスノデ、斯ノ如キ査定ハ悉ク之ヲ省ノ査定通りニ裁定スル、省ノ御考ヘ通りニ從フト云フコトニ致シタノデアリマス。即チ數字ニ關シマシテハ、委員會ニ於キマシテ其ノ數字ハ多カラウ、少ナカラウト云フヤウナ議論ハ致サナカツタノデアリマス。先ヅ大體斯ウ云フ風ナヤリ方ヲ以テ今同ノ裁定ヲ致シマシタ。

是カラ私カラ其ノ内容ヲ御説明申上ゲマスルガ、唯速記録ガヤツト昨日ノ朝大凡ソノモノヲ配付サレタ

ト云フ程度デアリマスルシ、何分ニモ九回ニ互リ非常ナ熱心ナ御討議モアリマシタノデ、到底ソコニ行ハレマシタ質問等ヲ詳シク御紹介スルコトハ出來ナイノデアリマス。ドウカ詳シイコトハ後日發送セラレル速記録デ御覽ヲ願ヒタイ。又私ヨリ今日御紹介申上ゲル質問應答若クハ議論ニ付テ若シ私ノ申上ゲルコトニ間違ヒガナリマスルナラバ、ドウカ之ヲナサツタ各委員ニ於テ親シク御説明ヲ願ヒタイト云フコトヲ豫メ御願ヒシテ置キマス。又速記録ノ中ニハ度々「速記中止」ト云フ所ガアリマス。最後ニ數字的ノ檢討ヲ致シマシタ時分ニハ祕密會ヲ開キマシテ速記ヲ中止致シマシタガ、其ノ以外ノ速記ヲ中止シマシタ場合ハ、全部餘リ細カイ議論デ、一々速記ニ取ルト云フコトハ、速記者モ取リニクイシ、又言フ人モ時間ガ掛ツテ仕方ガナイト云フノデ、細カイ點ダケハ速記ヲ止メテ隨意ニ意見ノ交換ヲ致シ、若クハ質問應答ヲシマシタ分ガ速記録ニナイノデアリマシテ、別段祕密ト云フコトハナイノデアリマス。唯一ツ潤滑油ノ配給ハ國家ノ方針モアリマスルノデ、其ノ點ダケハ速記録ヲ止メテ打明ケテ潤滑油ノ配給ニ關スル御説明ヲ承リマシタ。此ノ以外ハ總テ祕密ナ問題デハアリマセヌ。唯速記ヲ取リマスルコトガ餘リニ細カクナリマスノデ停止シタモノデアルト云フコトヲ御諒承置キヲ願ヒタイノデアリマス。

ソレカラ委員ノ方々並ニ議長ニ御願ヒシタイノハ、是カラ私ガ内容ヲ申上ゲマスルガ、後カラ色々御質問モ起リマセウ。其ノ御質問中委員會ニ於テ斯ウ云フ質問ガアツタカドウカト云フ風ナ御質問ニ對シマシテハ私カラ出來ルダケ御返事ヲ申上ゲマスルガ、内容ニ互リマシタ御意見的ノ御質問ト云フ風ナモノニ對

シマシテハ悉ク幹事ニ於テ之ヲ致サセマスノデ、是ハ豫メ御諒承置キヲ願ヒタイノデアリマス。

答申ノ内容ハ今幹事カラ讀上ゲタ通りデアリマス。簡單ニ經過ヲ申上ゲマスルト、十一月二十九日午前九時半カラ十二時半マデニ第一回ノ會合ヲ開キマシテ、此ノ日ハ鐵道省カラ鐵道、軌道、「バス」買収方針ノ説明竝ニ今般ノ市ト各社トノ意見ノ相違ノ内容ノ説明ヲ承リマシタ。更ニ同日午後二時カラ夕方六時マデニ互リマシテ東京市ノ方々ニ出デテ願ヒマシテ、豊田助役、植木局長、中屋調整部長ト云フ方々ガ御見エニナリマシテ東京市側ノ言ヒ分ヲ説明サレマシタ。第二回ハ十二月二日午前九時半カラ十二時マデ東横社長ノ五島サンガ出デニナリマシテ、城東電車、青「バス」、遊覽「バス」、黄「バス」、大東京遊覽「バス」、葛飾「バス」、東横「バス」ニ關スル所ノ言ヒ分竝ニ市ノ言ヒ分ガ不當デアルト云フコトノ御説明ヲ承リマシタ。此ノ場合ニ中島地下鐵道社長、黒河内黄「バス」社長、其ノ他多數ノ方ガ御列席デアリマシタ。第三回ハ十二月四日午後一時半カラ六時十分マデ、此ノ時ハ京王電車ノ算事務取締役、中澤自動車課長、後藤總務課長ガ見エマシテ、京王電車ニ關スル言ヒ分ヲ承リ、王子電車カラ本間社長、村井常務取締役、小川總務課長ガ出デニナリマシテ、王子電車ノ言ヒ分ヲ御主張ニナリマシタ。城東「バス」カラハ青地社長、三橋取締役、大畑支配人ガ出デニナリ、西武鐵道カラハ坂口社長、大平總務課長ガ出デニナリマシテ、ソレレノ關係ノ事業ニ對スル御意見ヲ御述ベニナリマシタ。更ニ又東横ノ五島サンガ再度御見エニナリマシテ、五島サンニ對スル質問ヲ繼續シタ次第デアリマス。第四回ハ十二月五日午前九時

半カラ十二時マデ東京市ノ方ガ再度御出席ニナリマシテ東京市ノ言ヒ分ニ關シ御説明モアリ、質問モ致シタノデアリマス。此ノ日カラ先程申シマシタ重要ナ諸點ニ付キマシテノ審議ヲ始メタノデアリマス。第五回ハ十二月六日午前九時半ヨリ開キマシテ先程申シマシタ特別委員外ノ委員ノ方々、曾我サン、田中サン、堀内サン、堤サン、此ノ四人ガ御出席ニナリマシテ御意見ノ御吐露ガアリマシタ。午後ハ續イテ重要事項ニ關スル所ノ協議ヲ致シマシタ。第六回ガ十二月九日午前九時半カラ十二時マデ、第七回ガ十二月十日午前九時半カラ十二時半マデ、第八回ガ十二月十一日午後一時半カラ五時半マデト云フ風ナ同數ヲ重ネマシテ、重要事項竝ニ各社毎ノ事情及ビ最後ニ數字的ノ檢討ヲ致シタノデアリマス。サウシテ昨日午前中ニ最後ノ決定案ニ付キマシテ審査シタ次第デアリマス。是ガ大體ノ本委員會ヲ開キマシタ經過デアリマス。

次ニ内容ニ入リマス前ニ、皆様方ノ御參考マデニ特別委員外ノ方々ガ出デ下サイマシテ種々御意見ヲ御吐露下サイマシタ内容ヲ極メテ簡單ニ御紹介申上ゲマス。一委員カラ斯ウ云フコトノ御申出ガアリマシタ。軌道ノ買収方針ニ付テハ別ニ異存ナイガ、「バス」ニ付テハドウモ補償規則ヲ鐵道省ガ決メテアルガ、一體其ノ補償規則ト云フモノハ潰レ掛ツタヤウナ店終ヒノモノヲヤルモノデ、之ヲ繁昌シテ居ル時分ノモノニ對シテ適用スルト云フ風ナコトハ面白クナイ、是ハ不當ダ補償規則ヲ適用スルコトハイケナインダ。又市ノ裁定シタ有體財産ノ調査ガ個々ノ物件ヲ評價シタノハ無理デ、此ノ點モ面白クナイ。結局利益還元

ノ方法ガ一番宜イと思フ。ソレニハ成ベク長イ期間ノ營業成績ヲ根據トスベキデ、例ヘバ戰前三年ト戰後三年位考慮シナケレバナラヌデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ言ハレタノデアリマス。

又一委員ハ、補償規則中ニ權利金ヲ七年分ト計算シタノハ無理デ、當時民間ハ之ニ對シテ大反對ヲ唱ヘタシ。否議會デ種々論議サレタ結果、省ハ營業者ト適當ニ協議シ、初メテヤツト民間ノ不平ヲ抑ヘテ居ル狀態ダ。一體市ガ經營シテ損スルカ得スルカト云フコトハ市ノ經營振リ如何ニアル。市ガヤツテ損シテモ、民營ナラ利益ガアルト云フ場合ガ非常ニ多イ。イクラ高ク買ツテモ經營ガ上手ナラ利益ガ舉ルシ、安ク買ツテモ經營ガ下手ナラ損ガ立ツト云フ風ニ自分ハ思フ。大阪ノ「バス」買收ノ例ニ依ルノガ一番宜インデヤアルマイカ。マアイクラ議論シテ居ツテモ基準ガナイナラ仕方ガナイカラ、此ノ先例ヲ採ルノガ宜イト思フ。唯今日ノヤウナ非常時局ノ時「ケース」ヲ取ルノハ面白クナイノデ、ヤハリ平時ノ場合ノ利益ヲ基準トスルノガ宜イト思フ。若シ補償規則ニ依ルトナレバ、必ズ各地方ニ色々ナ反對モ起ラウシ、今後幾多ノ「バス」買收ニ對シテ民事訴訟ガ起ル虞レモアラウト云フ風ナ御意見ノ御開陳モアリマシタ。

又他ノ委員カラハ、此ノ兩者ノ御意見ハ全ク御尤モデ自分モ同感デアル。一ツノ事業ニ付テハ沿革モアリ、種々ノ事情モアリ、ソレヲ個々ノ評價デ決メヨウトスルコトハ無理ダ。之ヲ今市ノ言フヤウナ方法デ買フト云フコトハ、全國ノ交通調整上ニ大ナル支障ヲ與ヘヤセヌカト云フ風ナ御意見ノ御開陳ガアツタノデアリマス。若シ私ノ申上ゲ方ガ間違ッテ居リマシタナラバ、ドウカ御發言ノアリマシタ方カラ直接御訂

正ヲ御願ヒ致シマス。

斯クシテ、相談事項トシマシテ重要ナ十一點ノ審議ニ入ツタノデアリマス。其ノ十一點ト申シマスルノハ、第一ニ軌道買收ノ算定基準ヲドウ決メルカ。第二ニ「バス」買收ノ算定基準ヲドウ決メルカ。第三ニ「バス」ノ利益ヲ計算スルノニ過去一年ヲ採ルノカ、二年平均ヲ採ルノカ、又ハ三年平均ヲ採ルノカ、若クハ其ノ他ニ宜イ方法ガアルカドウカ。第四ニ過去一年ト云フガ、ソレハ昭和十六年度ノ下半期ヲ入レルカドウカ。第五ハ利益還元ノ方法トスルナラバ、其ノ還元率ヲドウスルノカ、又ハ「ホフマン」式ニ依ル場合三分五厘デ計算スルノカ、四分二厘デ計算スルノカ。第六ガ會社ガ他ノ會社ヲ買收又ハ合併シタニ對シ實際ニ出資シタ興業費中ノ營業權ヲ認メルカ、若クハ其ノ一部ヲ認メルカドウカ。第七ニ興業費ノ壓縮ヲ東京市ガ主張シテ居ルガ、斯ル壓縮ヲ認メルカドウカ。第八ガ運賃値上等ニ依ツテ得ラルベキ將來利益ヲ直接買價價格中ニ考慮スルカドウカ。第九ガ遊覽「バス」ノヤウナ事業中止ノモノヲドウ考ヘルカ。第十、青「バス」ト遊覽「バス」ヲ一ツニシテ計算スルカ、別々ニ計算スベキカ。第十一ガ東横ノ場合ノヤウニ同ジ一社内ノ區分毎ニ譲渡價格ヲ計算スルコトヲ認メルヤ否ヤ。是ハ東横ノ主張デアリマシタ。此ノ十一ノ點ニ付キマシテ十分ノ論議ヲ重ネタノデアリマス。此ノ十一ノ點ガ決リマシタ後ニ之ヲ當嵌メテ各社毎ニ一檢討致シマシテ、其ノ各社ノ特殊事情ニ付テ更ニ檢討ヲ致シ、裁定ヲ致シタ次第デアリマス。只今カラ此ノ相談事項十一ノ一ツノ論議竝ニ結果ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス。

第一ガ軌道買収ノ算定基準ヲドウ決メルノカ。是ハ東京市ハ地方鐵道法ノ方式ニ據ツテ欲シイト云フコトヲ主張致シマシタ。會社側デハ城東線電車ハ其ノ儘デ宜シイト云フノデ東京市ノ意見ト全ク同一デアリマシタガ、王子電車ノ方ハ地方鐵道法ノ方式ニ據ルコトハ宜シイガ、最近一年間ノ益金ノ四分二厘還元ノ方法ニ據ツテ貫ヒタイト云フコトノ意見ガ兩者ノ間ニ違ツテ居ツタノデアリマス。併シ結局軌道ニ關シマシテハ地方鐵道法ノ方式ニ據ツテ宜シイト云フコトヲ兩方トモ御主張デアリマスシ、又委員會ノ全部ガヤハリソレガ宜インダト云フコトニ決定致シマシテ、此ノ點ハ大シタ論議ハナカツタノデアリマス。唯一委員カラハ斯ウ云フ意見ガ出マシタ。公共團體ガ買収スル、今回ノヤウニ東京市ガ買収スルト云フ風ナ場合ニハ、是ハ地方鐵道法ニ據ルノガ當然ト思フガ、會社ガ交通調整ノ必要上他ノ會社ノ買収方ヲ命ゼラレタト云フ風ナ場合ニハ、果シテ此ノ地方鐵道法ニ準據スルガ宜イカドウカト云フコトニ關シマシテハ自分ハマダ疑議ヲ持ツテ居ル。併シ此ノ場合ハ東京市ガ相手デアルカラ地方鐵道法ニ準據スルコトニハ賛成スルノダト云フ意見ガアリマシタ。第一ノ軌道ノ算定方法ニ付キマシテハ地方鐵道法ノ方式ニ據ルト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。唯王子電氣ノ最近一年間ノ問題竝ニ益金ノ四分二厘ノ問題ニ關シマシテハ、後ニヤリマシタノデソレマデ一ツ御待チテ願ヒタイノデアリマス。第二ハ「バス」買収ノ算定方法デアリマス。此ノ問題ガ今回ノ裁定ノ中心問題デアリマシテ、一番多クノ時間ト議論ガ闘ハサレタノデアリマス。又後カラ申上ゲマスルヤウニ、此ノ問題ハ滿場一致ト云フ譯ニ參リマセヌデ、多數決ノ方法ニ依ツテ決マ

ツタ次第デアリマス。一體「バス」買収ノ方法ニ關シマシテハ、先程申シマシタヤウニ補償勅令ニ據ルコトガ宜イノカ、若クハ益金還元ノ方法ニ據ルノガ宜イノカト云フコトハ根本的ノ問題デアリマシテ、鐵道省ハ補償勅令ニ依ツテヤツテ居リマスルガ、是ハ省營「バス」ヲ動かス時分ニ從來ソコニアツタ民間「バス」ガ到底立行カナクナルト云フ風ナ場合ヲ考慮シテ、謂ハハ店終ノヤウナ場合ヲ考慮シテ作ツタ法律デアアルノデアリマス。デアリマスルカラ、今回ノ如ク立派ニ營業シテ居ルモノ、非常ニ繁昌シテ居ルヤウナモノヲ買フ場合ニハドウカト云フノガ何ト致シマシテモ此ノ問題ニ關スル議論ノ中心デアアルコトハ勿論デアリマス。益金還元ノ方法ハイケナイ、補償勅令ニ依ツタ方ガ宜インダ、斯ウ云フ御議論ノ主ナ理由ヲ考ヘテ見マスルト、第一「バス」ト云フモノハ鐵道又ハ軌道ニ比ベルト非常ニ事業ノ安定性ニ乏シイ。益金ガ非常ニ殖エタリ、又非常ニ減ツタリ、種々變化ガ多イト云フノデ、此ノ益金還元ノ方法ニ據ルト、良イ「バス」ハ洵ニ宜シイガ、又惡イ「バス」ニナルト非常ニ氣ノ毒ナ點ガ多イ。ドウモ此ノ益金還元ノ方法ヲ執ルコトハ面白クナイ。第二ニ適正ナル還元率ヲ定メルコトガ難シイ。會社ノ方ハ七分ト云フコトヲ主張シテ居ラレルガ、果シテ七分ガ宜イカ、八分ガ宜イノカ、五分ガ宜イノカト云フ風ナ還元率ヲ定メルト云フコトガ非常ニ難シイ。第三ハ收益力ノミニ依ルンダカラシテ過大評價ノ弊ガ生ジ易イ。第四ガ收益力ノ低イモノ若クハ赤字ノモノニ對スル評價ガ非常ニ困難ダ。第五ガ何トシテモ補償勅令ナラバ稍、法規的ナ根據ガアルガ、益金還元ノ方法ニ關シテハ法規的ノ根據ガナイノデ、ドウモ現在デハ先ヅ補償勅令ニ據ルガ宜カラウ、

斯ウ云フ風ナ意見ガ主ナ益金還元ノ方法ニ反對サレタ方々ノ御意見デアツタヤウニ存ジマス。

更ニ要債勅令ニ據ルコトガイケナインダト云フ方々ノ御意見トシマシテハ、先程申シマシタヤウニ、一體補償勅令ト云フモノハ店終ヒノヤウナ場合ノ規定デアツテ、繁昌シテ居ルモノニ對シ適用スルノハ全ク不都合ダト云フコトガ第一デアリマス。第二ハ一體七年分ト云フノガオカシイデヤナイカ。七分分ガ宜イカ惡イカト云フコトハドウモ全ク據ルベキ根據ガナイ。唯ボンヤリ省ガ七年ト決メタカラト云フテ、七年ガ宜イカ惡イカト云フコトニ關シテハ之ヲ査定スルコトガ難シイ。第三ニハ組織體トシテ見ルベキ有體財產ヲ個々ノモノトシテ之ヲ評價スルト云フコトハイカヌ。總メテハ組織體トシテ計算シナケレバイカヌデヤナイカ。第四ニハ所謂營業權ノ査定ガ非常ニ難シイ。補償勅令ノ中ニハ營業權ト云フモノガ入ツテ居ルガ、ソレガ非常ニ難シイ。是ハ大體皆サンノ意見ヲ綜合シテ見マス、斯ウ云フ點デアツタヤウニ思フノデアリマス。是亦尙ホ足ラヌ點ハ此ノ點ニ關シテ十分ノ御意見ノ御陳述ガドナタカラアルノカトモ存ズルノデアリマス。

益金還元ノ方法ニ依ツテドノ位ノ程度ノモノカラ上ハ益金還元ノ方ガ宜イカ、ドノ位ノ程度カラ下ハ益金還元デナイ方ガ宜イカト云フコトハ、大體今一割二、三分ノ利益ヲ擧ゲテ居ルモノハソレ以上ノモノナラバ益金還元ノ方法ガ宜イガ、其ノ以下ノモノダト、ドウモ益金還元ノ方法ニ依ツテ計算シタノデハ損ダト云フ風ナ御説明ガアリマシタ。

大阪市ノ「バス」買収方法ハ實際ドウダツタカト云フコトニ關シマシテハ詳細ナル御質問ガアリ、ソレニ對シ幹事ノ方カラ詳細ナ返事モアツタノデアリマス。ソレカラ其ノ當時喜安サン——是ハ委員デハアレヤスルガ、補償規則ヲ決メラレタ當時ノ鐵道當局關係者デアリマシタノデ、大分前ノコトデアリマスルガ、喜安サンハ自分ノ記憶ヲ喚起シテ、其ノ當時サセア、云フ風ナモノガ出來タカト云フコトノ御説明ガアリマシタ。喜安サンモ、大分古イコトデ或ハ忘レタ點ガ多イト思フガ、ト云フ風ナコトデ斯ウ云フ御説明ガアツタノデアリマス。アノ補償規則ト云フモノヲ決メタ當時ニ於キマシテハ「バス」事業ハ會計收支ガ殆んど明カデナカウタ。隨テ「バス」事業ノ利益金ト云フモノガドノ程度アツタカサツバリ分ヲナイ。多クハ個人營業デ、一人デ一臺自分ノ「バス」ヲ持ツテ營業シテ居ツテ、收支關係ガサツバリ分ヲヌト云フノガ相當アツタト云フノデ、其ノ當時鐵道買収方法ニ依ルコトモ考ヘタンダケレドモ、利益金其ノモノガ分ラナイト云フデハ到底是ガ適用出來ナイト云フノデ、已ムヲ得ズア、云フ風ナ規則ガ出來タヤウニ考ヘル。尙ホ「バス」ハ其ノ財產ガ異動性頗ル大キク、ソレガ興業費ノ大部分ヲ占メテ居ルノデ、是ハ鐵道ノヤウニ非常ニ異動セザル財產ガ多イモノト同一ニ計算スルト云フノハ面白クナイト云フ議論モアツタヤウニ思フ。又鐵道ハ自分ノ道路ヲ使ツテ居ル。然ルニ「バス」ハ只デ、若クハ道路ノ補修費ノ一部分ヲ負擔スルコトガアルガ、大體ニ只デ道路ヲ使ツテ居ルノダ。サウ云フ風ナモノヲ鐵道同様ナ方法デアツコトハ餘リニ「バス」ニ良過ギルト云フヤウナ議論モ相當ニアツタヤウニ思フト云フヤウナ參考的ノ御意見ノ御

開陳ガアリマシタ。

ソレカラモウ一ツ御紹介申上ゲテ置キタイノハ、ナゼ七年トシタシタト云フコト關シ幹事カラハ斯ウ云フ御説明ガアリマシタ。大體其ノ當時「バス」ノ車體自身ノ持チ方ガ七年間デアツタト云フ風ナ狀況ニアリ、又其ノ當時マデニ各地方デ行ハレマシタ實際ノ「バス」買收ノ價格ヲ換算シテ見ルト、此ノ七年分ト云フノガ一番ヨク當嵌マルト云フ風ナ二ツノ理由カラ此ノ七年ト云フモノガ計算サレタシタト云フ風ナ御説明ガアツタノデアリマス。

斯クシマシテ、此ノ「バス」ニ關シマシテハ、議論ニ於キマシテ色々ノ意見ガ出マシタ。ドウモ補償規則ニ依ルト云フコトハ、先程申シマシタヤウナ理由デ面白クナイト云フ御意見モ勿論デ、又先程申シマシタヤウナ意見ニ於キマシテ、イヤソレハサウダガ、此ノ鐵道省ノ補償規則ト云フモノニ據ル外ナカラウト云フ風ナ御議論モ出、種々論議ガ重ネラレタノデアリマス。一委員カラ理論トシテハドウモ省ノ補償規則ト云フモノハ一寸面白クナイト云フ點モ考ヘラレルケレドモ、併シ然ラバ此ノ際新シイ買收方法ヲ案出スルコトモ中々難シイカラ、先ヅ省ノ長イ經驗ニ基ク補償規則ヲ探ル外ハナイト云フ風ナ妥協的御意見モ出マシタ。

結局採決ニ入りマシタ所ガ、一委員以外ハ悉ク補償規則ノ方式ニ據ルト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

尙ホ此ノ際申上ゲテ置キマスガ、委員ハ全體デ十名デアリマス。私ハ委員長ノ職ヲ承リ、其ノ表決ニ加ヘラレタル委員ハ九名デアリマス。其ノ中オ役所側ノ委員ガ三人デアリマス。鐵道次官、内務次官及ビ大藏次官デアリマス。其ノ當日オ役所側ノ委員ノ中大藏省カラハ次官ノ代理トシテ山住理財局長ガ見エテ居リマシタ。内務省カラハ次官ノ代リニ新居國土局長ガ見エテ居リマシタ。此ノ兩人ノ代理ノ委員ノ方ヲ表決ノ中ニ認メルカ認メナイカト云フコトニ關シマシテ問題ガアリマシタ。最近ノ澤山ノ政府關係ノ委員會ニ於ケル前例ニ依リマスルト、認メテ居ラルト云フコトデアリマシタガ、併シ本委員會ニ於キマシテハ其ノ前例ニ依ラズシテ皆サンノ委員ノ意見ニ依ツテ決メヨウト云フコトニ付キマシテ御相談申上ゲマシタ所、關係ノ方々以外ノ全會一致ヲ以テ官廳側ノ委員ニ限ツテハ代理ヲ認メルト云フコトニ致シマシタ。山住サンモ、新居サンモ此ノ表決ニ御加ハリニナリマシタ。結局九人ノ委員ノ内一名ノ方以外ハ補償規則ノ方式ニ據ルト云フコトニ御賛成ニナリマシタ。多數決ヲ以テ此ノ問題ハ補償規則ノ方式ニ依ルト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

第三ハ「バス」ノ利益ヲ計算スル時ニ過去二年ヲ探ルノカ、二年平均ヲ探ルノカ、又ハ三年平均ヲ探ルノカ、若クハ其ノ他ニ良イ方法ガアルダウカドウカト云フコトノ問題デアリマス。東京市ハ全部ニ互リマシテ最近二年間ノモノヲ探ツテ居ル。最近ハ非常ニ狀況ガ悪クナツテ居ル。今後モ非常ニ惡イノデ、昔ノ繁榮シテ居ツタ時分ノ標準ジャ困ルト云フ話デアリマス。各社ハ三年間ノ平均ヲ探ルベキダ、但シ王子電

車ダケハ最近一年ノ間ノモノヲ探ルベシト云フ御議論デアリマス。此ノ問題ニ關シマシテハ、ドウモ大體皆サンガ三年ヲ探ルベキダ、東京市ノ言ヒ分ハ無理ダト云フコトノ御意見ガ多クツタノデアリマス。主ナモノトシマシテハ一體交通事業ノ性質ト云フモノハ其ノ性質上カラ言ウテ短イ期間デ見ルノハ無理ダ。例ヘバ大キナ催物ガアレバ直グ收入ガ増ス、又ハ大ナル修繕ガアレバ大キナ支出ガ加ハルト云フノデ、出入リガ非常ニ酷イ。ソレヲタツタ一年間デ見ルト云フコトハ根本的ニイケナイ。何年デ見ルカト云フコトハ、軌道ニ付キマシテハヤハリ從來通り地方鐵道法ニ據ル外ナイシ、又「バス」ニ關シマシテモ、ドウモ事變前三年、即チ昭和十年、十一年、十二年ノ三年ト、最近ノ三年、昭和十三年、十四年、十五年トヲ全國「バス」會社ノ營業報告ニ依ツテ計算シテ見ルト、前ノ三年ノ興業費ニ對スル利益金割合ガ一二・八%、アトノ三年ガ一二・二%ダト云フノデ、餘リ差ノナイコトデアルシスルカラ、先ヅ最近ノ三年間デ見タラ宜カラウカト思フ。又「バス」ハ成程「ガソリン」規正ニ依ツテ非常ナ大キナ影響ヲ受ケテ居ル。規正當時ハ大シタ影響モナカッタカ知ラヌガ、其ノ後非常ニ惡クナツタ。殊ニ本年末以降ハ非常ニ惡イ。是ハ事實デ、成程面白クナイカ知ラヌケレドモ、併シナガラソレハ結局九月以降ノ分ハ「ガソリン」車ガ動カナクナツタカラダ。又走行料ガ非常ニ減少シタカラサウ云フコトガ起ルンダ。併シ今日ハ「ハンドレッド・パーセン」バス「代燃化」ヲ計畫シテ居ル。其ノ中ニハ是ガ實現シヨウト云フ見込ガアルノデ、サウナルト走行料ノ回復モ相當出來ルト思フ。又代燃化ソレ自身ニモ段々馴レテ來テ、現在ノ經費高ト云フモノモ應テハ改良

サレルノデ、今一番惡イカラト云フノデ最近一年分ヲ探ルト云フコトノ主張ハ非常ニ無理ダ。ドウシテモ三年分ノ平均ヲ探ルト云フコトガ一番公平ダラウト云フ風ナ意見ガ壓倒的デアリマシタ。果シテ今話ガアツタヤウニ「バス」ノ走行料ガ近ク回復サレルダラウカ。潤滑油其ノ他ノ關係デ以テソレハ一寸無理デヤナイカト云フ風ナ御質問ガアリマシタガ、幹事ノ方カラ、又特ニ此ノ場合ニ於キマシテハ關係ノ政府ノ方々モ出マシテ、イヤサウ云フ心配ハナイ、應テ將來ハ代燃車ヲ増シ、走行料モ回復スル、今ガ一番苦シイト云フコトニ付テハ間違ヒナイト云フコトノ御説明モアツタノデアリマス。

斯クシテ論議ニ入り、一委員カラハドウモ何トシテモ過去三年間ノ成績ノ狀態ト云フコトハ言ヘナイ、將來モ豫測シ難イシ、今ノヤウナ説明ガアツテモ將來ガドウモ面白クナイト思フノデ、ドウシテモヤハリ過去一年間ノ成績デ計算スルコトガ當リ前デヤナイカト云フコトノ御意見モアリマシタ。又或ル一委員カラハ「バス」ノ營業狀態ハ時期ニ依ツテ又違フンダ、昭和十六年ノ上半期ガ惡イト云フコトハ事實ダ。ソレガ近ク回復スルカドウカト云フコトハ豫測シニクイ。併シ市ノ言フヤウニ一年トシテ計算スルト云フコトハ無理ダガ、サリトテ戰前三年、戰後三年ト云フコトモ如何カト思フシ、又過去三年トスルノモ、最初二年ハ規正ガ行ハレズ、最近一年ニ規正ガ行ハレタ。殊ニ昭和十三年ハ「バス」ノ黃金時代ダツタト云フヤウナコトモアルノデ、ソレヲ計算ニ入レルコトハ賛成シ兼ネルノデ、自分ハ過去二年ノ平均ヲ探ツタラドウカト思フト云フ風ナ御意見モアリマシタ。又一委員カラハ、一時的ノ狀態デ買收價格ヲ決メルノハ無理デ、殊ニ

十四年ニハ既ニ六、七割ノモノガ代燃化サレタ状態ニアツタノデ、ヤハリ十四、十五、十六ノ三年ヲ探ツテモサウ無理ナ状態トハ思ハヌ。自分ハ三年説ヲ主張スルト云フコトヲ言ハレマシタ。又一委員カラハ從來ノ經營者ノ苦勞モ十分考ヘテヤラナケレバイカヌデヤナイカ。現在ノミヲ考ヘテ買收スルコトハ無理ダ。随テ一般通念ニ從ツテ三年ガ宜イト云フ風ナ御意見モアリマシタ。

結局本問題ニ關シテ表決致シマシタ所、三年説ガ九名ノ委員ノ中六名、二年説ガ二人、一年説ガ一人デアリマシテ、結局三年平均ヲ探ルト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

第四ハ、最近一年トシマシテモ、若クハ最近三年ニスルニシマシテモ、昭和十六年度ノ下半期ヲ入レルカドウカト云フコトノ問題デアリマス。是ハ王子電車カラ其ノ御申出ガアツタノデアリマス。王子電車ハ既ニ昭和十六年度ノ下期ノ計算ガ出來タカラ、是非十六年ノ下期ノ計算ヲ入レテ裁定シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御希望ノ御申出ガアリマシタノデ、此ノ問題ヲ探上ゲタノデアリマス。之ニ關シマシテハ成程王子電車ノ計算ハ出來タカ知ラヌガ、マダ株主總會デ以テ決定シタ譯デナシ、大體ニ讓渡命令ノ出タ直前ノ決算期間デ計算スルノガ宜インデヤナイカ。随テドウモ十六年度下半期ヲ王子電車ダケ入レルノハ無理デヤナイカト云フコトノ御意見モアリ、是ニ於テ一體考ヘ方トシテ、命令直前ノ期間デ計算スルノカ、裁定直前ノ期間デ計算スルノカト云フコトニ關シテ種々ノ議論ガ岐レタノデアリマシタ。或ル一委員ハ、評價ハ最も實際ニ近イ賣手、買手共ニ満足スルヤウナモノガ宜イノデ、裁定直前ノ期間ヲ探ルトコトガ宜インデヤナ

イカ。實際上ソレガ計算シ得ナイト云フ場合ニハ、ソレヲ豫想シテ何割減トカ、何割増トカ云フ風ニ大體ノ推定ヲシテヤツテヤルノガ一番公平デナイト云フ御意見モアリマシタシ、イヤソレハ無理ダ、誰ガソレヲ推定スルカト云フコトニナルト、ソレハ難シイ。幹事ノ方デモソレハ迎モ出來ナイト云フ風ナ御意見モアリマシタ。ドウモ讓渡命令直前ガヤハリ一番宜インデヤナイカト云フコトヲ主張シタ方ガ相當アツタノデアリマス。此ノ點ニ關シマシテハ随分種々ノ議論ガ行ハレタ次第デアリマス。結局讓渡命令ノ直前ガ宜イカ、裁定ノ直前ガ宜イカト云フコトニ關シマシテハ此ノ際決定セズ、實際問題トシテ考ヘテ見ルト、各社トモ昭和十六年下期ハマダ計算出來ナイ。王子ニシテモ是ガ本當ニサウダト云フコトヲ詳シク裁定スルトナルト、相當長イ時日ヲ省ノ専門家が要スルト云フ風ナ實際問題カラ致シマシテ、ヤハリ十六年度ノ下期ハ計算ニ入レナイノハ已ムヲ得ナイダラウト云フ風ナ意見ガ出タノデアリマス。此ノ點ニ關シマシテモヤハリ委員ノ意見ハ岐レマシタ。下期ヲ入レナイ方ガ宜イト云フ風ナ御意見ガ六人デアリマス。イヤ下期ノ分ハ或ル程度斟酌シテ之ヲ計算シテヤツタラ宜イデヤナイカト云フ御意見ガ三人デアリマシタ。結局多數決ニ依リマシテ昭和十六年下期ハ入レナイト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

第五ノ利益還元ノ方法ヲ探ル際ニ其ノ還元率ヲ何分ニスルカ。是ハ「バス」ニ關シマシテハ既ニ補償規則ヲ採用スルコトニナリマシタノデ此ノ問題ハ起リマセヌガ、唯補償規則ノ中ニ「ホフマン」式計算ニ依ル場合ニ四分二厘ニスルカ、三分五厘ニスルカト云フコトノ問題ガ生ズルノデアリマス。是ハ王子電車ノ方カ

ヲハ、是非四分二厘ニ計算シテ欲シト云フコトノ希望ガアリマシタ。一體アノ「ホフマン」式ヲ決メタ時分ニ三分五厘ニ決メタノハ其ノ當時ノ公債、市債ノ率デ以テ決メタラウカト云フコトノ問題ニ關シマシテハ、サウヂヤナインダ、是ハ省ガ三分五厘ト云フ率ヲ採ツタノハ決シテ國債率カラ決メタノデハナクテ、預金利子ナドヲ考ヘテ三分五厘ガ宜イト云フコトニ各方面ニ打合セテ決定シタノダ。今度之ヲ四分二厘ニ變ヘルト云フコトニ關シマシテハ省ハ考ヘテ居ラス、斯ウ云フコトデアリマシタ。三分五厘ニ計算シマスルト、七箇年分ト云フノハ、前説明ガアリマシタヤウニ六・一六四ニナリマスルシ、四分二厘ダトスルト六・〇二四ニナルデアリマス。一委員カラ、ドウモ地方鐵道法ニ準據スルト云フコトガ軌道ニ關シテハ決マツタ以上ハ、軌道ハ五分ガ當リ前ヂヤナイカ。又「バス」ニ致シマシテモ、只今申シマシタヤウニ、ドウモ三分五厘ト云フモノガ一般ノ預金利子其ノ他ノ形勢ヲ見テ決メラレタ、今日ニ於テモ政府ハ其ノ考ヘヲ持ツテ居ルト云フコトナラバ、ヤハリ是モ三分五厘ガ宜イヂヤナイカト云フコトニナリマシタノデ、是ハ滿場一致「ホフマン」式ニ於キマシテハ三分五厘ニ依ツテ計算スル、軌道ニ關シマシテハ五分デ計算スルト云フコトニ決定シタ次第デアリマス。

第六ハ、例ヘバ黃「バス」其ノ他ノヤウニ一ツノ會社ガ他ノ會社ヲ買収又ハ合併シタ際ニ、實際ニ出資シタ興業費中ノ營業權ヲ認メルカドウカト云フコトノ問題デアリマス。是ハ東京市ハ全然認メヌト主張シ、會社ハ全額ヲ主張シテ居ルデアリマス。此ノ問題ニ關シマシテハ、會社ガ現實ニ支出シタ營業權ト云フ

モノハ之ヲ認メルト云フコトハ既ニ省ノ補償規則中ニアルノデゴザイマス。隨テ東京市ノ言フヤウニ之ヲ全然認メナイト云フコトハイケナイガ、併シナガラ其ノ内容ニ付キマシテハ或ル程度査定ヲシテヤルコトガ必要ダト云フ風ナ意見ガ多數デアリマス。一委員カラハ今此處デ或ル程度ノ營業權ヲ認メルト、今後現在營業中ノ「バス」ガ故意ニ他ノ人ニ「バス」事業ヲ賣ツテ、將來他ニ轉賣スル時分ニソレダケ高ク賣付ケルト云フ弊害ガ生ジハセヌカト云フ質問モアリマシタガ、イヤソナコトハナイ、ソレハ鐵道省ニ於テ十分監督シテ居ルノデサウ云フ無理ナコトハ出來ナイ、斯ウ云フ風ナ問答モアリマシタ。論議ニ於キマシテ、一委員カラハ、結論トシテハ營業權ヲ査定シテ、之ヲ認メルコトガ穩當ヂヤナイカ、唯此ノ問題ニ付テハ多大ノ疑問ガアル。即チ理論上カラ言フト二重ニ營業權ヲ出資スルヤウナ形ニナル、ドウモ理論上カラ言フト澤山ノ疑念ヲ生ズルガ、併シ實際ニ營業權ノ賣買ガ認メラレルト云フ以上ハ已ムヲ得ナイ、將來ハ營業權ノ賣買ガ出來ナイヤウニ監督サレタイ、併シナガラソレガ認メラレテ賣買サレテ居ル以上ハドウモ只今申シマシタ意味ノ營業權ヲ認メルコトハ已ムヲ得ナカラウト云フコトニナリマシテ、滿場一致之ヲ認メルコトニ相成ツタデアリマス。但シ其ノ額ニ關シマシテハ鐵道省ノ査定ニ俟ツト云フコトニ相成リマシタ。

第七ハ、興業費ノ壓縮ヲ認メルカドウカ。御承知ノ通り市ハ興業費ハ全體ノ興業費ヲ計算致シマシテ、更ニ其ノ四分ノ三ニ壓縮スルデアリマス。會社ハ勿論其ノ壓縮ヲ認メズ、全額ヲ要求シテ居リマス。此

ノ壓縮ニハ全員殆ド反對デ、結果ニ於テハ壓縮ヲ認メナイト云フコトニナツタノデアリマス。此ノ壓縮スルコト云フコトガ無理ダト云フコトガ殆ド壓倒的ノ考ヘ方デアリマシタ。一體何ノ爲ニ東京市ハ壓縮ナント云フコトヲ言フノダラウカ、先ツ將來ノ經營ヲ樂ニスル爲ニト云フヤウニシカ考ヘラレナイ、併シ一體市ト云フモノハ無理ヲシテハイケンナイ。市ガ賣買ニ依ツテ非常ニ儲カル、儲カルコトハ洵ニ結構デ、會社トハ違ツテ配當スル譯デナイシ、若シ儲カツタナラバ凡ユル點ニ於テ市民ニ便益ヲ圖ル、若シクハ運賃ノ値下ラスル、詰リ公共ノ爲ニ盡スノデアルカラ、市ガ儲ケルカラト云ウテ儲ケ過ギルト云フコトハナイ、市ガ損ヲスル、將來ノ經營ガムツカシイト云フ場合ニハ、市ハ他ノ方法ヲ講ジテ事業ノ經營ヲ緩和スレバ宜イノデ、其ノ爲ニ會社ニ對シテ其ノ興業費ヲ壓縮スルヤウナ方法ヲ採ルコトハ面白クナイ、市ノ言分ノ申ニハ日鐵ヤ配電ノ實例ヲ引用シテ居ラレルケレドモ、ソレハ違フノダ。アノ場合ニ於テハ謂ハバ買手、賣手ノ中ニ同じ人ガ入ツテ居ルノデ、新シイ會社ノ中ニ又賣ツタ人ガ入り込ンデヤハリ新シイ會社ノ利益ヲ享受スルト云フコトモアル、併シ今度ノ場合ハ賣手、買手が全ク違フノデ、買手が勝手ニ賣手ニ對シ其ノ興業費ヲ壓縮スルト云フコトニ付テハドウモ賛成致シ兼ねルト云フコトノ議論ガ多カツタノデアリマス。是ハ滿場一致壓縮ヲ考慮シナイト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

第八ハ、運賃値上等ニ依ツテ得ラルベキ將來利益ヲ直接賣買ノ價格中ニ考慮スベキデヤナイカ、斯ウ云フ問題デアリマス。市ノ方ハ之ニ對シテハ一言モ言及シテ居リマセヌシ、又大部分ノ會社ガ之ニ對シテ、

言及シテ居リマセヌガ、御説明ノ中ニハ折々出テ參リマシタ。唯城東乗合ダケハ運賃整理ノ將來利益ト云フモノヲ附加シテ貰ヒタイト云フ御申出ガアツタノデアリマス。此ノ點ニ關シマシテハ大體ニ考慮シナイト云フコトニ決定致シタノデアリマスガ、ソレハ「バス」事業經營ノ將來如何ト云フ問題ニ關シ、將來永久ニ惡イ、永久ニ好イト云フコトニナレバ、是ハ運賃ノ方デ色々考ヘル必要モアラウシ、又益金ノ計算中ニモソレヲ考慮スル必要モアラウ。併シナガラサウ云フ問題ハ現狀ヲ考慮スル建前カラ言フト、ソレヲ考ヘテ高ク賣ル、安く買フト云フコトハ無理ダ。買ツタ方が引合フカ引合ハナイカト云フ時分ニ、自分自身ノ懷中勘定ヲ考ヘルコトハアルカモ知ラヌガ、高ク賣付ケル、安く買取ルト云フコトニ之ヲ考慮スルノハ無理デハナイカト云フ議論ガアルノデアリマシテ、滿場一致此ノ點ハ考慮シナイト云フコトニ決定致シタノデアリマス。

第九ハ、遊覽「バス」ノヤウナ現在事業中止ノモノヲドウ考ヘルカ。東京市ハ青「バス」ト遊覽「バス」トヲ合併計算シテ欲シイ。此ノ點ハ後カラ出テ參リマス大東京遊覽「バス」ハ興業費ダケ、城東遊覽「バス」ハ零ト云フコトヲ主張シテ居リマシタ。會社ノ方デハ、青「バス」ノ遊覽「バス」ハ營業中ノ四ケ年間平均ノ七分還元、大東京遊覽「バス」ハ二年間ノ益金ノ七分還元、城東遊覽「バス」ハ營業權ヲ要求シテ居ルノデアリマス。社ノ方ノ七分還元ノ問題ニ關シマシテハ、先程申シマシタヤウニ既ニ七分還元ノ方法ニ依ラナイト云フコトニ決定致シマシタノ問題ハアリマセヌガ、兎ニ角斯ウ云フ風ニ遊覽「バス」ノヤウニ現在全ク事業

ヲ中止シテ居ルモノハドウ計算スルカト云フコトノ問題ニ關シマシテハ、ドウモ今後相當期間動かナイト云フコトガ明瞭デアル、「バス」ハ段々ニ回復シヨウガ、遊覽「バス」ハ今後長イ間動ク見込ガナイ、ソレヲ過去ノ營業華ナリシ頃ヲ見込シテ相當ノ價格ヲ出スト云フコトハ無理ダ、併シナガラ其ノ興業費ダケハ當然見テクレナケレバナラスデヤナイカト云フ風ナ意見ガ多クツタノデアリマス。中ニハ一委員カラ、一體ソシテ中止中ノモノヲ買ハセヨウト言フノガ無理デヤナイカト云フ風ナ意見ガ出マシタガ、既ニ讓渡命令ガ出テ居ルノデアリマス。今更サウ無理ダト言フテモ已ムヲ得ナイト云フ御答辯モアリマシタ。又現在市ガ或ル程度興業費ナリ何ナリ出ストシテモ、市トシテハ唯利息ヲ拂フヤウナ買入費ノ利子ヤ監督者ノ費用ガ掛ツテ、ソレダケ年々市ガ損ヲスルト云フコトニナルノデ、ソレヲ買ハセルコトガ無理デヤナイカト云フ御議論モアツタノデアリマス。結局論議ニ入りマシテ、滿場一致是ハ大體ニ興業費ダケ買フガ宜シイト云フコトノ意見ニ決定致シタ次第デアリマス。

第十八、青「バス」ト遊覽「バス」ヲ一緒ニシテ計算スベキカ、別々ニシテ計算スベキカ、市デハ一ニシテ計算シテ欲シイ、社ノ方ハ別々ニシテ計算シテ欲シイト云フコトデアリマスガ、ドウモ遊覽「バス」ガ中止シテ居ルノハ時局柄デ、今後モ相當期間ヤハリ中止サレテ居ルダラウ、隨テ青「バス」ト遊覽「バス」ヲ一ツニ計算スルコトハ無理ダ、別々ニ計算スベキガ當然デヤナイカト云フコトガ殆ド全部ノ意見デアリマシタ。結局滿場一致是ハ社ノ言フヤウニ別々ニ計算スルト云フコトニ決定致シタ次第デアリマス。

最後ニ第十一、東横ノ場合ノヤウニ、同ジ社内ノ區分毎ニ讓渡價格ヲ計算スルト云フコトヲ認メルガ。

東京市ハ一括計算ヲ主張シテ居リマス。東横ノ方ハ分括計算ヲ主張シテ居リマス。其ノ題ニ關シマシテハドウモ會社ニシテモ成程或ル線ハ引合ハナイ、或ル線ハ引合フト云フコトハアルダラウ、又其ノ收支ヲ、會社ノ中デハ別々ニ計算モシテ居ヨウガ、併シナガラ損ガ行クカラト言ツテ、其ノ經營シテ居ルモノヲ勝手ニ拋棄スル譯ニ行カス、一般公衆ノ爲ニヤツテ居ルノデ、ヤハリ鐵道省ノ認可ヲ取ツテ廢メルナラバ廢メル、アノ線ハ儲カラヌカラ廢メマスト云フコトデハ困ル、隨テ會社全體ヲ統合シテ計算スベキデ、損ヲスル線ハドウダ、得スル線ハドウダト云フ風ニ別々ニ計算スルコトハ如何カト思フ、是ハ當然一ツニシテ計算スルガ當リ前デヤナイカト云フヤウナ意見ガ全會ノ意見デアリマシテ、滿場一致一括シテ計算スルト云フコトニ決定シタ次第デアリマス。

大體是デ只今申シマシタヤウナ大キナ問題ニ關シテハ——後ノ二三ノ場合ハ會社ノ名前ガ出マシタガ、初ノ方ノ大キナ問題ニ關シマシテハ會社ノ名前ガ出ズ、問題ヲ取上ゲテ其ノ問題ニ對スル方針ヲ決定致シタノデアリマス。此ノ方針ガ決定サレマシテ今般ノ兩者ノ相違ニ關スル大體ノ裁定ガ謂ハバ終ツタヤウナモノデアリマスガ、尙ホ其ノ以外ニ各社毎ニ特殊ノ問題ガアリマスノデ、又元ヘ戻リマシテ、各社別ニ其ノ事情事情ニ付テ裁定ヲ致シタノデアリマス。

第一ハ東京地下鐵道會社ノ「バス」即チ青「バス」デアリマス。先程幹事カラ御説明ガアリマシタ大口回數

券ノ問題デアリマス。是ハ昭和十三年度ノ上半期ニ於キマシテ、青「バス」ガ自社ノ都合カラ莫大ノ大口同數券ヲ賣出シマシタ。是ハ昭和十三年上半期カラデハナク、上半期マデニ三期間ニ互リマシテ莫大ノ大口同數券ヲ賣出シマシタ。サウシテ其ノ當時ハ之ヲ決算ニ出サズニ、其ノ收入ヲ昭和十三年下期、昭和十四年上期、昭和十四年下期ノ三期ニソレニ關スル利益金ヲ計上シタノデアリマス。サウシマスルト過去三年間ノ中ニ是ガ入ツテ參リマスノデ、其ノ總額ガ七十萬圓トナル。東京市デハサウ云フ風ニ前ニ賣ツタ金額ヲ後ニ澤山入レテ、ソレデ利益金ヲ計算スルコトハイケナイ、是ハ全部削除スベキモノデアルト云フコトノ意見ヲ出サレタノデアリマス。併シナガラ社ノ方トシテハ現實ニ決算ニ計上シタノデアルカラ、之ニ依ツテ利益金ヲ勘定シロ、斯ウ云フノガ此ノ問題ニ關スル論點デアリマス。之ニ關シマシテハ結局斯ウ云フ風ニ致シマシタ。即チ兩方トモ言フコトガ無理ダ、七十萬圓ノ中可ナリ多クノ部分ハ昭和十三年度上期ニ使ハレテシマツタ居ツタ、其ノ一部分ガ昭和十三年度下期以後ニ使ハレテ居ル、隨テ七十萬圓ノ全額ヲ認メルコトハ無理ダガ、併シナガラ昭和十三年度下期以降ニ使ハレタ部分モ相當アルノダカラ、ソレモ或ル程度査定シテ認メルガ宜イデヤナイカ。ソレニ付キマシテハ過去ノ實績ニ依リマシテ昭和十一年度カラ十五年度ノ五ケ年間ノ普通運賃收入ト同數券運賃收入トノ比較ヲ出シマシタ所ガ、ソレガ三七・九%ニナルサウデアリマス。ソレデ此ノ三七・九%ヲ只今申シマシタ昭和十三年度ノ下期、昭和十四年度ノ上期並ニ下期ノ三期ノ普通運賃收入ニ掛ケ合セマス、此ノ七十萬圓ガ四十萬圓ニナル。東京市ハ七十萬圓全部ヲ認

メナイト言ヒマスルシ、會社ハ七十萬圓全部ヲ認メロト云フ言分デアリマスガ、此ノ四十萬圓ヲ認メルコトガ最も適當デハナイカト云フコトニナリマシテ、本案ハ只今申シマシタ四十萬圓ダケハ認メルト云フコトニナツタノデアリマス。

第二ニ、是ハ東京地下鐵道「バス」ノミデナク、其ノ他ニモ關係ハアリマスガ、市債ヲ交付スル場合、其ノ交付價格ヲドウ決マルカ。會社ノ方デハ九十九圓五十錢デ計算シテ呉レト言ヒマスシ、東京市ハ百圓「バー」ト云フコトヲ主張シテ居リマス。大體東京市ガ四分二厘デ公債ヲ渡スト云フコトナラバ、現在百圓シテ居ル市債ヲ九十九圓五十錢デ渡セト言フノハ無理ダ。併シ利率ガ變ルカモ知レマセヌシ、又實際ニ交付スル時分ニ市價ガ又狂ツテ來ルカモ知レマセヌカラ、是ハ交付ノ時期ニ於テ鐵道大臣、内務大臣、大藏大臣ノ三大臣ガ協議シテ其ノ率ヲ決メタナラバ一番公平デハアルマイカト云フコトニナリマシテ、報告ノ初ニアリマシタヤウニ三大臣ノ協議ニ俟ツト云フコトニ決定致シタノデアリマス。

第三ニ、是亦他ノ會社ニモ關係ガアルノデアリマスガ、有體財産ノ評價ヲイツニスルノダト云フコトノ問題デアリマス。讓渡命令ノ日ハ決ツタ居ルガ、愈々讓渡スルト云フ日ハヤダ今カラ先ナノダ。賣渡ス日ハ先ナノデアリマスカラ、補償規則ニアルヤウニ讓渡スル日ト云フ譯ニモ參リマセヌ。之ヲイツニシタガ宜イカト云フコトモヤハリ決メテ置カナケレバナラナイノデアリマス。補償規則デハ今申シマシタヤウニ讓渡ノ日ト書イテアリマスガ、今デハ分ラナイ。デアルカラ是ハ實際ニ省ガ各「バス」ニ付テ其ノ資産ヲ評

價シタ十月末日ガ一番宜イノデハアルマイカ、ソレニ大體其ノ後大シタ變化モナイヤウデアアル。併シナガラ若シ其ノ後ニ或ル「バス」ガ壞レタトカドウトカ云フ風ナ實際ノ變化ガアリマスレバ考慮スル。併シナガラ大體十月末日ト云フコトニ決メテ置クガ一番最近ノ日デモアルシ、省ガ公平ニ裁定シタ其ノ日デモアリマスノデ、之ニ關シマシテハ出來ルダケ最近ノ日ガ宜イト云フ御議論ガ多カツタノデアリマスガ、實際ノ問題カラ申シマシテ、十月末日ニスルコトハ已ムヲ得マイト云フノデ、十月末日ヲ以テ算定基準ト決定致シタノデアリマス。又滿場一致其ノヤウニ賛成致シタ次第デアリマス。

次ニ黃「バス」ニ付テ實ハ一ツ問題ガアリマシタ。納メテ居ナイ税金ニ關シテ或ル程度ノ査定ヲスル。サウシテソレヲ計算ショウト云フヤウナ數字上ノ問題ガアリマスガ、是ハドウモ數字ノ問題ニ互リマスシ、委員會ニ於キマシテ、斯ウ云フ細カイ問題ニ關シマシテハ數字上ドウト云フコトハ査定シ兼ねル、前ニモ申シマスヤウニ、數字ノ問題ニ關シマシテハ省ニ一任スルカラト云フ方針ニ依リマシテ、是ハ鐵道省ニ一任ト云フコトニ決定致シマシタ。

西武鐵道ハ今回ノ裁定ノ中最モ違ツタ種類ノ裁定デアリマシタ。「バス」全體ヲ買ハウト云フノデヤナイノデアリマス。西武鐵道新宿線ト云フ軌道ハ、其處ニ競争線トシテ青「バス」ガ營業シテ居ル。此ノ青「バス」トノ關係上從來新宿線ノ經營ヲ青「バス」ノ所有者タル東京地下鐵道株式會社ニ委任經營ヲシタ。十年間ノ期間ヲ置キ、一ケ年二十萬圓——是ハモツト多カツタノデアリマスガ、段々減ツテ參ツテ現在デハ二

十萬圓ノヤウデアリマスガ、修繕費ハ會社持デ、年二十萬圓ヲ費ツテ之ヲ地下鐵道ノ方ニ經營ヲ委任シテ居ルノデアリマス。所ガ今日マデ非常ニ多額ナル負擔ヲ會社ガ負ツテ居ル。補修費ガ一ケ年ニ十二萬圓モ掛ル。ソレデ二十萬圓デヤトモ引合ハナイ、モツト増シテ費ヒタイ、又向フ十年間ノ内既ニ六年經ツテ後四年間アル、今日段々景氣ガ好クナツテ居ルカラ之ヲ一年間ニシテ費ヒタイ。從來カラ二十萬圓ハ困ル、維持費ハ全部市持ニシテ、サウシテ、十七萬一千圓ヲ費ヒタイト云フヤウナ希望ナノデアリマス。東京市ハ之ニ對シ、自分ノ方ハ東京地下鐵道カラ繼承スルノダカラ、繼承シタ儘デ行キタイ、即チ從來通り修繕費ハ會社持デ、一ケ年二十萬圓拂フ、サウシテ向フ四年ト云フコトヲ主張サレテ居リマス。但シ此ノ點ニ關シマシテハ、東京市ノ關係者ハ多大ノ同情ヲ西武鐵道ニ拂ツテ居リマス。現在ノ契約ハ無理ト思フド云フコトヲ頻リニ言ハレタノデアリマス。委員會ニ於キマシテハ、會社ノ主張通りニ維持修繕ノ費用ハ段々殖エテ參リマスノデ、之ヲ會社ガ持ツコトハ無理ダ、殊ニ又經營上カラ申シマシテモ、營業シテ居ルモノト維持修繕ヲヤツテ居ルモノトガ別々ト云フコトハ非常ニ不便ガアルノデ、是ハ市ノ負擔トスルノガ當然ダト云フコトノ意見デアリマス。又期限ニ關シマシテハドウモ四年モ無理ダシ一年カツキリト云フコトモ無理ナノデ、マア大シタ理窟ハアリマセヌガ、二年位ガ適當デハナイカ。受託ノ報酬ニ關シマシテハ最近一ケ年ノ實績ヲ基礎トシテ計算シタラ宜シイ、是ハ他ノモノモ先程申シマシタヤウニ三ケ年平均ヲ取ツタノデアリマスルガ、是ハタツタ向フ二ケ年ダケノ問題デアリマスノデ、過去三ケ年ノ平均ト云フコ

トハ會社ニ氣ノ毒ダ、會社ガ主張スルヤウニ最近一年分ノ成績ヲ基礎トシテ計算スルガ宜イト云フノデ、是ハ最近一年間ノ實績ヲ基礎トシテ計算スル。サウスルトソレガ會社ノ言フヤウニ十七萬一千圓ニナルノデアリマス。ソレデハ市ニ一ツモ利益ガナクテ、一パイ／＼ト云フノデハ段々修繕モ加ハルシ、市ニモ氣ノ毒デアルカラト云フノデ、多少市ノ利益ト云フ風ナコトモ考ヘテ、是ハ大シタ理窟ハナイノデアリマスガ、一割引、即チ十五萬四千圓位ハト云フノデ、結局西武鐵道ニ關スル裁定ハ、修繕維持ノ費用ハ市ノ負擔、一ケ年ノ受託報酬ハ十五萬四千圓、期限ハ二ケ年ト云フコトニ裁定ヲ致シタ次第デアリマス。是等ノ裁定ノ結果數字ニ當嵌メマシタモノガ御手許ニ廻シマシタ評價額一覽表ノ中ニアリマスル〇ノ金額デアリマス。

東京地下鐵道ハ初メ城東線ノ軌道ニ付キマシテハ六百一萬七千四百圓ヲ主張シ、又市ハ四百七十二萬二千圓ヲ主張シマシタノガ、裁定案ニ於キマシテハ五百五十三萬七千四百圓ニ裁定致シマシタ。青「バス」ハ「遊覽」バスハ、市ハ之ヲ一括シテ八百七十五萬四千圓ニ評價致シマシタノヲ、會社側ハ之ヲ別々ニ計算致シマシテ、青「バス」ハ一千五百三十五萬三千四百圓、遊覽「バス」ハ二百十萬九千二百圓ヲ主張シマシタノヲ、會社側ノ言フヤウニ別々ニ計算致シマシテ、裁定案ニ於キマシテハ青「バス」ガ二千二百五萬二千百圓、遊覽「バス」ハ五十四萬九千三百圓ニ裁定致シタ次第デアリマス。

大東京遊覽「バス」ハ市ハ四萬一千圓ヲ主張シ、會社ハ二十九萬二千百圓ヲ主張シマシタニ對シ、是ハ四

萬一千六百圓、即チ興業費ダケヲ認メタノデアリマス。

東京環狀(黃バス)ハ、市ハ二百十四萬八千圓、會社ハ四百六十四萬五千圓デアリマスルガ、裁定案ニ於テハ三百十九萬七千圓ニ裁定致シマシタ。

王子電氣ノ軌道ハ、市ハ一千七百七十一萬四千圓、會社ハ一千八百六十萬百圓ヲ主張シマシタガ、之ヲ一千二百八十六萬三千二百圓ニ裁定致シマシタ。「バス」ハ市ガ百五十九萬八千圓、會社ガ百九十四萬九千五百圓デアリマスノヲ百八十五萬九千五百圓ニ裁定致シマシタ。

城東乗合ハ、「バス」ハ市ガ七十五萬九千圓デアリマスノヲ、會社ハ二百十七萬圓ニ申出マシタガ、裁定ハ八十八萬七千五百圓トナリマシタ。遊覽バスハ、市ハ一文モ認メテ居リマセヌ。會社ハ五千五百圓ヲ主張シテ居リマス。裁定ハ五千五百圓ヲ認メテ居リマス。

東横「バス」ハ、市ハ六十六萬五千圓、會社ハ百八十八萬一千六百圓デアリマスノヲ、裁定案ハ九十三萬三千九百圓ヲ認メマシタ。

京王「バス」ハ、市ハ三十二萬五千圓デアリマスノヲ、會社ハ七十二萬五千圓ヲ主張シ、裁定案ニ於キマシテハ五十六萬七千七百圓ヲ認メマシタ。

葛飾「バス」ハ、市ハ八萬六千圓、會社ハ十三萬三千二百圓ヲ主張シマシタノヲ、裁定ニ於キマシテハ十一萬四千六百圓ヲ認メマシタ。

全體ノ合計ニ於キマシテ、市ガ三千八十一萬二千圓ヲ主張致シマスノヲ、又會社ガ五千三百八十八萬一千圓ヲ主張致シマスノヲ、結局全體ニ於キマシテ三千八百六十萬八千三百圓ニ認メタ次第デアリマス。

西武鐵道ニ關シマシテハ先程申上ゲマシタ通りデアリマス。

是ガ大體委員會ニ於ケル裁定ノ質問、論議竝ニ決定デアリマシテ、之ヲ以テ私ノ報告ヲ終リタイト存ジマスルガ、最後ニ一言附加ヘルコトヲ御許シ願ヒタイ。先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ裁定ニ關シマシテハ各委員トモ眞ニ熱心ニ論議セラレタノデアリマス。此ノ間ニ議會ガアリ、其ノ他種々忙シイコトガアリマシタニ拘ハラズ、實ニヨク御列席下サレ、官廳側ノ委員ニ於カレマシテモ、場合ニ依リマシテハ代理ノ局長サンガ御見エニナリマシタガ、實ニ熱心ニ御出席ニナリマシタ。是ホド熱心ニ又公正ニ論議サレタ委員會ハ、私共委員長ト致シマシテ、自分ノ經驗中ニ於テハ少イヤウニ感ジテ居リマス。隨テ今回ノ裁定ハ市ニ取リマシテモ、會社ニ取リマシテモ多大ノ御不平ガアリ、御不滿ガアルト云フコトハ素ヨリ承知致シマスルガ、ドウカ時局斯ル際ニ於キマシテ、委員ノ人々ガ本當ニ公正ナ立場ニ於テ論議決定シタト云フコトノ實情ヲ御酌取下サイマシテ、市竝ニ會社ノ兩方ニ於テ此ノ裁定案ニ御賛成ヲ願フコトヲ私ハ衷心ヨリ希望スル次第デアリマス。

更ニ政府ニ御願ヒ致シタイコトハ、過去斯ル場合ニ於ケル買收ノ標準其ノ他ガ決ツテ居リマスレバ此ノヤウナ面倒ナ問題ハ起ラナカツタノデアリマス。謂ハバ法ノ不備デアリマス。中々面倒デハアリマセウ

ガ、政府ニ於カレマシテハ一日モ早く「バス」買收ニ關スルハツキリシタ基準ヲ法律又ハ其ノ他ニ依ツテ御決メテ願ヒタイ。常ニ買收者竝ニ被買收者ノ間ニ斯ル論議ガ生ジ、或ハ其ノ爲ニ感情ヲ害シ、又世間ヲ騒ガセルヤウナコトノナイヤウニ至急ニ御取計ヒ下サルコトヲ此ノ機會ニ御願ヒスル次第デアリマス。

之ヲ以テ私ハ委員長報告ヲ終リマス。

○議長(八田副會長) 只今大藏特別委員長カラ極メテ詳細ニ互ツテ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ニ相成リマシタ。洵ニ有難ウ存ジマス。就キマシテハ大藏特別委員長ノ御報告竝ニ只今朗讀致シマシタ答申案ニ付キマシテ、御質問、御意見等ヲ是カラ御述ベテ願ヒタイト存ジマス。

○原委員 裁定案ニ付キマシテハ、只今私一個ノ意見ト致シマシテハ大藏委員長ノ御報告ニ全幅ノ御賛成ヲ致ス次第デアリマス。今承リマス、特別委員會ニ於キマシテハ色々ナル點ニ付キマシテ極ク巨細ニ御研究ヲ願ヒマシテ、又會社側或ハ市側ノ兩面カラ御覽ニナリマシテ、極メテ正シク妥當ナル裁定案ヲ御審議願ツタコトト信スル次第デアリマス。其ノ御報告モ會長カラ御話ガアリマシタヤウニ極メテ詳細而モ明瞭デアリマシテ、是レ以上私共ト致シマシテハ質問致ス餘地モアリマセヌシ、時間モ大分過ぎテ居リマスカラ、此ノ際委員會ハ此ノ特別委員會デ御決メニナツタ案ヲ全體ニ賛成シテ、滿場一致ヲ以テ御答申ヲ致シタイト希望スル次第デアリマス。

○議長(八田副會長) 只今原委員カラ、特別委員會ニ於テ決定致シタ案ニ對シマシテ、滿場一致ヲ以テ御

賛成シタイト云フ御意見ガゴザイマシタガ、如何デゴザイマセウカ。

四六

○堀内委員 一寸一點質問シタイコトゴザイマス。只今大藏委員長カラ詳細ナ御報告ヲ戴キマシテ、審議ノ經過ハヨク分リマシタ。又各特別委員ガ非常ニ御苦心ニナツテ、御勉強ヲシテ御決定下サツタト云フコトノ御勞苦ニ對シテモ感謝致ス譯デアリマス。一點委員長ノ報告中根本ノ問題ニ付キマシテ伺ツテ見タオコトガアルノデアリマス。先刻大藏委員長ノ説明ニ依リマス、此ノ委員會ノ審議ノ方法ト申シマスルカ、主義方針ト申シマスルカ、ソレヲ先ヅ決定シタ、ソレハ政府ハ審議會其ノ他ニ於テ色々本問題ニ付テ言明シタコトガ數々アルノデアルガ、ソレニハ頓着セズ、政府ノ言明ニハ關係ナシニ委員會獨自ノ立場ヲ以テ此ノ案ヲ審議シタ、斯ウ云フ御報告デアリマシタ。私共ハ前同ニ於テモ申上グタノデアリマスルガ、「パス」ノ評價ト云フコトニ付テハ基準ガナシ、隨テ是ガ交通調整委員會ノ第一回ノ質問ニモナリ、又衆議院ニ於ケル交通營業法案審議ノ際ニモ質問ガアリ、ソレ以前ニモ内田鐵道大臣ノ御言明モアリ、貴族院ニ於キマシテモ本問題ニ對スル御言明ガアツタノデアリマス。而シテ相談ガ纏ラナクテ今日政府ニ向ツテ裁定ヲ懇ヘテ來タト云フ事情デアアルノデアリマス。然ルニ此ノ問題ヲ決定シマスル上ニ於テ政府當局ガ苟モ議會其ノ他ニ於テ御言明ニナルコトニ一切頓着ナク、此ノ委員會獨自ノ立場ヲ以テ之ヲ審議シタト云フコトハドウ云フコトデアリマセウカ。私共ハ本日ハ外ノ資格ヲ以テ此處ニ列席致シテ居ルノデアリマスガ、又衆議院、貴族院ノ代表トシテ出席サレテ居ル委員モアリ、又吾々ハ何處ニ參リマシテモ苟モ衆議院

院トカ貴族院トカ其ノ他ニ於テ政府ガ御言明ニナツタコトガ一向當ニナラヌ、斯様ナ重大問題ヲ決定スル上ニ於テ之ヲ考慮ニモ入レズ、參考ニモセス、唯委員獨自ノ立場ヲ以テ之ヲ決定シタト云フコトニナリマス。——是ハ此ノ場合申上グベキ場合デナイカモ知レマセヌガ、一體議會等ニ於ケル質問應答ニ於テ基準ハハツキリシテ居ルト思ヒマス。前同モ申上グタ通りデアリマス。ソレニ一向頓着ナク、苟モ政府カラ御諮問ニナツタコトヲ裁定スルニ當ツテ、責任ヲ以テ政府當局ノ御言明ニナツタコトヲ一向考ヘズニ獨自ノ立場ヲ以テ此ノ委員會ガ決定シタト云フコトニ付キマシテハ私ハ根本問題トシテ賛成ハ出來ナイノデアリマス。値段ガ高イトカ安イトカ云フ問題ハ、是ハ又自ラ別個ノ問題デアラウト思ヒマスケレドモ、政府ノ言明サレタコトヲ參考ニ入レナイト云フヤウナコトハ甚ダ私ハ宜シクサイト思ヒマス。現ニ此處ニモ衆議院ヲ代表シテオイデニナル委員モ居ラレマス。貴族院ヲ代表シテオイデニナル委員モ居ラレマス。サウ云フ立場ニ付キマシテ一體政府御當局ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ。無論委員トシテ御列席ノ方モアルト存ジマスガ、是ハ獨自ノ立場デアルコトガ正當デアル、政府ノ今日マデノ言明ニハ一向頓着シナクテモ宜シイト云フ御覺悟デアリマスガ。其ノ點ヲ一點伺ヒマス。

○大藏委員 私ハ報告書ヲ書ク暇ガアリマセヌデシタノデ、今堀内サンノ御話ノ部分ガ脱ケテ居ツタナラバ私ノ申落シデアリマス。後ニ速記録ヲ御覽ナサルト分リマスガ、政府ノ言明ヲ十分ニ考慮シツツト云フ言葉ヲ脱ガシタノデアリマス。是ハ特ニサウ云フ話ガアリマシタ。委員會ニ於キマシテ政府ノ言明ハ十分

四七

考慮スルト。併シナガラ採決ノ時分ニハ其ノ言明バカリニ因ハレナイ。十分ニ考慮スルガ因ハレズニト云フ意味デアリマシテ、全ク政府ノ言明ヲ無視スルト云フ考ヘハ委員會ニハ毛頭アリマセヌ。全部特ニサウ云フ風ナ發言ガアリマシテ、政府ノ言明ハ十分ニ考慮シツト云フコトデアリマシタ。其ノ點私ノ申落シデアリマシタ。御諒承願ヒマス。

○堀内委員 私ノ聞キ違ヒデアツタカモ知レマセヌ。何レ速記録ヲ拜見シマスガ、政府ノ言明ニハ依ラナイ獨自ノ立場ヲ以テ御決定ニナツタト云フ風ニ私ハ拜承シタ。而シテ段々御報告ノ模様ヲ見マス、大部分ノ御報告ガ政府ノ御言明トハ大イナル相違ガアルノデアリマス。此ノ案ヲ見マス、既往三ケ年ノ平均率ヲ以テ七ケ年以内ニ補償スルト云フコトガ法的根據ヲ持ツテ居ル。法律ニハサウ云フコトガ御決定ニナツテ居リマスガ、是ハ前同ニモ私が申上ゲタノデアリマス。省營「バス」ニ對スル苦情ト云フコトハ全國的デアリマシテ、非常ナル騷ギヲシテ參リマシタ。私ハ其ノ世話人ヲシテ居ツタモノデアリマスカラ、省營「バス」對策委員會ト云フモノヲ拵ヘテ、ソレ等ノ人ガ中央ニ對シテ皆色々陳情ヲシテ、政府當局ニ既往七年間ノ收益、七年間ト云フコトハ餘リニ寡少ニ過ギル。殊ニ税金ノ負擔モ多イノデアリマスカラ、ソレデハ到底納得ガ出來ナイト云フコトノ問題ガ議會ニ於テハ、殊ニ衆議院ニ於テ起リマシタコトハ、皆サンモ御存ジデアラウト思フノデアリマス。私ハ其ノ當時ノ速記録ヲ調ベテ參リマセヌケレドモ、内田鐵道大臣ノ時ニ、ソレハサウ云フ風ニ決マツテ居ルケレドモ、結局ハ銘々ガ満足スルヤウナ方法ニスルノデアアル、

ダカラ相手ガ承服スレバ宜イデヤナイカ、ソレヲ諸君ガ彼レ此レ仰シヤラズニコツチニ任シテ呉レト云フヤウナ話ガアリマシテ、議會ニ於ケル質問應答モソレデ止ンダト云フ事實ガアツタノデアリマス。其ノ後當業者ニ對シテドウ云フ御處置ヲ御執リニナツタカ分リマセヌガ、問題モ自ラ終熄シタト云フコトデアリマシテ、殊ニ鐵道大臣ガサウ云フ御言明ヲナサツタノデアリマス。殊ニ又既往三ケ年ト申シマシテモ、斯ウ云フ時局ニ入ツテ「ガソリン」ノ消費規正ノ高度ニナサレテ居ル場合ノ營業成績ヲ取ルト云フコトハ苛酷デアルト云フコトハ前同ニ於テモ貴衆兩院ニ於テ御言明アツタコトハ私が申上ゲタ通りデアリマス。全ク此ノ業務ニ從事シテ居ルモノハ「ガソリン」ノ消費規正ノ爲ニ非常ナル營業ノ不成績ヲ來シテ居リマシテ、全國的ニ「バス」事業ノ成績ハ惡クナツテ居リマス。代用燃料車ナドヲ動カシテ居リマスガ、實際ハ非常ナル苦痛ヲ嘗メツ、業者ハ營業ヲ繼續シテ居ルノデアリマス。斯ウ云フモノヲ十六年度ノ上期ヨリ遡ツテ三ケ年、總テ事變後ノ惡クナツテカラノ狀態ニ基礎ヲ置カレタト云フコトハ根本カラ私ハ違ツテ居ルト思フ。殊ニソレハ政府委員モ屢々殘酷デアルトカ、斯ウ云フコトハ宜シクナイト云フコトヲ御言明ニナツテ居ル。ソレヲ御抑ヘニナツタト云フ譯デゴザイマス。旁々政府當局ノ言明ヲ裏切ツテ、委員會獨自ノ立場ヲ以テ御決定ニナツタト云フ風ニシカ受取レナイノデアリマス。假令言葉ノ綾ハドウデアラウト事實ハサウデアアル。サウ云フコトデアツタトシマスナラバ、一體當局ノ御方ハ是等ノ御言明ニ對シテソレヲ裏切ツタヤウナ裁定ヲナサル御積リデアリマスカ。其ノ點一ツ出來得ベクンバ政府當局ノ方カラ一應伺ツテ置キタ

イト思ヒマス。

五〇

○大山幹事 只今堀内サンカラ御話ガテツタノデアリマスガ、「バス」ノ補償ニ關スル規則ハ色々沿革カラ發達シテ參ツタモノデアリマシテ、色々ノ不平、不満、註文ト云フモノモ過去ニ於テアツタコトハ私共承知致シテ居リマス。併シ改ムベキモノハ改メテ參リマシテ、最近ニ於キマシテハ昭和十三年度カニ其ノ補償ノ規則ヲ改正致シマシテ、色々ノ取ルベキモノヲ取ツタノデアリマス。ソレデ只今堀内サンノ仰シヤイマシタヤウニ、最近ニ於キマシテハ補償規則ニ對シテ餘リ不平ノ聲ハ聞カナイノデアリマス。最近關係致シマシタ數件ニ付キマシテモ極メテ圓滿ニ補償ノ處理ハ進ンデ參ツタノデアリマス。現今ニ於キマシテハ此ノ補償規則自體ニ對シテ餘リ不平ハナイヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス。

次ニ今マデ色々議會デ言明シタコトガアル、ソレガ此ノ特別委員會ニ於テ作成サレタ案ニ盛ラレテ居ナイヤニ見エル、ソレニ對スル見解ハドウカト云フ御尋ネト解スルノデアリマスガ、御説ノ通り「ガソリン」消費規正ニ依リマシテ大變「バス」事業ガ變調期ニ入ツテ居ルト云フコトハ拒メナイ事實デアリマス。併シ是ハ最近一ケ年ヲ取リマスナラバ非常ニ其ノ點ガ強イノデアリマスガ、過去三年間ヲ取リマスナラバ、或ルモノハ良ク、或ルモノハ惡ク、稍々平均シタ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマシテ、只今正確ナル數字ハ覺エテ居リマセスガ、私ノ記憶スル所デハ全國ノ「バス」事業ニ付テ調査シタモノニ付キマシテ戰前ノ三ケ年ヲ取リマス、其ノ興業費ニ對スル益金割合ハ一割二分八厘デアツタト思フノデアリマス。サウシテ戰

後ノ三年間ヲ取ツテ見マス、興業費ニ對スル益金ノ割合ハ一割二分二厘デアリマシテ、僅ニ六厘ノ差ガアルニ過ギナイノデアリマス。詰リ三年間ヲ取ルコトニ依リマシテ、戰前ノ「ガソリン」全部デ走ツテ居ツタ分ト餘リ大キナ影響ハ現ハレテ居ナイト云フコトガ窺ハレルノデアリマシテ、私共議會ニ於キマシテ申シマシタヤウニ、此ノ「ガソリン」ノ消費規正強化ニ依ツテ非常ニ打ノメサレタモノヲ評價ノ標準トスルト云フコトハ少シ酷デアアル、ソレハ何カ考ヘナケレバナラメト云フ私共ノ言ツタコトニ必ズシモ反シテ居ナイ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス。ソレデ此ノ特別委員會ニ於ケル御論議、御研究ノ末御決メニナリマシタコトハ、從來ノ政府言明ト離レテ居ルモノデハナイト云フ風ナ考ヘ方ヲ致シテ居ルト云フコトヲ御答ヘ申上ゲマス。

○田中委員 特別委員長ノ詳細ナル御報告ヲ伺ヒマシテヨク内容ヲ承知スルコトヲ得タノデアリマス。私先ダツテモ小委員會ニ出席致シマシテ、省營自動車開設ノ場合ニ於ケル民營「バス」ノ補償ノ規定ヲ其ノ場合ニ準用セラレルト云フコトハ間違ツテ居ルト思フカラ相當御考慮ヲ願ヒタイト云フ意見ヲ提出致シテ置イタノデアリマスルガ、今回ハソレガ容レテ居ナイノヲ頗ル残念ニ思フノデアリマス。委員會獨自ノ御意見デ御決定ニナリマスルコトハ當然ナコトデアツテ私ハ結構ナコトト思フノデアリマスルガ、政府當局ノ屢々議會デ言明セラレマシタ所ニ依リマス、補償勅令ナルモノガ完全ナモノデハナイ、何トカシテ之ヲ實際適用スル上ニ於テ不平等ガナイヤウニヤツテ行カナケレバナラス、此ノ點ハ非常ニ大キナ問題デア

ルト考ヘテ居ル。此ノヤウニ苦情ガナイヤウニヤツテ行クト云フコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマスルガ、苦情ガナイヤウニヤルト云フコトハ所謂補償勅令ニ因ハレズシテヤルモノデアルト云フヤウナ御意見ニ承ハツテ來タノデアリマス。ナゼ此ノ補償勅令ヲ準用シテハイケナイカト云フコトハ、先刻モ私申シマシタヤウニ、鐵道、軌道、自動車事業トガ全然異ナルモノデアルト云フヤウナ見方ヲスベキモノデハナイ、勿論先程モ委員長ガ申サレマシタ通りニ安定性ヲ缺クトカ色々理由ハゴザイマスケレドモ、私ハ業態ヲ見マスレバ、是ハ軌道ト地方鐵道ト何等異ナル所ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス。政府ノ是マデ答辯サレタ所ニ依リマシテモヤハリ同ジヤウナ見方ニ思ハレル。成ベクハ地方鐵道或ハ軌道ノ買收價格ニ準據シテ文句ガナイヤウニヤリタイ、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、今、大山局長ノ御説明ニ依ルト圓滿ニ行ツテ居ル、議會ノ御説明ニ依ルト、圓滿ニ行カナイカラ圓滿ニ行クヤウニヤツテ行クノダ、斯ウ云フヤウニ御答辯ガ矛盾スルノデアアルマイカト思フノデアリマス。殊ニ私共ガ此ノ勅令ノ最モ缺點デアルト思ヒマスノハ、七年間ノ利益ヲ基準ニシテ居ル、此ノ七年ナルモノハ何等根據ガナイヤウニ思ヒマシテ、此ノ勅令ヲ準用スベキデハナク、業態ヲ同ジウスル所ノ軌道若クハ地方鐵道ノ例ニ準據スベキガ宜イノデアアルマイカト云フヤウナ考ヘテ持ツテ居ルノデゴザイマスルガ、議會ノ答辯ト私ハ非常ニ違フヤウニ思フノデアリマス。今後ドウ云フ風ニシテ議會デ言明セラレタコトヲ實現セラレルノデアラウカ、政府ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス。

○大山幹事 議會デ申上ゲタコト、今言フコトガ相違スルデハナイカト云フ御説ノヤウニ拜聴致シタノデアリマス。以前ノコトハ私ハヨク記憶ニゴザイマセヌケレドモ、最近ニ於テ申上ゲタコト、議會ニ於テ申上ゲタコト只今申上ゲタコト少シモ違ヒハナイト思フノデアリマス。補償法ノ不備ナル點ニ付キマシテハ徐々ニ改正ヲ加ヘテ參リマシテ、最近ニ於テ頗ル圓滿ニ是ガ運用サレテ居ルト云フコトハ事實デ有リマス。ソレカラ鐵道、軌道ト同ジ方法デ「バス」補償ノ方法ヲ考ヘルト云ツタヤウナコトヲ議會ニ於テ申上ゲタコトハ私ノ記憶ニハ只今ナノデアリマシテ、是ハ私ノ方ガ間違ツテ居ルカモ知レマセスガ、サウ云フコトヲ申上ゲタコトハナイト云フ風ニ私ハ記憶致シテ居ルノデアリマス。ソレデ色々御説モゴザイマシタガ、補償法ヲ益、完全ナモノニスルト云フコトニ付キマシテハ勿論今後トモ努力ヲ致スベキデアリマシテ、其ノ研究ハ怠ラヌ積リデアリマスガ、從來議會ニ於テ申上ゲタコトト矛盾撞着ヲスル答辯ヲ致シタヤウニハ私ハ考ヘナイノデアリマシテ、其ノ點御諒承願ヒタイト思ヒマス。

○田中委員 補償勅令ニアリマスル七年ト云フコトハ至ツテ無意味デアルト云フコトハ議會ノ委員會デ御答辯ニナツテ居ルコトハ私ハ記憶シテ居ルノデアリマス。ナゼ七年ト云フモノガ出テ來タカト申シマスルト、車輛ノ生命デアアルモノヲ基本トシタト云フヤウナ御話モアリマシタ、ソレデハイケナイデヤナイカ、車輛ハ壞レレバ又購入スルノデアアルカラ、事業トシテノ評價ヲスル場合ニ於テハ車ノ生命ヲ基準ニスベキモノデハアリマセスト云フ質問ニ對シテ、ソレハサウダ、ソレダカラ其ノ邊ハ相當ナ斟酌ヲシテ行ク、斯ウ云

フヤウナ御答辯ガアツタヤウニ私ハ記憶致シテ居リマス。若シ言ウデ居ナイト云フ御話ナラバ已ムヲ得マセスガ、吾々ハ全國一般ニ關係致シマスル此ノ大キナ問題ニ於キマシテ、本勅令ヲ取ラレタト云フコトヲ頗ル遺憾トスルト云フコトヲ申述ベテ置キマス。

○議長(八田副會長) 別ニ御發言ゴザイマセヌデスカ——別ニ御發言ゴザイマセヌケレバ此ノ際採決致シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(八田副會長) ソレデハ採決致シタイト存ジマス。御賛成ノ方ノ御舉手ヲ願ヒタイト存ジマス。

〔賛成者舉手〕

○議長(八田副會長) 多數ト認メマス。ソレデハ本答申案ヲ諮問第二號ニ對スル答申トスルコトニ本委員會デ可決致シマシタ。

・尙ホ此ノ際私カラ申上ゲタイト存ジマスルガ、先程大藏特別委員長カラ將來ノ法規ノ整理ニ付テ御話ガアリマシタ點ニ付テハ堀内委員、田中委員等ノ御意向モアリ、主務省ト致シマシテ十分將來ニ互ツテ慎重ニ研究致スヤウニ取計ヒタイト存ジテ居リマス。

本日ハ皆様大層御苦勞様デゴザイマシタ。殊ニ大藏特別委員長ヲ初メ特別委員ノ方々ノ並々ナラヌ御苦心、御骨折竝ニ各委員ノ方々ニ對シマシテ重ネテ厚ク御禮ヲ申上ゲタイト存ジマス。之ヲ以テ閉會ト致シ

タイト存ジマス。

正午散會



交通事業調整委員會第六回總會議事速記錄

(昭和十七年九月十六日)

(本冊ノ大サハ國定規格A5判)

交通事業調整委員會第六回總會議事速記録

昭和十七年九月十六日(水曜日) 於總理大臣官邸

午後三時十五分開會

○議長(八田副會長) 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ内閣總理大臣ガ、已ムヲ得ナイ事情ノ爲ニ御缺席デゴザイマスノデ、會長ノ指名ニ依リマシテ、私ガ其ノ職務ヲ代理致シタイト存ジマス、ドウゾ宜シク御願ヒヲ致シマス、先ツ會長ノ御挨拶ヲ申上ゲマス。

茲ニ交通事業調整委員會第六回總會ヲ開催スルニ當リマシテ、一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス。本委員會開設以來、委員各位ノ直接間接ノ御協力ニ依リマシテ、既ニ東京市及ビ其ノ附近ニ於ケル陸上交通事業ノ調整ニ關シマシテハ、著々トシテ其ノ實績ヲ擧ゲツツアルノデアリマスルガ、其ノ他ノ地方ニ於キマシテモ、亦少ナカラズ進捗ヲ見セテ居リマスルコトハ、邦家ノ爲メ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマシテ、之ニ對スル委員各位ノ多大ノ御貢獻ニ對シマシテ、此ノ機會ニ於テ厚ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス。大東亞戰爭下ニ於ケル交通事業ノ占ムル重要性ニ付キマシテハ、申スマデモナイ所デアリマスルガ、資材、勞力不足等ノ凡ユル困難ヲ克服致シマシテ、是ガ圓滑ナル運営ヲ圖ルコトハ、並大抵ノコトデハナイ

ノデアリマス、併シナガラ戦争遂行力ノ増強ニ缺クベカラザル此ノ交通事業ニ付キマシテハ、何トカ致シマシテ、國家ノ要求ヲ充足シナケレバナライノデアリマス、茲ニ於テ交通事業ノ調整ニ依リ、既存施設ノ有機的連絡ヲ緊密ニ致シ、綜合的運営ヲ促進シテ、其ノ最高度ノ能力ヲ發揮セシムルコトハ、愈々緊要ナコトトナツテ參ツテ居ルノデアリマス、此ノ情勢ニ鑑ミマシテ、政府ト致シマシテハ、各方面ニ互リ、積極的ニ交通事業ノ調整ニ關スル計畫ヲ進メテ居ルノデアリマスルガ、委員各位ニ於カレマシテハ、此ノ上トモ戰時下時局ノ切ナル要求ニ鑑ミマシテ、宜シク御協力下サレンコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス。

前同ノ總會以後、調整委員並ニ幹事ノ方々ニ異動ガアリマシテ、其ノ中デ第一回以來本會ノ爲ニ御盡瘁下サイマシタ中川吉造委員ハ八月一日、小竹茂委員ハ九月十二日御逝去ニ相成リマシタ、洵ニ痛惜ニ堪ヘナイ所デアリマス、此ノ機會ニ隨ンデ哀悼ノ意ヲ表スル次第デアリマス。

尙ホ又富山地方ノ陸上交通事業調整ニ付テノ臨時委員トシテ町村金五君、河合好人君、森勇君、池尾芳藏君、佐伯宗義君ノ五名ノ方々ガ、御盡力下サルコトニナリマシタ、是等ニ付キマシテハ、異動表及ビ委員名簿ヲ御手許ニ配付致シテ置キマシタカラ、之ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス。是ヨリ議事ニ入リマス、先ヅ幹事ヲシテ諮問事項ヲ朗讀致サセマス。

〔島村幹事朗讀〕

富山縣交通調整ニ關スル件

第一 調整區域

富山縣全部ヲ調整區域トスルコト

第二 調整スベキ事業ノ種類及範圍

調整區域内ニ於ケル又ハ其ノ區域外ニ互ル地方鐵道事業、軌道事業及旅客自動車運輸事業ノ全部トスルコト、但シ調整上重要ナラザルモノハ之ヲ除クコト

第三 調整ノ方法

(1) 富山電氣鐵道株式會社ヲ調整ノ母體トスルコト、但シ富山電氣鐵道株式會社ノ名稱ハ之ヲ變更スルコト

(2) 富山縣及日本發送電株式會社所屬ノ地方鐵道事業ハ富山電氣鐵道株式會社ニ現物出資スルコト

(3) 富山市所屬ノ軌道事業及地方鐵道事業ハ富山電氣鐵道株式會社ニ讓渡スルコト

(4) 黒部鐵道株式會社、越中鐵道株式會社及加越鐵道株式會社ハ富山電氣鐵道株式會社ニ合併スルコト

(5) 旅客自動車運輸事業ハ富山電氣鐵道株式會社ニ讓渡又ハ合併スルコト

第四 兼業ノ處置

調整スベキ陸上交通事業ト密接ナル關係ヲ有スル兼業ニ付テハ陸上交通事業ノ調整方法ニ應ジ適當ナル處置ヲ爲スコト

○鐵道大臣(八田副會長) 鐵道大臣トシテ今回ノ諮問案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス。交通事業調整委員會第一回總會ニ於キマシテハ、差當リ急ギ調整ヲ必要トスル地方ト致シマシテ、五ツノ地方ヲ取上ゲテ居ラルルノデアリマスルガ、富山地方ハ其ノ一ツニ當ツテ居ルノデアリマス、豫テ是ガ準備調査ヲ行ヒ、其ノ實現ニ關シ當省及ビ地方應協力致シマシテ、指導斡旋シテ參ツタノデアリマスルガ、最近ニ至リマシテ、同地方官公民各方面ニ於キマシテ、是ガ實現ヲ希望スル熱意ガ著シク昂マツテ參リマシタ、之ニ對スル協力的態度モ顯著トナツテ參リマシタノデ、關係各方面ノ動向ヲモ參酌致シマシテ、別紙原案ノ如ク進メテ行キタイト存ジマシテ、此ノ度御諮リヲスルコトニ致シタ次第デアリマス、何卒十分ニ御審議ヲ御願ヒ致ス次第デアリマス。尙ホ詳細ハ鐵道次官ヨリ説明致サセマス。

○鐵道次官(長崎委員) 私ヨリ諮問事項ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、富山縣下ニハ御承知ノヤウニ、七ツノ公營民營ノ地方鐵道及ビ軌道ト、多數ノ公營民營ノ「バス」事業ガ存在シテ居リマス、其ノ總「キロ」程ハ一千二十七「キロ」ニ及ンデ居リマシテ、一年間ノ輸送人員ヲ見マスルト、昭和十五年度ノ調査ニ依ツテ見マシテモ、三千萬人ニ垂ントシテ居リマシテ、其ノ内二ツノ交通機關ニ跨ル連絡輸送人員ハ、約九百

萬人ニ達スルモノト推定サレルノデゴザイマス、然ルニ交通機關ノ現状ハ、相互ノ連絡ガ不便デアルバカリデハナク、輸送ノ施設モ不十分デアリ、小サナ事業ガ分立致シテ居ル關係等ニ依リマシテ、無駄モ少クナイノデ、交通調整ヲ實行シマシテ、各事業ノ有機的一體化ニ依ル綜合力ノ發揮ノ必要ガ痛感サレル次第デゴザイマス、隨テ同地方ニ付キマシテハ、早クカラ交通調整ノ研究準備ヲ進メ、縣當局トモ協力シ、縣下ノ陸上交通事業ヲ一元的ニ統合スルコトガ最モ適當デアルトノ結論ニ達シテ居タノデゴザイマス、併シナガラ急速ニ一元的統合ヲ圖ルコトハ相當困難ナ事情モアリマシタノデ、鐵道及ビ軌道ノ關係ニ付キマシテハ、富山電氣鐵道ヲシテ、富南鐵道及ビ富岩鐵道兩社ノ統合ヲ行ハシメ、又「バス」關係ニ付キマシテハ、鐵道及ビ軌道ニ附帶シテ經營セラレルモノヲ除キマシテ、爾餘ノ縣下ノ全事業ヲ四箇ノ「ブロック」ニ區分シテ統合スルコトト致シマシテ、既ニ是ガ實現ヲ見タ次第デアリマス、然ルニ最近ニ至リマシテ、交通調整ヲ全面的ニ完成スルノ必要ガ愈々切實トナツテ參リマスルト共ニ、地方ノ官民ノ方々ニ於カレマシテモ、亦之ヲ熱望シ、實現ニ協力スル情勢ガ認めラレルニ至リマシタノデ、御手許ニ差上ゲマシタヤウナ富山縣交通調整ニ關スル件ニ基キマシテ、調整致シタイト存ズルノデアリマス。

原案ニ付テ概略ヲ申上ゲマスルト、先ヅ調整區域デゴザイマスルガ、御手許ニ差上ゲテゴザイマスル參考ノ二トシテゴザイマスル略圖ヲ御開キヲ願ヒタイト存ジマス、此ノ圖面ニ依ツテモ凡ソ想定ガ付キマスルヤウニ、富山縣ハ三方面ヲ山ニ圍マレテ居リマシテ、一面ハ日本海ニ面シテ居リマス、地勢上一ツノ總

マツタ地域ヲ形成シテ居リマス、又交通ノ流レモ御覽ノ通り、大體ニ於テ富山市ヲ中心トシテ居ルト言フコトガ出來ルノデゴザイマス、隨テ全縣下ヲ一ツノ單位トシテ交通調整ノ對象トスルコトヲ適當ト考ヘルノデアリマス。

次ニ調整スベキ事業ノ種類及ビ其ノ範圍ニ付キマシテハ、縣下ニ於ケル地方鐵道事業、軌道事業及ビ「バス」事業ノ全部ヲ網羅スルコトトシ、是等ト密接ナル關係ニアリマスル兼業ノ處置ニ付キマシテハ、交通事業ノ調整方法ニ應ジマシテ、適當ナル處置ヲスルコトガ宜シイト存セラレルノデアリマス。

又調整ノ方法ト致シマシテハ、縣下ノ全陸上交通事業ヲ適當ナル經營主體ノ下ニ一元的ニ統合スル方針デゴザイマシテ、斯カル場合ニハ、新設合併ニ依ルノモノ一ツノ方法トハ考ヘラレルノデゴザイマスルケレドモ、便宜上富山電鐵ニ他ノ事業ヲ合併、讓渡又ハ現物出資セシメマシテ、其ノ名稱ヲ適當ナモノニ變更スルコトニ致ス方ガ宜カラウト思フノデアリマス、尙ホ富山市營軌道ハ、事業ノ買収ヲ希望シテ居ラレルヤウデゴザイマスノデ、讓渡ノ方法ヲ採用スルコトニ致シテゴザイマス。

以上富山縣地方ノ交通調整ニ關シテ、其ノ大略ヲ御説明申上ゲタ次第デゴザイマス、何卒宜シク御審議下サイマスヤウ御願ヒ申上ゲマス、尙ホ省營「バス」ノ從津線ハ、富山市ヲ中心トシテ運營サレテ居リマシテ、他ノ交通機關ト密接不離ノ關係ニアリマスノデ、統合會社ヲシテ經營サセルコトト致シタイト考ヘテ居リマス。

○議長(八田副會長) 諮問案ニ付キマシテ、御質問ナリ御意見等御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○三十一番(森委員) 私ハ今回本委員會ノ臨時委員ヲ拜命致シマシタ富山市長ノ森勇デアリマス、何卒御見知り置キ下サイマシテ、將來宜シク御引廻シノ程御願ヒ申上ゲマス。

皆様ノ方ヨリ御質問モ出マセヌノデ、出シヤバリマシタヤウデ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、地元民ト致シマシテ、一言チヨット鐵道御當局ノ御方ニ御伺ヒテ致シタイト存ジマス、此ノ問題ニ付キマシテノ可否ニ付キマシテハ、勿論私共地元民ト致シマシテ、喜ンデ御賛成ヲ申上ゲルノデアリマスルガ、之ニ關聯致シマシテ御伺ヒテシタイト存ズルノデアリマス。

其ノ要點ハ、合併ニ際シマシテノ評價ノ計算方法デアリマス、即チ本日ノ諮問ニモ現ハレテ居リマスル、富山市ノ經營致シテ居リマスル電車ヲ、今回合併ニ依リマシテ、新設會社ト申シマスルカ、其ノ方ニ讓渡スルコトニ當リマシテ、五分還元計算ガ認めラレルヤ否ヤ、此ノ點ニアルノデアリマス。

是ガ理由ト致シマシテハ、富山市ハ大正九年ニ富山電氣軌道株式會社ノ經營致シテ居リマシタ富山市内ヲ走ツテ居リマスル電車ヲ三十六萬圓程デ買収ヲ致シマシテ、今日マデ二十三年間繼續ヲ致シテ居リマス、其ノ買収後ハ、單線區間ヲ複線ニ致シマスルトカ、サウ云フヤウナ風デ、擴張ト改良ヲ施シテ來テ居リマス、是ガ爲ニハ大正九年以來昭和八年マデ、五回ニ互リマシテ、百三萬九千何百圓ト云フ市債ヲ起シマシテ、年々十萬六千圓程ツツ返シテ行ツテ居リマス、モウ三年程先ノ昭和二十年デニナリマスルト、

スツカリ荷ガ輕クナツテシマヒマシテ、アトハ六萬五千圓程ツツ五箇年バカリ償還致シマスレバ、ソレデ
スツカリ濟ンデシマフト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、富山市ノ此ノ電車ノ軌道ノ延長ハホ
ソノ僅カナ十「キロ」八位ノモノデ、本當ニ小サナモノデアリマス、之ヲ二十三年間手懸ニ掛ケテ育テ上
テ來マシタ效ヒガアリマシテ、近時富山市ノ人口ガ著シク増加ヲ致シテ參リマシタノト、又時局ノ關係ヤ
ラ色々ナ關係デ人ノ出入ガ増加ヲ致シテ參リマシタ關係上、收入ハ一年ト増加ヲ致シテ來テ居ルノデア
リマス、ソレデ市ト致シマシテハ、大切ナル財源ノ一ツト見ルコトガ出來得ルヤウニナツタノデアリマ
ス、故ニ市一箇ノ立場トシテ考ヘマスルナラバ、私情ニ於テハ今之ヲ手放スト云フコトハ、實ニ何ダカ辛
イヤウナ感ガアルノデアリマス、併シナガラ是ハ全ク私情デアリマシテ、公益的ナ立場ヨリ考ヘテ見マ
スレバ、統合ハ已ムヲ得ヌモノ、寧ロ其ノ方ガ公益ニ貢獻スル所以デアツテ宜シイダラウト云フノガ市民
一般ノ聲デアリマス、左様ニ觀念ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、故ニ今回主務大臣ニ於カセラレマシテ、
富山縣下ノ省線ノ鐵道ヲ除キマスル以外ノ一切ノ交通機關ヲ打ツテ一丸ト致シマスル統合ノ御勸告ニハ喜
ンデ參加ヲスルモノデアリマス、此ノ點ハ主務大臣各位竝ニ是ガ幹旋ノ任ニ御當リ下サツテ居リマスル富
山縣御當局ニ對シマシテ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表スルモノデアリマス、ソコデ富山市ハ此ノ電車ヲ全部新
會社ニ賣却セントスル希望ヲ持ツテ縣ノ御幹旋ニ依リマシテ、目下其ノ合併ノ準備委員ト、評價ニ付キマ
シテ交渉中デアリマスルガ、市ノ意見ト致シマシテハ、交通事業調整法ニハ、買收ノ場合ノ評價ニ付テノ

計算方式ハ示サレテ居リマセヌ、之ヲ故ヲ御避ケニナリマシテ、一ニ當事者ノ協定ニ俟ツコトニナツテ居
ルノデアリマス、其ノ協調ガ出來ナカツタヤウナ場合ニ、主務大臣ガ御裁定下サルコトニナツテ居ルノデ
アリマス、併シ之ニハ何かヤハリ據ルベキ標準ガナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、故ニ私共ハ、政
府ガ公益上買收ナサル場合ヲ規定シテアリマスル、此ノ地方鐵道法ノ第三十一條ニ依ルノガ一番公平デ且
ツ妥當ナ方法デアルト考ヘマシテ、其ノ三十一條ニ示シテ居リマスル百分ノ二十即チ五分還元ヲ主張致シ
テ居リマシタ所ガ、準備委員ノ方デハ、ソレハ是ハ容レラレナイ、七分還元デナケレバナラヌ、サウシテ
是ハ主務省ノ御意見デアルカラ、絕對ニ之ヲ枉ゲル譯ニハ行カナイ、斯ウ云フヤウニ固執セラレテ居ル
デアリマス、五分還元ト七分還元トデハ、ソコニ大變ナ大キナ開キガ出テ參リマス、五分還元ト致シマス
レバ、今富山ノ電車ヲザツト計算致シテ見マスレバ、二百三十二萬圓餘ニナルノデアリマス、七分還元ト
致シマスレバ、色々基本ノ細カイモノニハ差ガアリマスルケレドモ、大體ニ於テ百六十五萬圓位ニナルノ
デ、ソコニ大變ナ開キヲ生ズルノデアリマス、而モ最初準備委員ヨリ御示シニナリマシタ所ニ依リマスル
ト、百二十何萬圓ト云フコトデアリマシテ、最初ハザツト百萬圓カラソコニ開キガアツタノデアリマスル
ガ、色々是ハ計算ノ喰違ヒナドヲ折衝致シマシテ、大體ハ百六十五萬圓位ノ計算ニハナラウカト存ジテ居
リマス、斯クノ如ク非常ニ大キナ開キガアリマスルガ、チヨツト見ルト富山市ノ主張スル五分還元ト云フ
コトハ餘リニ強慾ナ主張ノ如ク見ラレルカモ知レマセヌケレドモ、併シナガラ其ノ根據ハ地方鐵道法ノ三

十一條ニ據ラントスルモノデアリマス、又サウシテ最近ノ實例ト致シマシテ、昨年ノ十二月二十三日附ヲ以テ東京市ト東京地下鐵道ノ經營致シテ居リマスル城東線ノ軌道ノ統合ノ際ニ、城東線ノ評價ハ、ヤハリ地方鐵道法三十一條ノ趣旨ヲ御酌ミニナリマシテ、五分還元デ計算ヲ致シマシタ金額ヲ以テ主務大臣ハ御裁定ニナツテ居ラレルヤウニ承ツテ居リマス、故ニ私ハ五分還元ヲ主張スルノハ決シテ是ハ無理デハナイ、斯ウ云フ風ニ存ジテ居ルノデアリマス、又私富山縣下ニ於ケル軌道ノ中ニハ、將來、將來ト申シマシテモ近キ將來ニ於キマシテ國家ノ必要上省線へ御買上ゲニナラナケレバナラヌヤウナ線モ出テ來ルノデハナイカト想像ヲ致シテ居リマス、サウ云フヤウナ場合ニ只今統合スルトキハ七分還元デヤツテ置イテ、今度鐵道省ガ御買上ゲニナル際ハ、是ハドウシテモ鐵道法三十一條ヲ御適用ニナラナケレバナラナイノデアリマス、サウスルト僅カノ間ニ七分還元デ買ツテ、ソレヲ五分還元デ又賣ラナケレバナラヌト云フコトニナリマスルト、何ダカソコニ不合理ガ生ジテ來ルノデハナイカ、左様ニ考ヘテ居リマス、此ノ故ニ私共ハ五分還元ヲ主張スルノハ決シテ無理デハナイト思ツテ居ルノデアリマス、主務大臣カラ五分還元ノ計算法ヲ富山市ノ電車ノ評價ニ準據セシムルノ當否ニ付キマシテ御意見ヲ垂示シテ戴キ得マスナラバ洵ニ有難イ仕合せト存ジマス。

尙ホ少シク長クナリマシテ洵ニ恐縮デアリマスガ、モウ少シバカリ富山市ノ電車ノ現状ヲ御參考ニ申上ゲタイト存ジマスガ、先程營業成績ガ年々飛躍ヲ續ケテ剩餘ニナツテ參ルト申上ゲマシタガ、本年度ハ又格

別好成績デアリマシテ、四月年度始カラ此ノ八月末迄ノ五箇月間ノ收入ヲ見マスルト、昨年ニ比ベマシテ本年ハ五萬九千圓餘、ザツト六萬圓近ク增收ヲ致シテ居リマス、昨年一年間ノ增收ハ六萬二千圓餘デアリマスルガ、昨年ノ增收ノ六萬圓ハモウ近ク五箇月間デ達シテ居ルノデアリマス、一昨年ハ增收ガ五萬九千圓ニナツテ居リマス、サウスルト一昨年、昨年ノ一年間ノ收益ト本年ノ五箇月間ノ收益ト匹敵ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ニ依リマシテ本年度ノ來年ノ三月迄行キマスルナラバ、モウアト四萬圓位增收ニナルト云フコトヲ推定スルノハ、是ハ無理ナ推定デハナカラウト存ジマス、若シモ四萬圓出テ來ルト云フコトニナリマスレバ、一年間ヲ通ジマシテ十萬圓ノ增收ト云フコトニナルノデアリマス、故ニ此ノ調整ガ若シモ明年ノ四月以後ニナルト云フヤウナコトニナリマスルナラバ、當然此ノ既往三箇年間即チ十七年度、十六年度、十五年度トナリマスルカラ、益金ガ著シク殘ツテ參リマス、從ツテ試ミニ本年度十萬圓益金ガアル、增收ガアルト見テ、之ニ依ツテ假ニ七分還元ト云フコトデ計算ヲ致シテ見マシテモ、尙ホ且ツ二百九萬五千何百圓ト云フ收益ガ現レテ參ルノデアリマス。殊ニ市民ノ間ニ於キマシテハ此ノ頭ガアルノデアリマス、五分還元ガ色々ナ事情カラ認容セラレナイト致シマシテモ、評價ノ實質ハ二百萬圓ヲ下ルベキモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス。故ニ二百萬圓以下デ私共ノ市ノ理事者ガ賣ルト云フコトニナリマスレバ、市民等ハ市長ハ背任罪デモ犯シテ居ルカノ如ク考ヘルト思フノデアリマス、私ハ自分ノ毀譽褒貶、ソナナコトハ勿論顧慮致シマセヌガ、以上ノ事情ヲ御參酌下サレマシテ、計算方法ハ敢テ問ヒマセヌケレド

モ、若シ御裁定ヲ仰グヤウナ場合ガ出来マシタト致シマシタナラバ、是非共之ヲ御參酌ヲ願ヒタイト存ジマス、若シ然ラザルヤウナ場合ニハ折角ノ御裁定ヲ仰ギマシテモ、ソレニ對シテ不服ヲ申立テテ民事訴訟ヲ提起セネバナラスト云フヤウナ羽目ニナルヤウナコトガアリマシテ、洵ニ相濟マスト存ジマシテ、私共深く之ヲ憂ヘテ居ル次第デアリマス、以上ヲ以チマシテ私共市ノ立場カラ其ノ衷情ヲ御懇ヘ致シマシテ、旁、先程ノ御伺ヒヲ致ス次第デアリマス。

○議長(八田副會長) 只今三十一番カラ鐵道當局ニ對シマシテ御尋ネニナリマシタ、評價ノ問題ニ付キマシテハ監督局長ヨリ御答ヘヲ致シタイト思ヒマス。

○佐藤幹事 只今色々富山市ノ實情ニ付キマシテ精シイ御話ガアリ、尙ホ又今後合同スルニ際シテノ評價ニ付テノ市ノ御意見ヲ精シク伺ツタノデアリマス、勿論地方鐵道法ニハ國ガ買收スル際ノ規定ガアリマスルシ、又軌道法ニ付キマシテモ公共團體ガ買收致シマス際ノ規定ガアル譯デアリマス、民間ガ買フ場合ノ規定ハナイノデアリマス、尙ホ御承知ノ如ク民間ガ買フ場合ノ規定ガアリマセヌノデ交通調整法ニ於キマシテモ、此ノ評價ニ付キマシテハ協議ヲ遂ゲテ裁ク、關係ノ方ノ間ニ於キマシテ十分御協議ヲ願フト云フコトヲ本來ノ趣旨ニ考ヘテ居ルノデアリマス、色々國ガ買フ場合、或ハ公共團體ガ買フ場合、或ハ民間ガ買フ場合ニ於キマシテハ、代價ノ支拂方法ニ付キマシテモ、交付公債ナリ或ハ現金デ手渡スナリノ相違ガアリマスルシ、又經營ガ移リマシタ後ニ於キマシテモ課税等ニ付キマシテ色々相違ガアルノデアリマス、從ヒ

マシテ此ノ三ツノ買收ノ場合ガ必ズシモ全部同一ダトハ言ヘナイノデハナイカト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ關係ノ方々ニ於キマシテ第一段ト致シマシテハ十分御協議ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、交通事業調整法自體ノ建前ニ付キマシテハ、只今森委員カラ御話ガアリマシタ如ク、先ヅ本日ノ諮問案ノ如キ方法ニ依リマシテ調整スベキ地域ナリ方法ナリ事業ナリノ決定ヲ見マシテ、其ノ決定ニ基イテ關係ノ方々デ協議ヲシテ裁クノデアリマス、從ヒマシテ若シ協議ガ調ハナイ場合ニナリマスレバ主務官應ト致シマシテハ之ヲ裁定スルコトニナル譯デアリマス、今日關係ノ市ト會社トノ間ニ於キマシテ、御話ヲ伺ヘバ目下協議進行中デアル、ト云フヤウナ御話デアリマス、協議進行ノ途中ニ於キマシテ將來其ノ協議ガ調ハナイ場合ニ裁定ニ乘リ出サナケレバナナイ私共ト致シマシテ、其ノ評價ノ方法ナリヲ今日申上ゲマスコトハ少シ行キ過ギデハナイカト、斯様ニモ考ヘルデアリマス、從ヒマシテ評價自體ノ問題ニ付キマシテハ地方ニ於キマシテハソレノ特殊事情モアルト思ヒマスノデ、關係ノ方々ノ御協議ヲ第一段ニ御願ヒ致シタイト、斯様ニ考ヘル譯デアリマス。

○議長(八田副會長) 他ニ御發言ガゴザイマシタラドウゾ……

○十八番(中川委員) 此ノ諮問第三號、富山縣交通調整ニ關スル件ハ、先程鐵道大臣ノ御説明ニアリマシタヤウニ、此ノ第一回ノ總會ニ富山縣地方ヲ確カ御指定ニナツタノデアリマシテ、其ノ後縣、市、會社各當局ノ御盡力ニ依リマシテ、先程ノ説明ノ如ク富山全縣下ヲ一元的ニ調整サレルト云フコトニナリマシタ

コトハ、非常ニ結構ナ次第デアリマシテ、私共調整委員ト致シマシテハ全面的ニ賛成申上ゲルノデアリマス、從ヒマシテ本件ハ此ノ總會ニ於テ出來得ルコトナラバ即決願ヒマシテ、特別委員會等ニハ掛ケラレナイデ、此處デ原案ノ通り決定シテ答申致シタラドウカト、斯ウ私ハ考ヘル者デアリマス、斯ウ云フ動議ヲ提出致シマス。

○議長(八田副會長) 只今中川委員ヨリ原案賛成ノ御意見ガアリマシテ、特別委員會等ノコトナク可決ノ御意見デアリマスガ、如何デスカ、御異議ゴザイマセヌデセウカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(八田副會長) 別段御異議ガナイヤウデゴザイマスルカラ原案通り本諮問案ヲ決定致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(八田副會長) 左様決定致シマス、就キマシテハ會長ヨリ此ノ旨ヲ答申致シタイト存ジマス、御了承ヲ願ヒマス。

尙ホ此ノ機會ニ其ノ他ノ地方ノ調整狀況ニ付キマシテ、丁度好イ機會デゴザイマスノデ、監督局長ヨリ御報告ヲ致シタイト存ジマス。

○鐵道省監督局長(佐藤幹事) ソレデハ各地方ノ調整ノ經過ノ概要ヲ御報告申上ゲタイト存ジマス。

御承知ノ如ク交通調整ハ全國的ニ行ハレテ居リマシテ、東京地方ニ於ケルガ如ク法律ノ發動ニ依ルモノノ外、省ノ指導幹旋ニ依リマシテ行ハレタモノモ少クナイノデアリマス、陸上交通事業調整法實施以來合併或ハ買収等ニ依リマシテ統合セラレタモノヲ舉ゲテ見マスレバ、鐵道、軌道ヲ通ジマシテ四十一社ニモ達シテ居リマス、此ノ結果企業ノ整理強化ガ行ハレ、無駄排除ニ依ル餘力ノ活用デアリマスツカ、或ハ人的物的資源ノ重點的善用デアリマスツカ、或ハ競争防止ニ依ル利益等幾多ノ調整效果ヲ齎シテキルト思ハレルノデアリマス。

本委員會第一回總會ニ於キマシテ調整豫定地域トシテ取舉ゲラレマシタ各地方ニ付キマシテ最近ノ經過ヲ御報告申上ゲタイト存スルノデアリマス。

先ヅ東京市及其ノ附近ノ交通調整デアリマスガ、御承知ノ如ク昨年ノ七月四日帝都高速度交通營團ガ成立致シマシテ事業ヲ開始スルコトニナリ、東京市内ノ地下鐵道ノ既成及未成線ノ全部ヲ譲受ケマシテ、之ガ運營ト其ノ建設ニ當ルコトトナツタノデアリマス、交通營團ト致シマシテハ赤坂見附、四谷見附間ノ新線ノ工事ニ本年ノ六月五日着手致シタノデアリマスガ、更ニ四谷見附、新宿間ノ建設ニモ着手スル見込デアリマス。

次ニ東京舊市内路面交通事業ニ付キマシテモ、昨年十二月ノ委員會ニ於キマシテ御答申ヲ戴キマシタ裁定案ニ基キマシテ、同十二月二十三付ヲ以チマシテ東京市及關係會社ニ對シマシテ裁定ノ通知ヲ發シタ

ノデアリマス、協定申請期限タル本年一月二十四日ニハ、東京市及關係會社カラ協定認可ノ申請ガアリマシタノデ、同月三十一日其ノ認可ヲ致シマシテ、二月一日ヲ期シテ其ノ全事業ガ東京市ヘノ統合ヲ完了シ、茲ニ東京市舊市内ニ於ケル調整ハ一應ノ完結ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス。

東京地方ノ交通調整ニ關シマシテハ、尙ホ右ノ外本年五月一日東京横濱電鐵ガ、京濱及小田急ヲ合併致シマシテ東京急行電鐵ガ成立致シマシタ、本會社ハ資本金二億四百八十萬圓、鐵道軌道營業料二百七十四軒ニ及ブ大會社トナツタノデアリマス、是ハ取りモ直サズ調整方針ニ則リマシテ實行サレタモノデ洵ニ喜ブベキコトト考ヘル次第デアリマス、尙ホ今後郊外ノ四地域ノ調整ニ關シマシテモ本委員會ノ御答申ヲ得テ居リマスノデ、漸次實施致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス。

次ニ大阪地方ノ調整デアリマスガ、從來大阪地方ハ專ラ省ノ指導幹旋ニ依ツテ進メラレテ來タノデアリマス、昭和十五年十二月ニ南海鐵道ノ阪和電鐵合併ガ出來、同十六年ノ三月ニハ參宮急行電鐵ト大阪電氣鐵道トノ合併ガ行ハレ、同十七年ノ二月ニハ南海鐵道ノ加太電氣鐵道合併等ガ實現致シタノデアリマス、關西急行ト大阪鐵道トノ合併モ目下進行中デアリマスガ、尙ホ交通調整ヲ要スル部面ヲ殘シテ居ルノデアリマス、又東京ノ場合ト同ジク市内高速度交通機關ノ整備擴充ヲシナケレバナナイト云フ問題モアリマスノデ、是等ノ點モ考ヘマシテ目下著々準備ヲ進メテ居ル次第デゴザイマス。

次ニ香川縣地方ノ交通調整ニ關シマシテハ、昨年ノ九月ニ取敢ヘズ國有鐵道並ニ縣下ノ地方鐵道及軌道

ノ全事業ニ互ル全面的ノ運輸協定ヲ取結ビマシテ、縣下ノ主要都市間ニ於キマシテハ共通切符ヲ以テ何レノ區間、何レノ交通機關ニ依リマスモ自由ニ乗車シ得ル途ヲ開キマシテ、多大ノ成果ヲ收メテ居ルノデアリマスガ、更ニ縣下ノ全事業ニ付キマシテ高度ノ調整ヲ實現セシムベク目下關係會社ニ對シテ幹旋中デアリマス。

次ニ福岡縣ノ交通調整デアリマスガ、同縣下ノ地方鐵道軌道ニ付キマシテハ、是レ亦省ノ幹旋ニ依リマシテ昭和十六年三月ニハ九州鐵道が大牟田電氣鐵道ヲ合併致シ、同十七年ノ二月ニハ九州電氣鐵道ガ小倉電氣鐵道ヲ合併致シタノデアリマスガ、更ニ昨年ノ秋以來九州電氣鐵道、福博電車、九州鐵道、博多灣鐵道及筑前參宮鐵道ノ五社ノ大合同ヲ德源幹旋ヲ致シマシタ所、幸ヒ關係各社ノ理解アル協力ヲ得マシテ、去ル九月一日ヲ以チマシテ合同ノ成立ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、合併ノ形式ト致シマシテハ便宜上吸收合併ニ依ルコトト致シマシテ、九州電氣鐵道ヲ存續セシメテ他ノ四社ハ解散シ、九州電氣鐵道ハ其ノ名稱ヲ西日本鐵道株式會社ト改稱スルコトトナツタノデアリマス、同社ハ資本金五千萬圓、鐵道軌道ノ延長ハ二百六十五軒、兼營ノ「バス」路線ガ千三百六十七軒、汽船ガ十隻デ七千七百四十五噸ヲ擁スル所ノ西日本ニ於ケル一大交通會社デアリマス、福岡縣ニハ此ノ外尙ホ若干ノ地方鐵道、軌道及「バス」事業等ガアリマスルガ、幸ニシテ以上ノ如キ有力ナル交通會社ノ設立ヲ見マシタノデ、今後ノ交通調整ニ關シマシテハ、之ヲ中心ト致シマシテ善處シテ行ク考ヘデアリマス、以上ヲ以チマシテ御報告ヲ終リマス。

○議長(八田副議長) 只今、監督局長ヨリノ報告ニ付キマシテ御質問等ガゴザイマシタラバドウゾ御願ヒ致シマス——別段御質問ガゴザイマセヌケレバ、是ヲ以チマシテ閉會致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ、御異議ゴザイマセヌカ。

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ」

○議長(八田副議長) ソレデハ是ヲ以チマシテ閉會ト致シタイト存ジマス、一言御挨拶ヲ申上ゲマス、此ノ度ノ委員會ハ洵ニ突然ノコトデアリ、殊ニ御多用ノ處ヲ御繰合セ御出席ヲ戴キマシテ、御審議ヲ戴キマシタコトニ付キマシテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス。尙ホ本日ノ議事ニ付キマシテハ新聞發表ヲ致シタイト存ジマスルガ、是ハ議長ニ御任セラ願ヒタイト存ジマス、何卒宜シク御願ヒ致シマス、誠ニ有難ウ存ジマシタ。

午後四時五分閉會

（和書）大サハ 国定規格 A5 判

内閣官房總務課